

030202木造家屋建築工事業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2022	1	8 ～ 10	平屋住宅の屋根修繕工事の準備作業として、屋根瓦に足掛かりを取り付けるため、勾配屋根を移動しているときに高さ約4 mから墜落したものの。入院加療していたが、数日後に死亡したものの。	415	1	1～ 9
2022	2	14 ～ 16	戸建住宅の建設工事における地下室において、壁面に取り付けた下地材の出幅調整作業を、脚立を使用して行っていたところ、脚立の高さ1. 1メートルの段上から転落し、搬送された病院にて数日後に急性硬膜下血腫により死亡した。	371	1	1～ 9
2022	2	14 ～ 16	被災者は、当日、躯体内部北東側の地面から高さ3. 85メートルの位置に設けられた1本あたり幅10. 5センチメートル、長さ4メートルの柱状の木材を3本並べて幅31. 5センチメートルとして梁に固定した木製作業床にて、石膏ボードの貼り付け作業を行っていたところ、当該作業床から墜落したものの。	416	1	1～ 9
2022	2	10 ～ 12	2階建ての木造一戸建て住宅の建設工事現場において、建前作業に従事していた被災者が、1階床面から高さ約2. 5 mの1階梁から1階床面に墜落し、頸髄損傷となったものの。被災者は事故後病院に搬送され、入院加療していたが、数日後に死亡した。	415	1	1～ 9
2022	3	16 ～ 18	個人宅のテラス上に設置された屋根の葺替え工事中、被災者は屋根上でポリカーボネート樹脂製屋根材のビス止め作業を行っていたところ、地上から278センチメートルの当該屋根先端部から墜落したものの。	415	1	1～ 9

2022	4	10 ～ 12	くさび足場の第2層目（高さ約4.5m）から墜落したもの。被災者は事故の当日サイディングを取り外す作業を行っていた。	411	1	1～ 9
2022	4	12 ～ 14	市道の路側帯に停車していたトラック（4トン）が後退し、開いたトラックのドアと電柱の間に身体が挟まれ、死亡したもの。	221	17	1～ 9
2022	5	14 ～ 16	木造集合住宅建築工事において、移動式クレーン（吊り上げ荷重12.0tホイールクレーン）を用いて壁材である合板55枚の束（大きさ不揃いの3種類、総重量計1t）を建築中の家屋の2階に搬入する作業中、玉掛用具から荷が落下し、玉掛をした被災者が下敷きとなったもの。合板は落下後一度地面に着き被災者の方へ倒れたもの。玉掛方法はスリンベルト2本で絞りによる方法であった。	372	4	30 ～ 49
2022	6	10 ～ 12	平屋の木造建屋の建て方作業中、移動式クレーンでつり上げた棟木を南北方向に4本並んだ柱上に載せる作業を行っていた時に、北側2本目の柱と接続していた梁及び柱がねじれて倒壊し、落下箇所で作業していた被災者の頭部にぶつかった。	415	5	1～ 9
2022	6	14 ～ 16	木造2階建新築工事現場において、被災者は朝から正午まで同現場西側の壁面の左官作業を行い、正午より昼休憩を取得していた最中、被災者が行方不明となったため同僚作業員及び警察が同現場周辺を捜索したところ、昼過ぎごろ同現場から数百メートルほど離れた私有地内で被災者が熱中症により倒れているところを発見されたもの。	715	11	1～ 9
2022	6	12 ～ 14	2階建て民家の解体工事（外周に足場はなく、格子に組んだ単管に防塵防音シートを張った仮囲いが北と東面にあり）に、事業者A代表と解体工2人（被災者と一人親方）が入場していた。解体重機での作業開始前、被災者が仮囲いのシート取付け具合を確認中、東面の仮囲い（幅5m×高さ6m）から約5m下（敷地段差0.5m+高さ1.5m刻みで横に組んだ単管の3段目）の地面（敷地外）に墜落した。	419	1	1～ 9
			被災者は作業小屋屋根の修理工事見積りのため二連はしごを使い屋根へ上			

2022	7	8 ~ 10	ろうとした。二連はしごが屋根の軒先から約85cm突き出す形で立てかけ、同僚がはしご下部を押さえて被災者がはしごを昇った。被災者が上はしごの踏み足を二段ほど昇ったところ上はしごと下はしごの連結部分のロック金具が下はしごの踏み足にかかっていなかったため、上はしごが下方へスライドし、そのはずみで被災者は約4.2mの高さから地面に墜落した。	371	1	10 ~ 29
2022	7	10 ~ 12	新築建売木造住宅の内装工事作業を行っていた被災者が、1階から2階にかけられたはしごより墜落し、左全肋骨及び左鎖骨骨折、肺の内出血と診断され入院加療していたが、その後容態が急変し、災害発生17日後に死亡したものの。	371	1	1~ 9
2022	7	14 ~ 16	木造2階建て住宅の建方作業において、1階梁上（2階床面）で作業を行っていた被災者が、約3m下に墜落したものの。1.8m×2スパンの梁の間に桁行方向に4mの足場板が掛かっていたが、足場板がずれて跳ね出しになっており、そこに乗ったことで体勢を崩し足場板とともに墜落した。同日入院し2日後に死亡が確認された。	415	1	1~ 9
2022	7	18 ~ 20	地上2階建ての共同住宅新築工事において、躯体西側の足場上で外壁材取り付け作業を担当していた作業員が、地上で倒れている状態で発見され、病院に搬送されたが死亡したものの。目撃者はおらず、正確な原因は不明であるが、足場作業床（地上から1層または2層目）から、地上まで約3~5m墜落したものと推定される。	411	1	1~ 9
2022	7	14 ~ 16	木造2階建て住宅の新築工事現場において、被災者が2階の床で屋根の材料を屋根に上げるために移動していたところ、2階の開口部から1階に墜落した。その後、入院加療していたが、死亡が確認された。	414	1	1~ 9
2022	8	10 ~ 12	住宅の解体工事において、解体途中の躯体風呂場部分高さ1.8メートルの外壁が倒壊し、当該外壁が被災者の胸部に直撃し死亡した。	418	5	0
		10	木造二階建て住宅の外壁及び軒天の塗装工事において、被災者は一側足場に上がり二階の窓の養生作業を行っていたところ、一側足場上から約4.			

2022	8	～	12	6 m下のアスファルト地面に墜落し死亡した（推定）。被災状況を見ていた者はおらず、同僚がアスファルト地面に倒れていた被災者を発見したものの。なお、被災者は安全帯を着用していたが、使用していなかった。	411	1	1～ 9
2022	8	～	14 ～ 16	戸建て住宅（木造2階建て）の新築工事現場において、被災者が2階床部分の梁の上（基礎部分からの高さ3.18メートル）で建て方の作業を行っていたところ、バランスを崩し、基礎部分のコンクリート上に墜落したものの。	415	1	1～ 9
2022	9	～	10 ～ 12	民家倉庫のスレート屋根改修工事において、被災者は立て掛けた梯子から屋根に上り、補修箇所の寸法を計測していたところ、当該スレート屋根を踏み抜き高さ4.7 m下の地上に墜落した。	415	1	1～ 9
2022	9	～	10 ～ 12	2階建て一軒家の瓦葺き替え工事において、被災者は、瓦上げ機を使用して、高さ約3.8 mの1階屋根上の端で、瓦の上げ下ろし作業を行っていたところ、地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2022	10	～	12 ～ 14	食品加工会社の建屋の改修工事において、被災者と代表取締役が高さ約4.5メートルの屋根の端において、既存の屋根材の下側に新規の屋根材をハンマー又はつかみ（板金の端をつかんで加工するための工具）の頭部で押し込んでいたところ、被災者が反動でバランスを崩し、コンクリート地面に墜落したものの。墜落防止措置はなかった。なお、被災者は被災後、後日、脳死の診断を受けていたもの。同年中に死亡。	415	1	1～ 9
2022	10	～	12 ～ 14	民家に付属するウッドデッキを解体中、ウッドデッキの柵を取り外す作業を行っていたところ、ウッドデッキが崩れ、3.6 mの高さから作業床ごと墜落したものの。	416	1	1～ 9
2022	11	～	14 ～ 16	事業主と被災者の2名で2階建て住宅の雨どい交換等工事で、事業主が足場上で雨どいを取り外し、被災者が取り外した雨どいを地上で受け取る分担で作業をしていたところ、被災者が躯体南東角の外周足場と躯体の間隙部に墜落し、頭部を打ったもの。なお事故時、保護帽及び墜落制止器具の着用はなかった。	411	1	1～ 9

2021	1	14 ～ 16	2階建て家屋屋根リフォーム工事中の作業員が、2階屋根部分高さ6.7mの位置から地面に墜落し、意識不明となり、搬送先で死亡したもの。	415	1	1～ 9
2021	2	10 ～ 12	木造2階建ての一般住宅解体工事現場において、解体後の木材を2トンダンプに積み込んだ後、積み込んだ荷の上で均し作業をしていた被災者（1次下請の労働者）がバランスを崩し、1.65m下のコンクリート製の地面に墜落したもの。墜落時頭部を打ちつけ、意識不明となったため救急搬送されたが、頭蓋骨骨折、びまん性軸索損傷、頸髄損傷による脳死状態が続き、その後死亡に至った。	221	1	10 ～ 29
2021	2	8 ～ 10	2階木造建築の建て方（軸組み）工事中、被災者は、1階天井部分の梁を取り付けるため高さ3メートルの位置にある梁の上でしゃがみながら待機していた。次の梁の設置予定場所に移動する際に立ち上がったところ、風にあおられ、頭から1階床板上に墜落した。外周には昇降用足場が組まれているが、軸組み作業中のため防網や親綱の設置はなく墜落制止用器具の着用もなし。なお、ヘルメットは着用していたが、墜落時には外れていた。	415	1	1～ 9
2021	3	12 ～ 14	木造2階建新築工事現場にて、換気扇の配線工事に従事していたところ、建物内部に設置された移動はしごから降下中、バランスを崩し約1.5m下に後方から墜落し、柱に頭部を強打したもの。その後、搬送先の病院で頸椎損傷により死亡したもの。	371	1	1～ 9
2021	4	10 ～ 12	被災者は、手持ち式丸のこ機械（手持ち式ディスクグラインダのアタッチメントを外形125mmの石こうボード用丸のこに交換したもの）を持って、木造建築（露天風呂脱衣所予定建物）の内壁を切除中、当該機械を落とす際に自身の右大腿部に創傷を負った。出血が多く心肺停止状態で救急搬送され、搬送先の病院で同日中に死亡が確認（出血性ショック死と推測）された。	131	8	1～ 9
		10	フォークリフトで機材を運び終えて後退しようとしたところ、前輪が地面に敷かれた碎石に埋まり動かなくなったため、軽トラックでけん引するた			

2021	4	～	めに車両間をワイヤロープで繋いでいたところ、軽トラックの運転者が	221	6	1～
		12	誤って前進させたために、被災者がフォークリフト後部と軽トラックのフ			9
			ロント部に挟まれて死亡したもの。			
2021	5	～	被災者は、高さ1.9メートルの足場上で、木造平屋建の建物の壁の下地	411	1	1～
		14	となる間柱を取付ける作業を行っていたところ、土間に墜落したもの。保			9
			護帽、安全帯は着用していなかった。			
2021	7	～	豚舎の底部の取付工事のため、被災者はトラクター・ショベル（機体重	141	1	1～
		14	3.1t）を運転して資材を搬入し、作業を終えて坂道を下りようとした			9
		16	ところ、重機が路肩を踏み外し運転していた重機とともに転落し、運転席			
			外に投げ出されたことで重機の下敷きになり死亡したもの。被災者は、車			
			両系建設機械（整地・運搬・積込み用）の技能講習未修了者であった。			
2021	7	0	新型コロナウイルス感染症による。被災者が所属する部署において、別の	911	90	100
		～	労働者が発熱しPCR検査を受けたところ、新型コロナウイルスの陽性判			～
		2	定となり、同日被災者も発熱したため翌日PCR検査を実施したところ、			299
			陽性判定となった。その後容態が悪化し、自宅で死亡した、			
2021	7	～	個人宅軒補修工事において、被災者が破損した軒を足場上で補修する作業	351	13	1～
		10	中、足場上にあった電柱から作業現場である個人宅へつながる引き込み線			9
		12	を潜ろうとした際に、配線の被覆が剥がれていた個所に体の一部（首（後			
			頸部）が接触したことにより感電したものと推定される。なお、被災者			
			は下方にあった別の引き込み線に身体がぶら下がる状態で発見された。			
2021	9	～	被災者は、高さ3.4mの2階の梁上を移動していたところ、梁を踏み外	415	1	1～
		18	し、1階の土間コンクリートに墜落し被災したもの。なお、被災当時、保			9
		20	護帽の着用は未着用であった。			
2021	9	～	被災労働者は所属事業場が請負ったプレハブ小屋屋根の補修作業で出た廃	231	17	1～
		16	材を現場近くの産廃処理場へ軽トラックで運搬した後、作業現場に戻るた			9
		18	め、国道上の交差点（信号有）を市道へ右折したところ対向車線を直進し			
			てきた軽乗用車と衝突し被災した。軽乗用車の運転者は当日死亡し、被災			

			労働者は翌日死亡した。			
2021	9	14 ～ 16	被災者は同僚二人とともに民家の納屋の解体作業中、粉塵を抑えるために散水をしていたところ、現場内に出現したスズメバチに左手の甲を刺された。被災者は現場で休んでいたが症状が悪化し、アナフィラキシーショックによる意識障害・血圧低下・低酸素脳症と診断された。その後入院先で死亡した。	719	90	1～ 9
2021	10	8 ～ 10	民家のリフォーム工事において、被災者は屋根上で屋根葺き替え作業を行っていたが、休憩のために2階屋根に架けられた荷揚機のレールをはしごとして下りていたところ、墜落した。被災者は災害発生直後には意識はあったものの、搬送先の病院で死亡が確認されたもの（死因：右側胸腹部打撲による外傷性出血性ショック）。	371	1	1～ 9
2021	10	10 ～ 12	かや葺き屋根の屋根葺き替え作業において、被災者が、はしごを使って、屋根の上で作業していた同僚に材料（縄）を渡し、同はしごを使って降りようとしたところ地面に転落した。	371	1	1～ 9
2021	10	14 ～ 16	介護老人保健施設1階の軒天井を改修するために設けられた足場の高さ1.87メートルの作業床上もしくは、足場の昇降設備上から、コンクリート地面に被災者が墜落したものの。その後、被災者は、脳挫傷により死亡した。なお、災害発生直前における被災者の作業状況等を見ていた者はいなかった。	411	1	1～ 9
2021	11	12 ～ 14	2階建て木造建築物の解体工事現場において、コンクリートブロック壁（縦約2m×横約6m×幅15cm）を解体中、被災者は解体ガラの整理をしていたところ、倒れてきたコンクリートブロック壁の下敷きになり死亡した。	418	5	1～ 9
2021	12	16 ～ 18	2階建ての木造住宅の新築工事現場において、被災者は、被災者自身が取付た根太を作業床として、2階床の根太を1本ずつ大引に取り付ける作業を行っていたところ、2階から1階に墜落したものの。なお、被災者が立っていた箇所にはベニヤ板が敷かれていた。	416	1	1～ 9
			3階建て木造住宅新築現場で、内装下請の被災者（代表の父だが労働者）			

2021	12	16 ～ 18	と外壁サイディング下請業者の計2人が入り、被災者は1階内壁の下地ボード張りを施工。外壁業者が夕方、屋内の無点灯・無音に気づき、1階から2階にかけてのはしごの足元の仮床に倒れている被災者を発見。救急搬送され外傷性くも膜下出血・頭骨骨折等で入院中に急変し、意識が戻らないまま死亡（死亡診断書の死因は転倒・転落による硬膜下血腫）。	371	1	1～ 9
2020	2	14 ～ 16	個人住宅外壁塗装工事現場において、外部足場として抱き足場を組み立て中の労働者が、当該足場外部に約4mの移動はしごを立てかけ、かつ、足場の材料である径5cm、長さ2mの単管を片手に、はしごを昇る際に墜落したもの。当該災害発生時、被災者は単独作業を行っており目撃者はなく、はしごのどの位置から墜落したかは不明。別の場所で作業をしていた同僚によると、被災者は作業時には安全帯および保護帽を着用していた。	371	1	1～ 9
2020	3	16 ～ 18	木造家屋改修工事（建方作業）中、雨が降ってきた為、被災者において2階屋根全体にブルーシートを掛ける作業を行っていた際、東面屋根端部よりしゃがんだ状態で背中を外側に向けながら墜落。1階屋根部分に墜落後さらにアスファルト地面に墜落した。（地上から1階屋根までの高さは3.16m、2階屋根までの高さは6.06m）災害発生から3時間半後脳挫傷により死亡。親綱等設備なし。墜落時保護用の保護帽のみ着用していた。	415	1	50 ～ 99
2020	3	16 ～ 18	木造2階建て民家の新築工事において、被災者は、午後、建築中の躯体の外壁に張る合板を丸のこ盤で加工する作業を終え、後片づけを行っていたところ、何らかの理由で躯体の2階から墜落したもの。	418	1	1～ 9
2020	3	16 ～ 18	被災者は、単独作業で寺の屋根に上がって屋根板金を補修する作業中、3.8m下の地面に墜落した。被災時、寺の周囲には足場が設置されていなかった。また、被災者はヘルメット、安全帯を着用していなかった。	415	1	1～ 9
2020	4	10 ～	飼料倉庫の一部建て替え工事現場においてスレート屋根が傾いていたため、ベニヤ板の下に敷いていた角材を用いて控えを取ろうと上部にいた被災者がベニヤ板を南側へずらし、下方にいた専務へ角材を手渡した。専務が角材を持って移動しようとしたときに「ドン」という音が	416	1	1～ 9

		12	したため、音がした方を確認したところ、被災者が約3.5メートル下の地面にベニヤ板と一緒に墜落しており、救急搬送されたが死亡したもの。			
2020	4	10 ～ 12	平屋建て倉庫のスレート屋根塗り替え作業中、スレートを踏み抜き4.79m下に墜落したもの。	415	1	10 ～ 29
2020	5	8 ～ 10	牛舎建築現場において、合掌組みの作業中、被災者が、次の合掌組作業に使用する足場板を横桁にかけ渡してある足場板上から移動させていたところ足を踏み外し、3.27m下のコンクリート面に墜落した。	416	1	1～ 9
2020	6	8 ～ 10	木造住宅新築工事現場において、高さ3.42mの1階屋根上で、地面にいた者から外装用下地合板(97cm×3m・重さ約20kg)を受け取った後、地面に墜落したもの。建築物全周に外部足場の設置はあるが、被災者が墜落した箇所については建築物への出入口として開口部にしており、建地のみで足場板の設置無し。	415	1	1～ 9
2020	6	12 ～ 14	スキー場のリフト乗り場(標高約800m)の床板の張り替えを4人で行っていた。床板を取り外した箇所の根太材(幅6cm、高さ9cm)に被災者が上がっていたところ、折れて4.4m下の地山に墜落した。4人もヘルメットや安全帯は着用していなかった。作業は初日であった。	415	1	1～ 9
2020	7	10 ～ 12	被災者は現場作業中、突然倒れて救急搬送されたが死亡したもの。午前現場の個人宅の解体作業を重機で行った。被災者は手元作業員として従事した。作業開始から2時間経過した頃に突然倒れ、救急搬送されたが午後2時ごろ搬送先の病院で死亡した。	715	11	1～ 9
2020	7	14 ～ 16	被災者2名は建築現場で作業を終え、所属事業場へ車両にて移動中、国道のトンネル南口付近の道路より約10m下の河川敷へ車両ごと転落した。	231	17	1～ 9
2020	7	14 ～ 16	被災者2名は建築現場で作業を終え、所属事業場へ車両にて移動中、トンネル出口付近の道路より約10m下の河川敷へ車両ごと転落した。	231	17	1～ 9

2020	9	8 ～ 10	木造2階建て家屋の新築工事において、同僚と2名で外部足場（地上から高さ4.8mの箇所）にて外装板を取り付け作業中、足場と躯体との間から墜落し死亡した。	411	1	1～ 9
2020	9	14 ～ 16	外壁補修工事において、高さ約3メートルの脚立足場上で、被災者は外壁材の張替を行っていた際に脚立足場から墜落した。当該脚立足場は、脚立を2つ並べ、脚立の天板上に固定せずに足場板を2枚乗せた状態で使用しており、手すり等の設置、要求性能墜落制止用器具の使用はなかった。	411	1	1～ 9
2020	9	14 ～ 16	作業員2名で2階建て戸建て住宅の2階屋根の補修作業を行っていたところ、1名が高さ約6.5mの軒先から地上へ墜落した。	415	1	1～ 9
2020	10	10 ～ 12	軽量鉄骨造2階建家屋解体工事に従事していた被災者が、屋根上で屋根パネル材の解体をしていたところ、屋根上から約5.7m下方の基礎コンクリート上に墜落し、意識不明の状態での搬送されたもの（意識不明のまま、後日誤嚥性肺炎により死亡）。	415	1	1～ 9
2020	10	10 ～ 12	寺楼門改修工事にて、腐食した楼門の土台を取り換えるため、ジャッキを8基用いて持ち上げようとしたところ、楼門が倒壊し、倒壊した楼門に労働者2名が下敷きになったもの。なお、うち1名が頭蓋骨開放骨折により死亡した。	418	5	1～ 9
2020	10	0 ～ 2	作業時に山林等に立ち入った際に、病原体（リケッチア）を保有するマダニに咬まれ日本紅斑熱を発症し、その結果敗血症性ショックにより死亡した。	911	90	10 ～ 29
2020	10	8 ～ 10	木造2階戸建て住宅建設工事における上棟時、地上からの高さ約3.6mの足場又は梁の上から墜落し、被災者の右脇腹に足場2層目の建地が突き刺さった。	415	1	1～ 9
2020	10	10 ～	蔵の屋根の取替作業で、被災者が、既設の下地材の上に新しい下地材の合板を仮置きする作業を行い、他の2名が離れた位置で釘止めする作業を行っていた。屋根上で作業していた被災者の方から音がしたので、他の労働者が振り返って確認すると、軒先に合板が引っ掛かり、被災者が地上に	415	1	10 ～

		12	墜落して倒れている状況を発見した。蔵の周囲には、くさび式足場が設置されていたが、手すりは1段で、荷上げのため一部のシートが取り外されていた			29
2019	1	10 ～ 12	住宅の新築工事において、屋根部の梁（幅10cm）の上で母屋材（角材）を配置していたところ、1階床（木板）に墜落したもの。高さ5.8m。ヘルメットは着用、安全帯は未着用であった。	415	1	1～ 9
2019	1	12 ～ 14	個人住宅のベランダ改修工事において、代表者と被災者の2名で作業をしていたところ、脚立を広げた状態にしたはしご上でベランダ部材の取り外し作業をしていた被災者が墜落したもの。発生後に被災者は車両内で休憩してから、代表者とともに代表者宅まで戻ったが、その後被災者との連絡が途絶えたため、翌日の夜に代表者が警察に通報し、被災者の実家兼資材置き場となっている建屋内で倒れている被災者が発見された。	371	1	1～ 9
2019	2	14 ～ 16	台風被害及び老朽化による屋根修繕工事（瓦取替）において、労働者2名で外部足場解体作業中、下屋根（高さ3.26m）から墜落したもの。	415	1	1～ 9
2019	2	16 ～ 18	新築工事現場内において、板金工事を施工する作業員が、1階上部の屋根上で板金の貼付け作業を行っていたところ、建物壁面に設けられていた開口部（幅1.7m×高さ1.5m）から建物内側に約4メートル墜落し、翌日午前、急性硬膜下血種により死亡が確認されたもの。	416	1	1～ 9
2019	2	8 ～ 10	個人宅屋根修繕現場において、下屋根部に設置した梯子を降りている途中に約2.5m下のコンクリート上に墜落した。病院に搬送され入院治療を受けていたが、後日死亡したもの。	371	1	1～ 9
2019	2	14 ～ 16	個人の木造住宅解体工事現場において、1階屋根の上で作業員が軒を切ろうとした時に、地上高さ3.85mの屋根から墜落したものと推定される。	415	1	1～ 9
		16	被災者は木建工事の進捗等を管理する業務を行っていた。災害当日、業務がひと段落したため、過去に担当した物件に向かった。当該物件の外観			1～

2019	2	～	18	<p>検等の業務が終了し、再び現場に戻るため車で走行中していた際、被災者の運転する社用車が反対車線にはみ出し、反対車線を走行してきた運送会社の労働者が運転する4 tトラックと正面衝突した。</p>	231	17	9
2019	3	～	12	<p>被災者が垂木の出鼻をそろえる為の墨打ち作業中、屋根から約3.5 m下の地面に墜落したものの。</p>	415	1	1～9
2019	3	～	14	<p>被災者は、2階建て個人住宅の建替え工事現場において、1階屋根の上にて設けられた足場板から屋根を経由して外部足場上に乗り移り、さらに建物2階の床面に乗り移ろうとしたところ、開口部から約3.8メートル下の基礎部に墜落したものの。</p>	415	1	1～9
2019	3	～	12	<p>木造保育園の増改築工事現場において、工事の障害となっている電線の状況を外部足場の単管にまたがって確認していたところ、バランスを崩して4.6 m下のコンクリート面に墜落したものの。</p>	411	1	1～9
2019	4	～	12	<p>住宅解体工事現場において元請事業場の現場代理人がドラグ・ショベルで転圧作業を行うため後退させたところ、後方でブロック塀の撤去作業を行っていた労働者が当該ドラグ・ショベルにひかれた。</p>	142	7	1～9
2019	4	～	12	<p>木造家屋の雨樋等改修作業において、被災者が2階の屋根に上り、雨樋の金物を事業主に渡そうとしたところ、屋根端部から道路に墜落した。</p>	415	1	1～9
2019	4	～	12	<p>木造3階建て建売住宅の建設現場において、被災者は3階の床上で移動式クレーンによる資材の受け入れ作業を行っていたところ、本設の階段設置部分の開口部から1階まで6.27 m墜落したものの。被災後、診療機関に搬送されたが、同日中に死亡した。</p>	414	1	1～9
2019	4	～	12	<p>木造平屋建て新築工事現場において、被災者は、母屋上から垂木を設置箇所へ運搬する作業を行っていたところ、約4 m下の地面に墜落し、更に1 m下の田んぼに墜落したものの。建屋の外周にはクサビ緊結式足場が組まれていたが、中さん及び飛来・落下防止ネットが設置されていなかった。</p>	415	1	1～9

2019	5	12 ～ 14	木造軸組工法の作業場の新築工事現場において、被災者は高さ4.5mの梁に乗り、梁と梁の頭つなぎをホゾに入れようとして片足を頭つなぎに乗せた状態で掛矢で頭つなぎを打ったところ、頭つなぎがホゾからはずれ、頭つなぎもろとも墜落した。その後、病院に搬送されたが死亡が確認された。	415	1	1～ 9
2019	5	16 ～ 18	資材置場に仮置きしていた工事で出た残土を移動するよう現場代理人から指示された被災者が本件工事現場の作業終了後に現場で使用していたドラグ・ショベルをトラックに載せて資材置場に向かい、資材置場において、被災者がドラグ・ショベルを運転していたところ、高さ82cmの残土を乗り越えたときにドラグ・ショベルが横転し、ヘッドガードに頭部を挟まれて死亡した。	142	2	1～ 9
2019	6	10 ～ 12	被災者が、2階屋根（高さ733センチメートル）を作業床とし、屋根の補修工事を行っていたところ、この屋根から墜落したもの。なお、墜落防止措置は講じられておらず、要求性能墜落制止用器具の使用もされていなかった。	415	1	1～ 9
2019	6	14 ～ 16	住宅新築工事現場において、梁上で2階床敷き作業を行っていた被災者が、約3メートル下に墜落したもの。なお、被災者は災害発生日から入院していたが、後日本災害に起因して死亡した。	415	1	1～ 9
2019	7	16 ～ 18	木造家屋新築工事における既存建物解体工事において、掘削作業を行った。その際、着工時に存否が確認されていなかったコンクリート擁壁が出てきた。コンクリート擁壁は作業を施さず、そのままの状態を維持する予定であったが、被災者は何らかの理由でコンクリート擁壁下部をピック（手持ち削岩機）により破碎していたところ、コンクリート擁壁が倒壊し、下敷きとなった。	419	5	1～ 9
2019	8	16 ～ 18	被災者は木造2階建住宅の解体工事中に外部養生のための丸太を組み立てていたところバランスを崩し約6メートル墜落した。	419	1	10 ～ 29
			被災者は、木造建築工事現場において、10分間、電気・配管工事を行			

2019	8	10 ～ 12	い、作業を終えた。その後、民家新築工事に向かうため、ワゴン車で国道を移動中、被災者の運転していたワゴン車が対向車線をはみ出し、トラックに正面衝突した。被災者は病院に搬送されたが死亡した。	231	17	1～ 9
2019	9	8 ～ 10	住宅新築工事で外壁取付作業中、台風の影響で屋外の引込線（100ボルト）の被覆が剥がれて足場の建地に引っ掛かり、設置した足場が通電状態になっていた。この状況に気付かず、被災者が足場に接触して感電、死亡した。	351	13	1～ 9
2019	10	8 ～ 10	被災者は、2階建て個人住宅外壁塗装作業のため設置された丸太足場（抱き足場）上で作業を行っていたところ、足場設置箇所から約1.8メートル下方となる階段下通路に墜落した。なお、被災者が作業していたと思われる箇所の高さは足場設置箇所から2.3メートル、墜落箇所から約4.1メートルであった。	411	1	1～ 9
2019	10	14 ～ 16	個人宅の木造倉庫解体工事において、簡易擁壁の支柱（T形鋼）を、解体用つかみ機を用いて引き抜く作業を行っていた。支柱が引き抜けた時につかみ機から外れ、前方にいた被災者の方へ飛来、首に当たった。	145	4	1～ 9
2019	11	8 ～ 10	民家の外壁改修工事現場において、2階外壁塗り替えのため、1階屋根上で、作業床の設置場所を確認していたところ、高さ約3メートルからアスファルト地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2019	11	10 ～ 12	以前に屋根葺き替え工事をした民家の、雨樋の追加設置工事に先立つ現状確認のため、客先で家屋の1階部分の屋根に上り、更に2階部分の屋根に上ろうとしたところ、屋根の上に立てた梯子（脚立を開いたもの）が倒れたため地面に墜落し首の骨を骨折し心肺停止状態となった。24日後に頸髄損傷により死亡した。	371	1	1～ 9
2019	11	14 ～ 16	木造2階建て住宅の改修（塗装塗り替え、屋根補修等）工事現場において、屋根瓦のしっくい塗り替え工事作業中、高さ5mの足場から転落したもの。墜落の現場を見た者はいないが、屋根においてあったものを取ろうとして手すりに乗ったところ転落したものと推定される。	411	1	1～ 9

2019	11	14	木造住宅の解体作業中、解体用つかみ機で、梁とつながった柱をつかみ旋回していたところ、梁が柱から外れ地面に落下した後、近くのドラグショベルのキャタピラに座っていた被災者の方向へ倒れ激突したものの。	145	4	1 ~ 9
2019	12	12 ~ 14	ビル外壁改修工事において、現場付近の道路上で倒れている被災者を同僚作業員が発見した。被災者の負傷状況や倒れていた位置などから、くさび式足場の妻側の枠材はしご（踏み棧は45cmの等間隔）を昇降中、墜落したと推定される。	371	1	10 ~ 29
2018	1	10 ~ 11	木造平屋建て家屋の建築工事において、高さ4.2mの位置にあるウッドデッキの床面に枠組足場を1層組立て、その上に脚立を乗せ、当該脚立に乗って壁の防水シート貼り作業を行っていたところ約7mの位置より墜落した。	371	1	1 ~ 9
2018	1	10 ~ 11	地震による瓦災害工事において、中2階の下屋を施工中に、軒先の板に足を突っ込み、体勢を崩して6.9m下の土手に転落したものの。	415	1	1 ~ 9
2018	2	16 ~ 17	木造平屋建て牛舎の新築工事現場において、屋根下地の組立て作業を行うに当たり、被災者は地上で垂木材の玉掛け作業を行った後、建屋内部に設置した移動はしごを用い、高さ6.04mの母屋上に移動した。その後、一方の足を母屋（幅9cm）に、もう一方の足を既に固定していた垂木（幅4.5cm）の上へのせ、同僚が仮置きしていた垂木を固定しようとする等していたところ、建屋内部の地面に墜落したものの。	415	1	10 ~ 29
2018	2	8 ~ 9	倉庫の脇のテント小屋内において、住宅の新築工事で使用する煉瓦を加工していたところ、屋根（表面はブルーシート）に積もっていた雪と倉庫からの落雪によりテント小屋が倒壊、構造部材（廃材）や落雪の下敷きになり死亡したものの。	418	5	30 ~ 49
2018	3	12 ~	木造家屋新築工事において被災者が1階でクロス貼り作業中、屋外では当該工事現場の近隣住民が生活ごみが風で飛散し、本件工事現場内にも飛んでくるおそれがあったため、被災者は屋外に出て生活ごみを拾い集めようとしていたところ、本件工事現場から西に2軒隣で施工中であった別の木	719	4	1 ~ 9

		13	造家屋新築工事現場内に敷かれてあった泥よけ用の木製板が風で飛び、被災者の頭部に当たった。			
2018	4	10 ～ 11	被災者は、アパートの解体現場において、約3メートルの高さにある鉄骨から飛び出た梁をバーナーで溶断するため、壁に梯子を立て掛けて登り作業していたところ、梯子から墜落したと推定される。その後、同日死亡が確認された。被災時、被災者はヘルメットは着用していたが、安全帯は未着用だった。災害発生前には同僚が梯子を押さえていたが、溶断終了間際に同僚は梯子から離れており、災害は目撃していなかった。	371	1	1～ 9
2018	5	16 ～ 17	平屋民家の屋根葺き替え工事において、雨漏り防止のため、被災者が屋根にブルーシートをかけていたところ、バランスを崩し、軒先から約5m下の地面に墜落し、死亡した。	415	1	1～ 9
2018	6	18 ～ 19	作業場兼倉庫の地上4mの底上で作業場兼倉庫の外壁の釘打ち作業を行っていた被災者が墜落し、地面に頭を打ち付けた状態で発見された。病院に救急搬送されたものの、脳挫傷により後日死亡したものの。	418	1	1～ 9
2018	6	12 ～ 13	3階建木造家屋新築工事に伴う先行足場（くさび緊結式・一側）の組立作業において、最上段の手すり（高さ7.2m）取付けるため、その下の手すり（高さ6.3m）に足を乗せ建地に掴まり身体を保持する姿勢で取付け終えた後、当該箇所から墜落し、頭部等を打撲し死亡したものの。	411	1	1～ 9
2018	6	14 ～ 15	木造2階建てアパートの解体工事を行っていた。事業場代表及び作業員3人で作業を行っており、作業員は建物内部1階の内バラシ作業を、代表は解体用機械を使用して、アパート2階の屋外通路部分を解体していた。午後2時頃、半分残っていた屋外通路が突然落下し、被災者は落下したコンクリート床（推定重量425kg）に右足を挟まれ、右足関節解放骨折、右大腿骨骨折、骨盤骨折を負い、後日搬送先の病院で死亡。	417	4	1～ 9
2018	6	12 ～	木造家屋建築物解体工事において、防音・防じん用仮設設備（仮囲い）の解体中、労働者Aが高さ2.7mの単管（手すり部材）の上に乗る、建地単管（長さ3.6m・重さ約13kg）を外していたところ、雨で足が	521	4	1～

		13	滑った際、建地単管を手放してしまったところ、この建地単管が地上にいた被災者の方へ倒れ、被災者（保護帽着）の頭部に当たり被災した。被災時、被災者の意識が無く、翌日死亡した。			9
2018	6	12 ～ 13	作業員2名で住宅解体工事現場で廃材をトラック（8t）に積み、帰社する途上、自動車道下り線において、走行中に助手席側後輪に絡まったレジャーシートを除去するべく、追越車線上にトラックを停車して、トラックを運転していた作業員が降車し除去を行っているところへ、後続して走行してきた軽自動車が追突し、同作業員がはねられた。トラックの助手席にいたもう1名も右腕骨折等の負傷をした。	221	17	1～ 9
2018	6	14 ～ 15	木造2階建ての屋根修繕工事において、被災者を含めた3人の作業員が屋根上で作業を行っていた。休憩時間が近づいたため、被災者は他の2人より先に屋根から降りたが、その約5分後に物音がしたため確認したところ、足場の昇降用に立てかけてある梯子の下で倒れている被災者を発見した。被災者は搬送先の病院で脳挫傷により死亡したものの、ヘルメットは着用していなかった。	371	1	1～ 9
2018	6	14 ～ 15	戸建て住宅新築工事において、基礎土台組、床板貼作業をしていた被災者が気分が悪くなり動けなくなったため、病院に搬送したが治療中に死亡した。	715	11	1～ 9
2018	6	12 ～ 13	プレカット材をトラックから、建設現場内の作業員へ手渡しにより搬入作業を行っていたところ、昼の休憩中に具合が悪くなり、熱中症となり後日死亡したものの。（観測所気象データ30.7℃及び32.6℃）	715	11	10 ～ 29
2018	7	14 ～ 15	木造住宅の解体現場で被災者は木くず等をトラック荷台に積み込む作業を行っていた。休憩していたところ気分が悪くなり、そのまま木陰で休憩していたが、体調が回復しないため仕事を切り上げ同僚が運転するトラックに乗って帰社する途中で嘔吐、痙攣したため、救急車で病院へ搬送したが、後日搬送先の病院で死亡したものの。	715	11	10 ～ 29
			個人住宅の2階のベランダ改修工事において、木製のベランダを組立て後に、被災者を含め2名で床部分をFRPによる防水処理する作業に従事し			

2018	7	12 ～ 13	<p>ていたところ、被災者が熱中症を発症してベランダ上で倒れた。救急隊が現場に到着したが、被災者をベランダ上から地上に降ろすことができないため、救助隊を要請し、倒れてから約1時間経過して病院に搬送された。後日死亡を確認。</p>	715	11	1～ 9
2018	7	10 ～ 11	<p>ドラグ・ショベルによる掘削で出た廃土を積んだダンプトラックを運転するため、被災者がドラグ・ショベルとダンプトラックの間を通ったところ、オペレータがドラグ・ショベルを操作したため、ドラグ・ショベルのクローラーが後部側から掘削溝に落ち、ドラグ・ショベルのアームとダンプトラックのあおりに頭部及び胸部を挟まれ死亡したもの。クローラーは掘削溝と直角に交わるように配置されていた。</p>	142	7	1～ 9
2018	8	14 ～ 15	<p>木造2階建て家屋の屋根の雨漏り改修のため、1階と2階の屋根瓦を全面葺き替える作業を代表者とアルバイト労働者（被災者）の2名で行っていたところ、2階屋根で作業をしていた被災者が1階北側樹脂波板上に墜落し、頸椎圧迫による酸欠で死亡したもの。被災者等はヘルメットや安全帯を着用しておらず、防網や足場も設けていなかった。</p>	415	1	1～ 9
2018	8	8 ～ 9	<p>被災者は、家屋解体工事現場で、フレコンバックを移動させるため、解体用つかみ機に取り付けたフックにつり下げる作業中に、建物の床の一部が抜けて解体用つかみ機が沈下し傾いたことから、被災者の左半身がつかみ具のツメに激突され、死亡したもの。</p>	145	6	1～ 9
2018	8	8 ～ 9	<p>木造平屋家屋の新築工事中に墜落災害が発生したもの。被災者を含む4人の労働者が垂木を屋根に上げる作業中に、梁と梁の間に架けられた3.61メートルの高さにあった歩み板の上で作業に従事していた被災者が、コンクリート造の基礎に墜落した。歩み板に手すり等の墜落防止措置はなく、被災者は安全帯をしていなかった。保護帽は飛来落下用のものを着用していた。</p>	416	1	1～ 9
2018	9	12 ～	<p>木造2階建新築工事において、2階部分の建方作業中に、約3.1m下のコンクリート基礎部分に墜落し、頭部を強打した。被災者は、同日死亡し</p>	414	1	1～ 9

		13	た。			
2018	9	10 ～ 11	空き家修理工事において、2階建て家屋の南側壁面窓の手すり（1階部分）のさび落とし後に、墜落し死亡した。墜落時には現場に誰もおらず、墜落状況は不明である。	411	1	1～ 9
2018	10	12 ～ 13	倉庫の屋根の補修工事の見積もりを行うため、同屋根上で屋根材の寸法測定を行っていた被災者が転倒し、同屋根の明かり取りの部分の屋根材を突き破り、約7メートル下の床面に墜落し、医療機関に搬送されたが、同日死亡した。	415	1	10 ～ 29
2018	10	18 ～ 19	被災者は、個人邸台風災害復旧工事において、高さ5.17mの鋼管枠組足場の上で、足場の解体作業を行っていたところ、同所より墜落したものと推察される。被災者は、安全帯の着用無く、単独で作業を行っていたものである。	411	1	1～ 9
2018	11	14 ～ 15	被災者は、当該工事において、地面からの高さ1.5mの一侧足場（作業床の幅0.25m）の上で左官作業を行っていたが、地面から1.5m下の川岸の段差に墜落し、更にその1.9m下の川に墜落して、頭部に挫傷を負った。救急病院に搬送されたが、同日死亡した。当該店舗は川沿いに建っているが、川側の敷地が狭く、幅が0.4m～1.4mしかなかった。足場に手すりはあり、被災者は、保護帽を着用していた。	411	1	1～ 9
2018	11	16 ～ 17	死亡した被災者は1階屋根の下地工事中、屋根上を移動していたときに、軒先で作業していた別の作業員と接触し、軒先から2.75m下のコンクリート地面に墜落し死亡した。	415	1	1～ 9
2018	11	12 ～ 13	建築現場にて、地上からの高さ約3.1mのくさび式足場材で構成した一侧ブラケット足場のブラケット（幅約40cmの作業床（布板））の上で躯体ベランダのペンキ塗装作業中、当該足場上で横たわるようにして倒れていたことが確認された後、地上からの高さ約0.8mのウッドデッキへ墜落し、さらに反動で地上へ墜落したものの。	411	1	1～ 9
2018	12	16 ～	木造2階建て一般家屋の屋根補修のための昇降用くさび緊結式単管足場を被災者が一人で組み立てていたところ、足場の2層目（高さ約3.6メー	411	1	1～

		17	トル) 付近から地上 (コンクリート製の通路面) に墜落した。			9
2018	12	12 ~ 13	木造平屋建ての音楽教室の手作業による解体中に、防音設備として設けられていた3.88×3.47m四方のコンクリートブロックの壁部分が倒れて、当該壁の側で床の解体をしていた被災者が背中側から下敷きとなり、床材との間に挟まり被災した。災害発生当日の午前中に当該壁の周囲の木製柱と梁が解体され自立した状態であったが、突然倒れたもの。救出後、医療機関に搬送されたが、後日死亡した。	418	5	10 ~ 29
2018	12	10 ~ 11	木造2階建新築住宅建設において、前日の基礎コンクリート打設作業に続き、モルタルの敷均しを行うための準備作業中、仰向けの状態で倒れている被災者を発見、病院に搬送されたが、後日死亡したもの。型枠の高さは145センチメートル、型枠上には歩み板が敷かれており、被災者が発見された際には、歩み板が1枚被災者の身体の下にあり、保護帽は着用していなかった。	416	1	1~ 9
2017	1	8 ~ 9	被災者は、駐車場整備工事において、ドラグ・シヨベル (以下重機と言う) のフックで吊っていた地面を固めるセメントを入れたフレコンバッグを切るためのカッターナイフを、重機を運転していた同僚 (以下、運転者という) に借りようと、重機に近づいたところ、運転者がカッターナイフを被災者に渡そうと左手をのばした際、重機の操作レバーに触れてしまい、重機が動き、フレコンバッグが被災者に激突した。	142	6	1~ 9
2017	2	8 ~ 9	個人宅のバルコニー保全点検工事のため、はしご (脚立を伸ばしたもの) を1階テラスから2階バルコニー外壁に設置して、片手にシートを持ち、はしごを上っていたところ、バランスを崩し後ろ向きに転落し、テラス床に後頭部を打った。	371	1	100 ~ 299
2017	2	14 ~ 15	古民家の再生工事現場において、玄関土間の壁に立て掛けられた資材 (石膏ボードとベニヤ板) の中からベニヤ板を取り出そうとした大工を補助するため、被災者が立て掛けられた石膏ボード (1枚14キロ) 14枚を支えていたところ、支えきれずに倒れ、頭を玄関框部と石膏ボードの間に挟	529	5	1~ 9

			まれた。			
2017	3	10 ～ 11	解体工事現場において、4 tトラック2台の各荷台の後部を近接させ、荷台上で積み込んだ解体ガラを整理している際、転落した。なお、被災者は、保護帽は着用していた。	611	1	1～ 9
2017	3	10 ～ 11	屋根瓦の葺き替え工事中、雨による作業中断のため、作業の片付けをしていた被災者が、片付けを終えて屋根から降りるため、瓦屑などが入った箕を両手に持って瓦が葺かれている屋根の上を移動中、足を滑らせて屋根から約2 m下のコンクリート地面に墜落し、頭を打ち付け、脳挫傷により死亡した。作業場所である屋根の上には足場等は設けられておらず、安全帯も使用しておらず、安全帯取り付け設備も設けられていなかった。	415	1	1～ 9
2017	3	14 ～ 15	被災者が施工管理を担当する個人住宅の現場管理写真を撮影し、事業場へ帰社する途中、自動車道下り線において大型トラックに追突された。	221	17	1～ 9
2017	3	10 ～ 11	二階建て木造住宅の保証更新における防水工事で、外壁シーリングの更新作業を行っていた被災者が、玄関上の屋根庇（高さ3. 2 m）から墜落した。	415	1	1～ 9
2017	3	8 ～ 9	木造建築現場において、一次下請事業場雇用労働者が被災したものである。被災者は、小型トラックの荷台上（地上0. 9 m）で建設用木材をホイールクレーンのフックに玉掛けしていたが、荷台から地上に墜落し、頸髄損傷により死亡した。災害発生時、被災者は保護帽を着用していなかった。	221	1	1～ 9
2017	4	14 ～ 15	建築物解体工事において、単管、緊結金具、ベース金具及び防音シートで構成された仮設養生の解体作業に従事していた被災者が、高さ5. 3メートルの単管の水平材上から墜落、加療中であったが死亡した。	419	1	1～ 9
2017	4	8 ～	木造2階建てマンションの新築工事中、外壁造作のため地上から約3. 8メートルの高さにある作業床（足場）上で作業していた被災者が持ち場を離れた場所（2～4メートル）の作業床外側から約3. 8メートル下の地面にうつ伏せで倒れているのを同僚労働者が発見した。足場は一側足場で	411	1	1～ 9

		9	あり、作業床の外側には作業床から0.95メートルの高さに手すりが設けられていた。			
2017	4	8 ～ 9	木造2階建て住宅の改修工事現場において、2階部分の屋根東側の雨樋を塗装していた被災者が一側足場に設置された高さ0.9mの手すりを越えて4.3m下の地面に墜落した。災害発生の目撃者はおらず、通行人が墜落して倒れている被災者を発見した。	411	1	1～ 9
2017	5	16 ～ 17	2階建て木造建築住宅の建築工事において、被災者が東面は壁材、床面は根太材しか無い状態であった2階のバルコニーを通り、東面笠木の下を潜って外部足場に移動しようとしたところ、誤って笠木に頭をぶつけ、床面の根太材同士の隙間から1階床面（高さ290cm）に墜落した。	415	1	1～ 9
2017	6	10 ～ 11	被災者が、屋根改修工事現場において、2階の屋根の端にある破風板の取替え作業を行っていたところ、地上から高さ351cmにある足場2段目の作業床から地上に墜落し、死亡した。	411	1	1～ 9
2017	7	14 ～ 15	会社敷地内において、プレハブ倉庫の屋根（高さ2.8m）上に保管してあったコンパネを荷下ろしするために、被災者が同場所に上がり、地上の同僚に手渡しして行き、作業が終了した。この時点で同僚がトイレに行ってきたところ、作業場所に真下で地面に横たわっている被災者を発見した。墜落の瞬間を目撃した者はいないが、被災者は屋根から墜落したものと推定される。	415	1	1～ 9
2017	7	16 ～ 17	木造平屋のリフォーム工事において、被災者は屋根上で使用されていないテレビアンテナの取り外し作業を行っていた。1階で別の作業をしていた同僚は被災者の作業をする音がしなかったため、被災者を探したところ、被災者は軒下にうつぶせに倒れ、溝に溜まった雨水に顔を付けた状態で発見された。被災者はヘルメットを着用しておらず、キャップを着用していた。	713	2	10 ～ 29
2017	8	14 ～	新築工事現場での作業中、地上約3mの所で柱の金物を打とうとしたところ足場のつなぎ目が折れて墜落し、右大腿骨・骨盤・胸椎を骨折した。そ	411	1	1～ 9

		15	の後、多臓器不全により死亡した。			
2017	8	6 ～ 7	建設業店社から当日の工事現場に向けて、トラックにて移動中に交通事故が発生した。台風接近中の中で、道路冠水部分にタイヤを取られ運転操作を誤り中央分離帯を乗り越え、対向車線の乗用車と衝突した。	221	17	1～ 9
2017	8	8 ～ 9	2階建て民家の屋根（勾配33°）の上で、被災者が塗装作業に先立ち高圧洗浄機を用いて屋根の洗浄を行おうとしたところ、足を滑らせて約6.6メートルの高さから当民家に面する道路に墜落した。頭を強く打ち、死亡した。	415	1	1～ 9
2017	9	10 ～ 11	2階建て木造建築の新築工事において、先行足場による足場の組み立て作業で、飛散防止用のメッシュシートを張る作業を行っていたところ、被災者が足場3層目から墜落し、死亡した。	411	1	1～ 9
2017	9	14 ～ 15	躯体1階床から高さ274.3cmに位置する幅10.5cmの木製梁上で、柱に別の梁を取り付ける作業を行っていた被災者が、脚立の天板に乗り移ろうとした際に、躯体1階床まで墜落し死亡した。	415	1	1～ 9
2017	9	8 ～ 9	木造2階建ての新築工事現場において、被災者は、足場の作業床（高さ4.72m）で足場の外側にメッシュシートを設置するに当たり、鳩目と鳩目を紐で結ぶ作業中、作業床から建物側に転落し、地面に墜落した。	411	1	1～ 9
2017	9	10 ～ 11	一部2階建て一般木造住宅の解体工事において、釘で打ち付けられた垂木と鼻隠しを切り離すため、高さ約5mの2階桁及び火打梁に足をかけバーンを使用して軒先側にあおったところバランスを崩し、隣地の庭木の土の上に墜落した。	415	1	1～ 9
2017	9	10 ～ 11	解体工事において、労働者が解体工事作業中に誘導者の配置及び立入り禁止措置を講じず車両系建設機械（解体用つかみ機）を代表者が運転していた際に発生。代表者が気がついた時には既に当該機械に被災者がつかまれ、死亡した。	145	7	1～ 9
2017	10	10 ～	木造家屋の解体工事現場において、平屋部分の屋根上で瓦の撤去作業を行っていたところ、軒先から約2.5m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9

		11				
2017	10	10	木造建築物の建築工事現場において、建て方作業等を行っていた。被災者は、2階の梁上で床下地材を敷いていたが、作業中にバランスを崩し、約3.6m下の1階基礎コンクリート部分に墜落した。	415	1	1～9
2017	11	14	地震により被災した木造2階建ての建設物の解体工事において、廃材をダンプに積み込む作業中、接近した位置にあったブロック積みの壁が倒壊し、シート掛けをしようとした被災者が下敷きになり死亡した。	418	5	10～29
2017	11	10	木造建築工事において、脚立を用いて室内の電気配線作業を行っていた被災者が、屋内の結線する電線を梁の上を通して固定する際に、体勢を崩し、隣接する浴槽の基礎部分に墜落し、死亡した。なお、被災者は保護帽を着用していなかった。	371	1	1～9
2017	11	14	地震で損傷した高床式倉庫の復元模型の復旧作業に従事中的被災者が、床材（重量約45kgの丸太）の荷上げ作業を行っていたところ、地上から高さ1.8mの床部に上がった被災者が地上に墜落し、死亡した。なお、荷上げを終え床部に仮置きしてあった床材も同時に落下した。	418	1	1～9
2017	11	10	建物（木造2階建）解体作業を行っていた被災者は、最後に残った浴室部分の外壁（コンクリートブロック）を解体するため、1人で外壁1階部分をハンマーではつる作業を行っていたところ、倒れてきた外壁に右足を挟まれ外傷性出血により死亡した。	418	5	1～9
2017	12	8	民家の解体工事において、廃材をキャリー（ハンドガイド式の運搬車）に乗せて置き場へ運搬していた被災者が、頭部を負傷し道路に倒れているところを発見された。	417	2	1～9
2016	1	16	木造平屋建ての倉庫新築工事現場において建方作業中、被災者が約4メートルの梁上から基礎コンクリートに墜落した。病院に救急搬送されたが、間もなく死亡した。	415	1	1～9
2016	1	10	木造2階建て民家の解体工事現場において、2階の屋根上で、瓦を外す作業を行っていた被災者が、軒先から約6メートル下の地面に墜落し、4日	415	1	1～9

		11	後に死亡した。			
2016	1	11 ～ 12	個人住宅の壁の補修工事において、被災者が地上にいる同僚から材料を受け取るために1階屋根上を移動していたところ、屋根から墜落し、被災した。	415	1	1～ 9
2016	2	14 ～ 15	木建現場において基礎の捨コン打設作業が終了し、現場から帰る前に資材を覆っていたブルーシートをさらにロープで縛る作業をしていたところ、動作の反動でよろけて敷地端部の土止擁壁から足を踏み外し、約1.8m下の道路に墜落して頭をアスファルト路面に打った。ヘルメットは着用していなかった。搬送先の病院での入院中も意識不明の状態が続いた後、1週間程度で意識が戻り回復に向かっていたが、急変し死亡した。	416	1	10 ～ 29
2016	2	10 ～ 11	木造2階建て住宅新築工事において、2階建物内部で床材となるベニヤ板を貼っていた被災者が、張り出して仮置きしていたベニヤ板に乗り、いわゆる天秤の状態となって墜落した。2日後に病院で死亡。	414	1	1～ 9
2016	2	10 ～ 11	一般住宅（平屋）新築工事に現場において、L型擁壁を設置するため、既設のコンクリートブロック塀の横をドラグ・ショベルで50cm程度床掘りした場所を、被災者がスコップを使い床均しを行っていたところ、倒れてきたコンクリートブロック塀（高さ約1.3m重さ約3t）に胸部まで挟まれ、心肺停止状態となり、発生から約2時間後に病院で多発外傷により死亡が確認された。	418	5	30 ～ 49
2016	3	8 ～ 9	被災者は、同僚労働者と共に、木造新築現場の2階底部分の母屋上において、垂木の釘固定作業をしていたところ、6m下のコンクリート土間に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2016	3	17 ～ 18	木造建築工事（保育園園舎新築工事）において、母屋上で垂木取り付け作業中、被災者は木材等を運搬していたところ、母屋材と母屋材との間から墜落した。（墜落高さ約4.3m）	415	1	10 ～ 29
2016	4	13 ～ 14	木造2階建ての住宅改築工事において、被災者が同僚とともに1階屋根の瓦棧の固定作業中、被災者が屋根上に瓦棧を並べて置きながら移動していたところ、軒先から足を踏み外し330cm下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9

2016	4	7 ～ 8	被災者は、会社から工事現場に向かうため4トンダンプを運転中、緩い右カーブにおいて道路左側の路外にはみだし、約2m下で横転し頭を強く打ち死亡した。	221	17	30 ～ 49
2016	4	10 ～ 11	木造2階建てのリフォーム工事において、足場の組立作業中、2層目の手すりを取り付けていたところ、約4mの高さから足場外部に墜落した。	411	1	1～ 9
2016	5	15 ～ 16	被災者は、木造2階建ての倉庫の2階屋根上（高さ約3.9メートル）で高圧洗浄機を使用し、洗浄作業を行っていたが、休憩時間になり地上に降りるため、2階屋根上から1階屋根上へ脚立を使って降りようとしたところ、脚立と一緒に1階屋根上から地上へ墜落し、19日後に死亡した。	415	1	1～ 9
2016	6	14 ～ 15	木造2階建ての集合住宅の建築工事現場において、被災者は高さ6.8mの屋根上で野地板を張る作業を終えて、屋根から足場に移動中に墜落した。	415	1	1～ 9
2016	6	16 ～ 17	被災者は、プレハブ小屋のひさしを設置するため、塩化ビニル製の波板を敷設していたところ、高さ約2.8メートルの位置から墜落した。	415	1	0
2016	7	15 ～ 16	被災者は、壁材取り付け工事において足場（高さ約4メートル70センチメートル）から転落し、死亡した。	411	1	1～ 9
2016	9	13 ～ 14	木造2階建店舗住宅の屋根瓦塗装工事現場で吹付塗装中、何らかの原因で着衣等に引火した。	512	16	1～ 9
2016	9	9 ～ 10	小学校プールの屋根部分に相当するビニールテントをはがす作業を終え、親綱を取り外す作業に取り掛かろうとしたところ、鉄骨梁（高さ約3.6m）から墜落し、出入口コンクリートたたきに左太ももを強打し、出血性ショックのため、病院搬送後約12時間後に死亡した。	418	1	1～ 9
			被災者は、同僚と会社から解体現場に向かうため、トラックを運転して高			

2016	9	8 ～ 9	速道路の上り線を走行していた。トンネル内でトラックが、左側の縁石に接触し、その反動で対向車線にはみ出し、側壁に接触後、スピンして反対方向を向いた状態で、対向車線を走行して来た大型トラックが衝突した。トラックの運転士が死亡、同乗していた同僚、大型トラックの運転士が負傷した。	221	17	10 ～ 29
2016	9	16 ～ 17	木造2階建既設の一戸建て住宅北側の2階屋根下部分に設けられた換気口の点検・補修を行うために、被災者はアルミ製伸縮はしごを用いて、当該点検・補修箇所付近の屋根まで上がろうとしていたところ、はしごを昇っている最中にバランスを崩し、はしごから転落した。	371	1	100 ～ 299
2016	9	12 ～ 13	アパート建築工事において、敷地に隣接する車道との間の斜面（高さ約3.5m）にブロック積擁壁を設置するため、斜面等の土砂をドラグショベルで掘削していたところ、掘削法面の土砂が崩落（推定4立方m）し、法面直下で補助作業に従事していた被災者が生き埋めとなった。被災者は心肺停止状態で病院へ搬送されたが、死亡した。	711	5	1～ 9
2016	10	9 ～ 10	木造1階建新築工事において、玄関の組立作業を行うにあたり、脚立に歩み板（幅18センチ、2枚重ねで厚さ合計9センチ）を敷いた作業床（高さ1.67メートル）上で、クレーンで吊った玄関ポーチ材を固定するため支えていた被災者が作業床から墜落した。	411	1	1～ 9
2016	10	15 ～ 16	2階建て木造住宅の屋根板金葺き替え工事において、トタンの仮設置を終えたところで雨が降り出したため、当日の作業を中止しようと、道具を片付けていたところ、屋根上で足を滑らせ2階屋根軒先から墜落。一旦玄関屋根に墜落し、アスファルト地面に墜落し、頭部を強打して死亡した。	415	1	1～ 9
2016	10	15 ～ 16	工事において、現場で使用する木製トラス（1枚：117kg）13枚を移動式クレーンを使用して、新築中の建物内部から外部へ同時に移動した際に発生した。13枚の木製トラスをベルトスリングで2本吊りして、高さ約7mまでつり上げた時、片方のベルトスリングが切れ、つり上げられた木製トラスが落下し、地上で指揮をとっていた被災者に当たった。	372	4	100 ～ 299
			被災者は、2階建て木造新築工事現場の2階梁上で梁を固定する作業を			

2016	10	15	行っていたが、別の場所で2階の梁を固定する作業を行っていた作業者に	415	1	1~
		16	梁固定用のボルトを持っていくため、2階の火打ち材に足を掛けた。その			9
			際に火打ち材が外れたため、バランスを崩して火打ち材とともに約6メー			
			トル下のコンクリート土間に墜落した。			
2016	10	11	木造2階建住宅の1階屋根上（幅118cm、勾配5.0度）において、	415	1	1~
		12	被災者が2階外壁へ下地材の取付作業を行っていたところ、誤って屋根端			9
			部から約4m下方のコンクリート地面へ墜落した。			
2016	10	13	木造2階建て住宅の新築工事現場において、2階の屋根葺き（野地板釘打	415	1	30
		14	ち）作業を行っていた被災者が、足を滑らせ同屋根の端から6.21m下			~
			のアスファルト地面に墜落した。			49
2016	10	14	木造平屋住宅の屋根改修工事現場において、脚立足場（高さ約1.75	411	1	1~
		15	m）の上に立ち、充電式インパクトドライバを用いて雨樋固定金具のビス			9
			止め作業中、バランスを崩し脚立足場から側の溝（深さ0.76m）に転			
			落、頸椎を損傷し死亡した。			
2016	11	11	地震で被害を受けた民家の屋根瓦の修復工事の見積もりを終えた後、家屋	371	1	1~
		12	の1階屋根の北側の一枚の瓦が割れていたため、予備の瓦と取り替える作			9
			業を行っている際、移動はしごを上っていた被災者が移動はしごごと地上			
			に墜落し、脳挫傷により死亡した。			
2016	11	9	被災者は、物置の建築中、脚立の上に乗っていたところ、バランスを崩し	371	1	1~
		10	て転落し、地面にあった角材に頭を打って死亡した。			9
2016	11	11	トラック荷台に2段に積まれていたU字溝をドラグショベルでつり上げ荷	529	5	1~
		12	卸しをするため、被災者は助手席側の荷台端部付近で玉掛け作業をしてい			9
			た。1段目の4本の上に端太角を敷き、その上に3本のU字溝が置かれて			
			おり、運転席側のU字溝を下した後、真ん中のU字溝を持ち上げた際、端			
			太角の運転席側が助手席側のU字溝の重みで浮き上がり、助手席側のU字			
			溝が傾いたため被災者が落下、その上に傾いていたU字溝が転がり落ち			
			た。			

2016	11	11 ～ 12	屋根の塗装工事を行うため、高圧洗浄機にて屋根の洗浄作業を行っていたところ、誤って屋根から墜落した。	415	1	10 ～ 29
2016	12	15 ～ 16	駐車場として使用している木造平屋建ての倉庫の天井に、鳥よけ用のネットを労働者2名で設置する作業を行っていた。当該作業のためにローリングタワーを2台使用し、ローリングタワー間に木製の足場板を3枚掛け渡し当該足場板上でも作業できるようにしていた。被災者は取り外していた照明器具を再度取り付けるために足場板に足を掛けたが、足場板が転位して2.8メートルの高さから墜落し、頭部等を打撲した。	411	1	1～ 9
2016	12	17 ～ 18	木造建築現場で使用する部材を事業場に隣接した加工場に搬入するために、事業場前の道路にトラックを止め、荷台横にフォークリフトを寄せ、フォークリフトの運転をしていた労働者が、フォークリフトから降りて荷のカバーのゴムバンドをはずしていたところ、フォークリフト後部が動き、同労働者が、フォークリフトとトラックに挟まれた。	222	7	1～ 9
2016	12	14 ～ 15	木造2階建て住宅のリフォーム工事現場において、資材を取りに行くため、作業箇所から移動はしごが取り付けられた位置まで1階の屋根の上を移動していた被災者が、足を滑らせ同屋根の端から3.4m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2015	2	11 ～ 12	3階建、戸建木造住宅の解体工事において3階から内装ボード（1枚当たり5キロ前後）を地上のコンテナボックスに落とし入れていた際、何らかの原因で地上まで6.14m墜落したもの。（推定）被災日の11時30分頃、被災者に声を掛けにいった職長が地上でうつ伏せに倒れている被災者を発見し、救急要請、病院に搬送され、死亡が確認された。	414	1	1～ 9
2015	12	8 ～ 9	屋根置き式雪止め設置工事で、一般住宅の屋根（2階建て、地上からの高さ5.75m）に梯子を立てかけ登ったところ屋根又は梯子から墜落し、勝手口前の歩道に頭部を打ち付け脳挫傷により死亡した。	415	1	10 ～ 29
			被災者は、木造2階建住宅新築工事のため、車両積載形トラッククレーン			

2015	11	12 ～ 13	を使用し、結束した木製土台41本（約700kg）を2本のスリングロープで玉掛けし吊り上げブームを旋回中、クレーンが転倒し、クレーンのそばで操作していた被災者がクレーンと地面に積まれた足場材にはさまれた。ブーム角度50度、作業半径6m、アウトリガーは最小張り出しで使用していた。（調査確認中）	212	2	10 ～ 29
2015	5	13 ～ 14	被災者は、木造家屋解体現場で発生したがれき等の産業廃棄物を4tトラックで中間処理施設に運搬し、廃棄物の荷降ろしを終えた後、トラックを近くの路肩へ移動し停車させ、トラックの後板（あおり）持ち上げて固定しようとしていたところ、後板を持ち上げ損ね、倒れた後板が被災者の身体に激突し、被災者はその場に転倒した。病院へ搬送されたが、翌日（5月31日）に死亡した。	221	6	1～ 9
2015	8	15 ～ 16	被災者は、木造平屋建ての公営住宅新築工事現場において、高さ約3メートルの梁上で、携帯電動ドリルを使用し、梁に接続金具を取付けるためのボルト穴を開ける作業を行っていたところ、コンクリート土間に墜落したものである。意識不明の状態では病院に搬送されたが、8月20日に脳挫傷により死亡したもの。安全帯は着用していたが使用せず、安全帯を取付けるための設備も設けられていなかった。	415	1	1～ 9
2015	12	14 ～ 15	在来工法による木造建築工事の建て方作業中、2階の床（91cm四方、厚さ24mmの合板）を敷いていたところ、幅12cmの梁（高さ3.8m）から足を踏み外し、ベタ基礎に後頭部を強打した。保護帽、安全帯は着用していたが安全帯を取り付ける設備は無かった。墜落防止用のネットが用意されていたが取り付けられてなかった。病院へ収容され、翌早朝死亡した。	415	1	1～ 9
2015	3	8 ～ 9	家屋改修工事に附帯する宅地の石垣積み作業において、被災労働者は小型ドラグショベル（移動式クレーン機能なし）を操作し石垣の石を吊り上げて移動させていたところ、ドラグショベルが転倒し石垣から3.4m下の道路に墜落し死亡したもの。	142	1	1～ 9
		8	被災者は、屋根のペンキ塗り作業に際し、屋根の端から約6メートル下の			

2015	9	～	9	地面まで墜落し、全身を打って死亡したもの。災害発生日の朝、現場に来た社長が、隣地内に倒れている被災者を発見したもの。	415	1	1～ 9
2015	5	～	1	戸建て住宅のリフォーム工事現場において、建物内の雨戸や鉄の部分の錆を落とすため、けれん作業に従事していた。昼食の声がかかったので、被災者は、高さ1メートル程の足場から脚立を使用して降りようとしたところ、墜落したもの。	371	1	1～ 9
2015	12	～	10	携帯用丸のこ盤で材料加工作業中、反ぱつしたため、丸のこの歯が右大腿部に接触し、大動脈を切断したもの。	131	8	10 ～ 29
2015	4	～	18	宅地造成工事現場において、男性作業員が高さ約6メートルの法面における養生シートの手直しを行っていたところ、法面が崩壊し被災したもの。	711	5	10 ～ 29
2015	7	～	18	モデルルーム新築工事現場において、被災者が脚立に上り、ボルトを用いて鉄骨の高さ3.6mの箇所に胴縁を取り付ける作業を行っていたところ、脚立から墜落し、顔面殴打したことで出血し、血気胸により窒息死したものの。	371	1	1～ 9
2015	7	～	16	木造家屋建築工事現場（新築）において、火打梁（高さ約3m）の上で母屋材の設置を行っていた時に、足を踏み外し墜落したことにより右頭部を打撲し、病院に搬送されたが、午後9時56分頃死亡した。	418	1	1～ 9
2015	3	～	14	被災者は、木造建築工事現場において棟上げ作業中、梁に載せられていた木材の上に乗ったため、それが揺動して約3メートル下の床面に墜落し負傷した。それにより翌日に病院において死亡した。被災者は、棟上げ作業について当日のみ手伝いに来た特別加入者であり、労働者性について調査を実施中。	415	1	1～ 9
2015	3	～	16	被災者は、上記所在地の戸建住宅外壁塗替え工事において、軒裏の天井（以降、軒天という）の補修を行っていたところ、建物の周囲に設置された一側足場の二層目から建物入口のひさしに落ちた後、さらに地上に墜	411	1	1～

		17	落した（墜落高さ4.3メートル）。災害発生当時、被災者は、幅25センチメートルの一侧足場上にいたが、安全帯を着用せず、当該補修作業を行っていた。			9
2015	7	15 ～ 16	発生当日、住宅の新築工事における基礎の型枠の組み立て作業を午前8時から作業を開始し、10時から15分間、12時から1時間、14時から15分間休憩を取り、15時より休憩を行おうとしたところ、気分が悪くなったため事業主の指示で車の中で休憩していた。事業主が17時45分頃車内でぐったりしている被災者を発見し救急車にて搬送したものの死亡が確認された。熱中症と思料される。	715	11	1～ 9
2015	11	11 ～ 12	木造2階建て新築工事現場において、被災者は、2階床のベニヤ板を張るための、のり付け作業中に、後方の開口部から墜落し、3.37m下の1階土間コンクリートに頭部を強打して死亡した。	414	1	1～ 9
2015	7	16 ～ 17	木造平屋建ての作業小屋増築工事において事業主と労働者2名で作業していた。被災者は、屋根上で垂木に野地板を取り付ける作業中、屋根上（高さ約3m）から土の地面に墜落し死亡した。	415	1	1～ 9
2015	10	9 ～ 10	住宅の外壁張替工事において、高さ5.4メートルの3段目の足場上で窓枠のコーキング作業を行っていたところ、バランスを崩し足場内側と建物間に墜落した。墜落時に2段目の布板に激突し、その後地面に墜落した。被災状態を見ていた者はおらず、近くで作業していた大工が物音に気付いて被災者を発見した。被災後、入院治療を行っていたが平成27年1月19日死亡したものの。	411	1	1～ 9
2015	9	11 ～ 12	木造2階建て住宅新築工事現場において、軒天の塗装作業中に仮設足場を歩行しているとき、高さ3.09m（2段目）の足場上で2枚敷きの布板の内、1枚が取り外された状態で設置されており、足場板の抜けていた開口部分から墜落し1段目の足場板に激突したのち、地面に墜落したものの	411	1	1～ 9
2015	5	8 ～	木造住宅新築工事現場において、梁の組立作業中、高さ約4メートルの梁上で移動式クレーンによりつり上げられた梁の玉外し作業をしていたところ、玉外し作業が終わる前にフックが巻上げられたため、その反動でバラ	212	1	1～

		9	ンスをくずして、梁上から墜落した。即日病院に搬送され、意識不明の状態が続いていたが、平成27年12月16日に死亡した。			9
2015	4	13 ～ 14	平屋木造家屋新築工事現場において、被災者は屋根部分の垂木を設置する作業のため、高さ5.37mの棟木（屋根の最上部に設置された垂木を取り付ける為の材）に上り作業を行っていたところ、バランスを崩し土間コンクリート上に墜落した。なお、災害発生時において、作業床の設置、ヘルメットの着用及び安全帯の着用（取付設備設置なし）等の墜落防止措置は講じられていなかったもの。	415	1	1～ 9
2015	6	8 ～ 9	事業場所有の資材倉庫のトタン屋根張り替え作業において、労働者4名によりトタン屋根の撤去作業中、被災者はトタン屋根を踏み抜き約5m下のコンクリート床に墜落した。頭蓋骨骨折で意識不明の重体であったが、平成27年6月9日夜に亡くなったもの。	415	1	10 ～ 29
2015	11	9 ～ 10	住宅新築工事において、水道管等の敷設作業を請負った関係請負人の労働者が、ドラグショベル（ミニバックホー）で掘削作業中、埋まっていたガスのポリエチレン管をバケットで破損させた。労働者が破損した配管を補修しようと深さ約80cm掘った掘削箇所内に入り作業を行っていたところぐったりしたため、同僚がすぐさま掘削箇所内から引き上げたがその後酸欠により死亡したもの。	513	12	10 ～ 29
2015	5	8 ～ 9	個人住宅のベランダ改修工事において、ウッドデッキ上で床板を外す作業において、足をかけた木製梁が腐食により折れ、当該梁と共に約4.6m下のコンクリート土間に転落した。安全帯、保護帽着用なし。	416	1	1～ 9
2015	9	14 ～ 15	棟上げ初日で2階南側床パネルが敷かれた作業床端部において床パネルの釘打ち作業を行っていたところ、別途移動式クレーン（吊上げ荷重13トン）により吊り上げられた床パネル材（緊結15枚、重さ300kg）が、被災者の上方3.5メートルで荷崩れを起こし、床材1枚が被災者の背中に当たり、それにより、被災者は当該作業床端部から3.8メートル下の地面に墜落し頭蓋骨骨折、肝臓からの出血多量で死亡した。	372	4	1～ 9

2015	6	14 ～ 15	被災者は、木造2階建て商業施設建設工事現場において、木造2階床組の根太固定作業中、足を掛けた根太がずれ、高さ3.2mから1階土間コンクリート上に落下、後頭部を強打した。救急車にて病院に搬送され、当日、頭部の血腫除去手術を受けた後、入院療養中であったが、7月26日に急性呼吸不全により、死亡したものの。災害当日、ヘルメットは着用していたが、安全帯を使用していなかった。	415	1	30 ～ 49
2015	8	16 ～ 17	被災者は一般木造住宅の解体工事現場において、解体した木材、ガラ等の分別を手作業で朝から行っていたところ、午後4時20分頃、後ろ向きに数歩下がった後、仰向けに倒れ、搬送先の病院で死亡した。死因は血気胸（外傷性の疾病）による致死性不整脈。被災者の胸部前側には線状の接触痕があったことから、午後4時20分以前に被災者は現場内で転倒し解体物等に胸部前側を激突し、その結果肺気胸を発症したものと推測される。	416	2	1～ 9
2015	8	11 ～ 12	木造平屋建の倉庫新築工事現場において、外壁下地に貼るシートを固定するため高さ3.66mの仮設足場上（2段目）でしゃがんで作業していたところ、バランスを崩し、足場と建物の間から墜落した。墜落時2段目の布板から1段目の布板に激突したあと、地面のコンクリート床に墜落した。頭部を強打し死亡したものの。保護帽は未着用。	411	1	1～ 9
2015	10	14 ～ 15	本件労働災害は一般家屋の解体工事現場において伐木後の木をドラグショベル（機体重量10t以上）で集積していた際に発生したものの。運転者（事業主）がドラグショベルを後退させたころ、右側の履帯に被災労働者の両足が挟まれたもの。死亡日は10月3日。死因は外傷性ショックによる多臓器不良。	142	7	1～ 9
2015	9	14 ～ 15	個人住宅の屋根塗装の前処理として、ゴムホースを用いて屋根上を水洗浄作業中、1階屋根上から約4m墜落し、頭部を石に強打したものの。	415	1	1～ 9
2015	1	16 ～	浴室改装工事で、左手に木材、右手に携帯用丸のこ盤を持って引き割り作業をしたところ、携帯用丸のこ盤がぶれ、左手人示指を切断した。左示指切断、創傷感染症、破傷風の疑いで通院により創処置していたが、災害か	911	90	1～ 9

		17	ら24日後に破傷風のため入院し、災害から32日後に死亡した。			
2015	8	17 ～ 18	個人住宅新築工事現場で8時30分頃から外構工事に従事していた作業員が16時35分頃作業を終え、2t車に乗って会社の資材置場に向け出発した途端に熱中症を発症し、救急搬送先の病院で同日、18時頃死亡した。	715	11	1～ 9
2015	1	8 ～ 9	二階建住宅の増改築工事において、一階屋根の上で配線を取り外す作業を行っていたところ、約4m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2015	6	9 ～ 10	木造住宅建築工事現場において、足場の上で外壁の施工状況を点検中、少なくとも高さ3M以上の足場上から地上のコンクリート側溝に墜落した。	411	1	1～ 9
2015	11	14 ～ 15	木造2階建て建物の解体工事現場において、建物の周囲に仮設した単管の骨組みへの養生（飛散防止用）シートの取り付け作業中、2階の屋根上（高さ6.01m）で当該作業を監督していた労働者が、単管の骨組みから外側に約1m40cm離れた道路上に墜落したものの。被災者の災害発生時の状況は不明であるが、災害発生10分前に、被災者が単管の骨組み上部にいたところが目撃されている。	419	1	1～ 9
2015	7	14 ～ 15	ダンプにより搬入した外構工事用の約6tのアスファルト合材を荷下ろしする作業において、ダンプの荷台の最後尾にある「チャンバー」と呼ばれる機械ロックを施すため、被災者が荷台を約20度まで上昇させ同僚がタイヤショベルを運転して後部のあおりをバケットで押さえた後、運転席内にある「チャンバー」のスイッチを入れようとした際、荷台が不意に下降し、何らかの目的で荷の下に入った被災者が荷台と車体の間に挟まれたものの。	221	7	1～ 9
2015	4	9 ～ 10	木造2階建て一般家屋の屋根塗装中に発生した災害。被災者が、ローラーを用いて塗装作業を行っていた時に、高さ6.2メートルの屋根から滑り落ち、2階ベランダ手すりに当たった後に、地面に墜落したものの。療養し	415	1	1～ 9

			ていたが、平成27年11月22日に死亡した。			
2015	10	14 ～ 15	木造2階建て住宅屋根修理工事において、被災者がはしごに乗ったまま南側1階屋根の古いしっくい除去作業を終えた後、一旦地面に下り、しっくいの入ったバケツを持ってはしごを昇り屋根上に上がって移動していたところ、足を滑らせ2.95m下の砂利敷きの地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2015	10	15 ～ 16	庫裡建築工事において、梁の上で被災者と同僚の2名で、他の梁を取り付け、その後、クレーンの運転手が梁を吊っていたクランプを上げたところ、クランプの一つが取り外されていなかったため、梁が持ち上がった。持ち上がった梁に足を掛けていた被災者はバランスを崩し、高さ3.86m下のコンクリート面に墜落した。その後、病院に搬送されたが、脳挫傷等により同日午後11時49分に死亡した。	415	1	1～ 9
2015	9	13 ～ 14	高さ約6メートルの箇所垂木の取付け作業を行っていた時、垂木の端から地上に墜落したもの。被災者は、平成27年9月3日、搬送先の病院で死亡した。	415	1	10 ～ 29
2015	9	14 ～ 15	事務所の新築工事現場において、被災者は外構工事としてコンクリートブロックの仮置き作業を行っていたところ、被災者が急にふらふらし、意味不明な言動を始めたため被災者を日陰で休ませたが、その後呼びかけにも応じなくなったため救急搬送した。被災者は搬送先の病院において熱中症と診断され、集中治療室にて治療を続けていたが、翌日死亡した。	715	11	1～ 9
2015	8	0 ～ 1	平成27年8月1日午後4時頃、代表者及び被災者他3名の作業員が木造建築住宅現場において基礎部分の型枠解体後の清掃作業をしていたところ、ワゴン車の中で休憩していたはずの被災者がワゴン車の後輪付近で倒れており、痙攣を引き起こしていたため、病院へ救急搬送したが、8月3日20時15分、熱中症による多臓器不全にて死亡した。	715	11	1～ 9
2015	8	9 ～	木造家屋建設工事において、鋼材で作られたラックに入れた複数の建材パネルを車載型トラッククレーンを用いて移動させる作業を行う際、被災者が脚立に乗って作業をしようとしたところ、手前の建材パネルが被災者がいる方向に倒壊して、被災者はそのまま脚立から落ちて建材パネルと共に	522	5	30 ～

		10	後方のアスファルト舗装の地面に仰向けの状態で倒れ、建材パネルの上枠が被災者の顔面を強打した。			49
2015	8	13 ～ 14	一般住宅の外壁張替え作業中、住宅への引込線の位置を調整するため、交流100ボルト（単相3線）が通電中の当該電路を握ったところ、電路の絶縁被覆が損傷していたため、感電したもの。当日の天候は雨。被災者は、絶縁性能を有しないポリウレタンコーティングを施した作業用手袋を着用し、作業に当たっていた。	351	13	1～ 9
2014	1	11 ～ 12	被災者は、ショールームの打ち合わせコーナーにて客と打ち合わせを行っていたところ、腹部と腰部の痛みを訴え、救急車で搬送された。	921	90	10 ～ 29
2014	2	17 ～ 18	防音改修工事にて、2階内壁の下地作業を行っていた被災者は、内部作業終了後、1階屋根上に設けられた作業構台の作業床の端から墜落した。	411	1	1～ 9
2014	2	14 ～ 15	木造平屋建て事務所の新築工事現場にて、被災者は同僚と6名で、幅11cmの梁及び梁と梁の間に架け渡した幅24cmの足場板の上で、雲筋と呼ばれる柱や梁の歪みを防止するための筋かいを取り付ける作業を行っていたが、バランスを崩し、3.05m下のコンクリート土間に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2014	2	8 ～ 9	新築工事現場にて、2階に置いてあった保護帽及び工具袋を取りに行くため高さ2.7mの脚立を上っていたところ、転落した。	371	1	10 ～ 29
2014	2	8 ～ 9	アースオーガーからロットを取り外して地面に降ろすため、ワイヤーでロットに玉掛けし、バックホウのバケットのフックにアイ2つを掛けて1本吊りで移動させ、ロットの片方を地面に付け、反対側を下げ始めて45度ぐらいの角度の際、フックからワイヤーが外れ、ロットが一気に地面に落下し、その場にいた被災者が下敷になった。	142	4	10 ～ 29
2014	2	15 ～	一般住宅改修工事現場にて、高さ1.3メートルの塀の上に乗る、外壁補修作業（補修箇所の高さは約3メートル）に従事していたところ、何らか	418	1	1～

		16	の原因により塀の上から墜落した（災害発生を目撃した者はいなかった）。			9
2014	3	9 ～ 10	解体工事現場にて、被災者及び運転者他2名にて、ドラグ・ショベルの搬入路として使用する敷鉄板を敷設するため、敷鉄板に横吊り用クランプと吊りチェーンで3点玉掛けし、当該ドラグ・ショベルのバケット吊り具で吊り上げ、敷設予定箇所までアームを伸ばそうとしたところ、ドラグショベルが転倒し、バケットの爪が被災者の頭部を直撃した。	142	6	10 ～ 29
2014	3	15 ～ 16	木造建売住宅建築工事現場にて、足場又は屋根から約6m下の地面に墜落した。	411	1	10 ～ 29
2014	3	14 ～ 15	足場組み立て作業中、足場材である支柱を手渡しで上層へ運搬していた際、手渡された支柱を持ち、クサビ緊結式足場3層目の幅25cmの足場板上を移動していたところ、バランスを崩し、支柱ごと約5.5m下に墜落した。	411	1	10 ～ 29
2014	4	16 ～ 17	トラックで国道を走行中、交差点にて、赤信号により停車していたトラックに追突し、被災者が死亡し、同乗していた同僚及び追突された運転者の2名が負傷した。	221	17	10 ～ 29
2014	4	17 ～ 18	木造2階建ての新築工事現場にて、先行足場の組立作業で高さ約7mに位置する落下防止手摺に連結用ジョイントを差し込む際、手摺にかけていた足元が滑り、バランス崩し、約4m下の基礎の上に墜落した。	411	1	10 ～ 29
2014	5	2 ～ 3	自宅アパートにて、過重な業務が原因で、死亡している被災者が発見された。	921	90	1～ 9
2014	5	13 ～ 14	被災者は、屋根吹き替え工事現場にて、外部足場の落下防止シートを設置していたところ、墜落し、死亡した。	411	1	1～ 9
		11	2階建て木造家屋改築工事にて、1階屋根部分の瓦を葺く作業のため、屋			1～

2014	5	5 ～ 12	根上を歩行中、屋根から3.61m下の地面に墜落した。	415	1	9
2014	5	13 ～ 14	ベニア貼り作業中、高さ147センチメートルの脚立足場から墜落した。	411	1	10 ～ 29
2014	5	16 ～ 17	一時的に垂木に設置していた部材を取り外していたところ、バランスを崩し、梁の上からコンクリート製基礎まで墜落した。	415	1	1～ 9
2014	6	10 ～ 11	高さ6.3mの屋根瓦の端にて、コーキング打ち作業を行っていたところ、足を滑らせ墜落し、死亡した。	415	1	10 ～ 29
2014	6	15 ～ 16	木造家屋の解体工事現場にて、解体した材料の分別作業を行っていたドラグ・ショベルの後方にて、木くずを拾い集めていた被災者が、後退してきたドラグ・ショベルに轢かれた。	142	7	10 ～ 29
2014	7	12 ～ 13	住宅の家屋解体工事中、熱中症により死亡した。	715	11	10 ～ 29
2014	8	8 ～ 9	祠の屋根の柱と斜面下の栗の木の2箇所に滑車を取付け、滑車に張られたトラロープを軽トラックで牽引し、材料を斜面上部に引きずり上げる作業中、栗の木に取付けていた滑車の台付けロープが切断し、牽引ロープの内角側にいた被災者に滑車が飛来し、頭部に当たった。尚、被災者は保護帽を着用していなかった。	219	4	1～ 9
2014	8	13 ～ 14	バルコニー防水工事の作業を行っていたところ、熱中症により倒れ、病院に搬送後、死亡した。	715	11	30 ～ 49
2014	8	18 ～	足場上の道具箱を足場昇降設備である移動はしごから手を伸ばし、取ろうとしたところ、足を滑らせ、3.67mの高さから墜落した。	371	1	1～ 9

		19				
2014	8	8 ～ 9	屋根雨漏り補修工事にて、梯子から屋根に移ろうとした際、バランスを崩し、3 m下の地面へ墜落した。	415	1	1～ 9
2014	8	13 ～ 14	工事現場に向かうため、トラックで県道を走行中、緩やかなカーブを曲がりきれずに路肩の電柱に激突し、助手席の被災者が死亡し、運転者が負傷した。	221	17	1～ 9
2014	8	8 ～ 9	建物の外側から雨漏り箇所を探しに行った際、被災者と広がった脚立が横たわっているのが発見された。	371	1	10 ～ 29
2014	9	10 ～ 11	高さ約2. 3 mの外部鋼管足場（枠組）の作業床の上にて、軒下の造作作業中、墜落した。墜落した際、肋骨が骨折し、肺に刺さり死亡した。	411	1	1～ 9
2014	10	11 ～ 12	小屋仮筋交いを設置しようと、杉板材を移動させていたところ、バランスを崩し、高さ約4. 8 mの梁上から墜落した。	418	1	10 ～ 29
2014	11	13 ～ 14	梁又は梁の上に敷いたコンパネ上で屋根工事中、開口部（梁とコンパネの間）から墜落した。尚、被災者はヘルメットを着用していたが、安全帯は使用していなかった。また、作業現場には防網は持ち込まれていたが、使用していなかった。	415	1	1～ 9
2014	11	17 ～ 18	2階建木造住宅新築工事現場にて、2階梁上で根太を並べる作業中、下のコンクリート床へ墜落した。	415	1	1～ 9
2013	11	14 ～ 15	2階建木造建築家屋新築工事において、1階の外壁に代表者と二人で防湿シートを張る作業を行っていた際、ブラケット足場の1段目（地上からの高さ145センチメートル）の作業床から墜落した。	411	1	1～ 9
			木造2階建家屋の屋根瓦葺替え工事において、1階屋根軒先部分の野地板			

2013	4	16 ～ 17	を取り替えるため、古い板を取り外し、垂木に載りホウキで清掃していたところ、足を載せた垂木が取り付け部から曲がり、バランスを崩し転落した。被災者が足を載せた垂木は、隅木近くで軒桁に支えられておらず、作業者の体重で曲がった。尚、作業場所に作業床は設けられておらず、転落を防止する安全帯は使用していなかった。また、保護帽も着用されていなかった。	415	1	1～ 9
2013	3	15 ～ 16	建物の改築工事現場において、地上から6.4mの高さの足場上で、躯体北面外壁の防水シート貼り作業を代表者と被災者の2名で行っていた。棟木付近の防水シート貼りを行っていた際、被災者は、棟木と垂木部の繋ぎ斜材の一部を切り落とすため、のこぎりを取りに足場を降りる途中、足場（幅500mm）上で転倒し、作業床と手摺りの間（450mm）から3.6m下のコンクリート土間に後頭部より墜落した。	411	1	1～ 9
2013	12	16 ～ 17	木造家屋新築工事現場において、棟上げ中の建屋内部、高さ3.4mの梁の上で、ヘルメットを着用し、安全帯未使用で釘打ち墨出し作業を行っていたところ、梁の上から地上の基礎コンクリート上に転落した。	415	1	1～ 9
2013	1	16 ～ 17	木造家屋の解体工事を行うにあたり、当日の作業の終了前に、解体途中の壁の倒壊を防止するため、壁に金具を取り付けてワイヤーで内側に引く作業を行う際、金具を取り付けるため2階床上で作業を行おうとしたところ、釘で固定されていた床材が外れて天秤状態となり、2.3メートル下の地面に墜落して頭部を強打した。	418	1	10 ～ 29
2013	4	14 ～ 15	農業倉庫新築工事現場内、くさび緊結式の移動式足場上で、本筋交いに耐震金物の仮止めを終了した後、当該移動式足場から外部足場に乗り移ろうとした際、移動式足場が当初の位置からずれ、2.8mの高さから、移動式足場と外部足場の間に墜落した。	411	1	1～ 9
2013	7	9 ～ 10	リフォーム工事現場において、その工事のうちの浴室及び脱衣場が一続きになった部屋の床材の撤去工事を請け負い、その作業に同僚1名と一緒に取り掛かった被災者は、携帯丸のこ盤を用いて床材に切り込みを入れたところ、丸のこ盤の刃が噛みこんで反発して跳ね上がり、被災者の右太腿部	131	8	1～ 9

			分に丸のこ盤の刃が接触、その切創による出血のため死亡した。			
2013	5	14 ～ 15	木造2階建ての個人住宅の解体工事現場において解体作業中、北西側の外壁（土壁、幅約4m×高さ約2.2m×厚さ約10cm）が突然倒壊し、倒れてきた外壁の上端の軒桁が被災者の頭部に当たった。	418	5	10 ～ 29
2013	5	9 ～ 10	庫裏改築工事において、スラブ型枠の組立時、被災者は型枠材料（約1m×約60cm）の角を携帯用丸のこ盤を用いて切断作業中、当該丸のこ盤の歯により、自らの右大腿部を切創した。	131	8	1～ 9
2013	7	13 ～ 14	被災者は、木造平屋建て新築工事の屋根工事において、屋根上にて垂木を取付ける作業中、誤って高さ約5メートルの位置からコンクリート製の土間に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2013	12	13 ～ 14	2階建て木造家屋新築工事現場において、高さ約5メートルの足場上で屋根に防水シートを貼り付ける作業をしていたところ、地面に墜落して死亡した。	411	1	10 ～ 29
2013	4	7 ～ 8	木造家屋の解体工事現場において、解体用つかみ機を使い、ダンプからバックホウのバケットを降ろす作業を行っていたところ、運転者の作業服がレバーにかかり、不意に機械が旋回してしまい、ダンプの荷台で補助作業をしていた被災者の腹部に当たった。	149	6	1～ 9
2013	1	11 ～ 12	被災者は、木造平屋建て公民館の新築工事現場において、大工・クレーンオペレーターなど7名と共に、建前を行っていた。柱・桁・梁を組立てた後、幅12cmの梁上で小屋梁を支えるための束を設置していたところ、約3.5m下に墜落し頭を強打した。尚、ヘルメットは着用していたが、安全帯は使用していなかった。	415	1	1～ 9
2013	11	7 ～ 8	事業場事務所に集合し、1.5tトラックに被災者を含めた3人が乗車し、同僚が運転して物置トタン張替工事現場へ向かう途中、当該トラックが前方の車に追突しそうになったため、避けようとハンドルを右に切ったところ、対向車線を走行してきた乗用車と正面衝突し、体を圧迫され死亡した。	221	17	1～ 9

2013	6	16 ～ 17	被災者は、勾配3 2度の屋根面上で屋根葺き作業を行っていた際、雨で濡れた屋根面で足を滑らせ、高さ3. 7 mの屋根面から高さ3. 5 mの足場板上に滑り落ち、更にそのまま足場板上から地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2013	9	16 ～ 17	木造家屋の基礎工事において、ドラグ・ショベルを用いて掘削作業を行う被災者は、掘削作業により発生した最大勾配約3 0度、高さ約9 0センチに積まれた残土の頂上まで、上部旋回体を反時計回りに9 0度回転させた状態で後進させたところ、当該ドラグ・ショベルがバランスを崩し転倒し、被災者が地面との間にはさまれた。	142	2	10 ～ 29
2013	12	14 ～ 15	木造2階建て家屋の新築工事において、労働者2名で、建物の外側に石膏ボードを打ちつけるため、被災者が高さ2. 3メートルの単管足場1段目の足場板から足場2段目の労働者に石膏ボードを渡していたところ、足場から墜落し、死亡した。尚、被災者が作業していた足場を含め、足場全体において、外側には手すりが高さ8 5センチメートルの位置にあったものの中さんはなく、内側（躯体側）に手すり等は一切設けられていなかった。	411	1	1～ 9
2013	10	11 ～ 12	アパート階段屋根の塩ビパネル1枚の取り替え工事中、事業主と被災者の2名で塩ビパネルを取り替えた後、被災者は2階の踊り場で、笠木に上がって作業していた事業主に木ねじやサイドモールを手渡すなどの雑作業を行っていた際、踊り場の端部から後向きの姿勢で階段をすべり落ち、道路に頭部を強打した。	413	1	1～ 9
2013	12	9 ～ 10	木造2階建建築現場において、大梁と大梁の繋ぎ材の取り付け作業中、高さ約3. 2メートルの大梁の上から墜落し、コンクリートの床に頭を強打した。	415	1	1～ 9
2013	1	11 ～ 12	被災者は、木造家屋のじょうご取り付け等の作業の際、2階屋根の端（高さ5. 5メートル）から隣接する民家の敷地内に墜落した。	415	1	1～ 9
2013	9	15	被災者は、民家を解体して立て直す工事において、民家の2階部分の解体作業を行っている際、解体現場を覆う養生シートの骨組を解体しようとし	418	1	1～

		16	て、約5メートルの高さから地面に墜落した。			9
2013	2	11 ～ 12	被災者は、木造2階建て一般住宅の建築工事現場において、高さ約5mの2階はきだし窓部分から地上まで墜落した。尚、落ちた個所は足場と躯体の間であり、窓と外部足場の間隔は約50cmであった。また、災害発生時目撃している者がいないため墜落時の作業内容等、状況は不明である。	416	1	1～ 9
2013	10	8 ～ 9	被災者は、網入り塩化ビニル製波板の屋根の取り外し作業を行うため、屋根の上に上り作業を行おうとしたところ、踏み抜いてしまい、高さ2.7メートルからコンクリート製の床に墜落した。	415	1	1～ 9
2013	6	11 ～ 12	木造2階建て一般家屋の解体工事を作業員3名で行っていた。2名が2階の屋根上に上がり、野地板の撤去作業を行っていたところ、1名が約5.8m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2013	12	16 ～ 17	寺の新築工事現場において、本堂の屋根下地への銅板貼付け作業をしていた被災者は、高さ5mの足場床面から地面に墜落した。	411	1	1～ 9
2013	7	16 ～ 17	被災者は、木造家屋新築工事現場において、給排水管の敷設工事を行っていた。その後、熱中症と思われる症状により、現場内に倒れているところを発見された。	715	11	1～ 9
2013	2	13 ～ 14	工場の折板（鋼板）屋根の明りとり窓部の修繕工事現場において、被災者は現場責任者の指示を受けて、材料を取りに行くため折板屋根上を移動し、屋根上の材料荷揚げ箇所まで来た際、1m（折板2枚分）後ろにあった明りとり窓部から約9.4m下の工場内床面に墜落した。尚、明かり窓の材質はポリカーボネートで、折板とは異なり、人が上がれる強度は有していない。	415	1	1～ 9
2013	7	11 ～ 12	2階建住宅の屋根塗装作業現場で、作業員2人により塗装作業を行っていたところ、手塗により塗装作業を行っていた被災者が、誤って高さ6.2メートルの軒先から墜落した。	415	1	1～ 9
			アルミサッシ1枚を社有車（1t平ボデートラック）に積み込み国道を運			

2013	12	13 ～ 14	送中、被災者トラックが対向車線に進入した。対向車線大型トラックは、被災者トラックを左に避けようとしたが路肩で避けきれず、対向車線（被災者走行車線）に入り被災者トラックを避けようとしたが、被災者トラックが走行車線に戻ってきた為、正面衝突した。	221	17	～ 29
2013	7	9 ～ 10	物置（平屋建）新築工事現場において、梁と桁に足を掛けて火打梁を固定する作業に従事していた被災者は、3.3メートル下方のコンクリート基礎まで墜落した。	415	1	1～ 9
2013	4	13 ～ 14	既存の木造2階建住宅の屋根塗装補修作業において、軒高約3.1mの屋根へ片手に塗料缶をもち、梯子を昇降中に墜落した。	371	1	1～ 9
2013	8	13 ～ 14	破れたシートハウスの天井部分にトタン屋根を設置する作業において、三脚梯子を上り、屋根の上の作業者に釘を手渡した後、手渡した位置である三脚梯子の8段目付近（高さ2.4m）からそのまま後ろ向きにコンクリート地面に墜落した。	371	1	1～ 9
2013	11	8 ～ 9	塗装のための準備作業を一人で行っていたところ、足場から墜落した。尚、被災者は保護帽、安全帯及び安全靴を着用していなかった。	411	1	1～ 9
2013	8	11 ～ 12	被災者は、個人住宅改築工事現場において、アスファルトルーフィング（以下、「ルーフィング」という。）を敷く作業後に屋根上を移動していたところ、ルーフィングによって隠れていた（印はつけられていた）天窗設置予定の開口部（80センチ×80センチ）からルーフィングを突き破って屋内床へ約4メートル墜落した。	415	1	1～ 9
2012	9	10 ～ 11	木造2階建て新築工事において、被災者は2階の梁を取り付ける作業で梁の上を掛矢を持って移動していたところ、バランスを崩し、高さ約4mの梁から墜落した。	415	1	1～ 9
2012	5	14 ～	被災者は、木造2階建て住宅の雨戸修理工事現場において、住宅2階の雨戸の戸袋の撤去を行っていたところ、地面に墜落した。なお、戸袋の撤去作業は、高さ2.78mの庇上における単独作業であるが、被災者は、被災直後	371	1	1～

		15	に救急隊員に対し、「昇降設備（梯子）から落ち、背中・腰等を打った」旨伝えている。			9
2012	1	9 ～ 10	木造3階建て個人住宅新築工事現場において、3階床はり上を移動中、約7m下に墜落し、頭を強打し死亡した。	415	1	1～ 9
2012	3	11 ～ 12	民家の外壁塗装工事現場の高さ約3.63mの銅板葺きの軒屋根上で、塗装作業において付着したペンキ等の汚れを取る作業を行っていた被災者は、足場の脚部で外壁にもたれるような姿勢で、この家の住人によって発見され、病院へ救急搬送されたが、延髄損傷で死亡した。	415	1	1～ 9
2012	2	10 ～ 11	2 tトラックに積まれていた木材1本（土地丸太、長さ12m、胸高直径35cm）をフォークリフトで降ろす作業中、フォークリフトで木材を地上から約2mの位置に持ち上げた状態で、フォークリフトの運転者が運転位置から離れていたところ、その木材（丸太）が転がり落ち、近くにいた被災者を直撃した。	222	4	1～ 9
2012	5	11 ～ 12	木造一戸建て建売住宅新築工事において、2階外壁防水工事のために外部足場の建地を登っていたところ、足を踏み外し高さ約4mから地面へ墜落した。	411	1	1～ 9
2012	4	11 ～ 12	火災現場で焼跡の撤去作業を行っていた被災者は、横転した状態の焼けたトラックと停止していたドラグショベルのバケットの間で焼けガラを単独で片付けていたところ、焼けたトラックが倒れ、焼けたトラックとバケットとの間に胸部を挟まれ窒息死した。	221	5	1～ 9
2012	9	13 ～ 14	スレート葺き建物の屋根材を撤去する作業中、被災者は屋根の石膏ボードを踏み抜いて約5mの高さから墜落した。	414	1	1～ 9
2012	12	14 ～ 15	2階建て木造家屋建築工事現場において、移動式クレーンを使用して2階の外壁材（木材）を搬入中、つり上げていた外壁材が風の影響で揺れ、2階壁部の上枠の上に立っていた被災者がそれを回避しようとしたところ、約2.5	415	1	1～ 9

			m下の2階床面に墜落したものの。			
2012	7	11 ～ 12	住宅地盤沈下修正工事現場において、当該住宅床下の地盤を手掘りで横方向に掘削している際に、住宅基礎部分のコンクリートの一部が上から崩落し、被災者の体の一部が掘削地面との間に挟まった（掘削高さ約1.5m、奥行き約2m）。被災後、天候が豪雨となり、掘削箇所に浸水し、救出するまでの間に溺死した。	418	5	1～ 9
2012	7	15 ～ 16	被災者は単独で高圧洗浄機を用いた外壁の洗浄作業を行っていたところ、近くの公園でふらふらと倒れそうになっているのを近所の住民により発見され、救急搬送されたが、熱中症により死亡した。なお、発見時に被災者は、作業着にビニール合羽を着用していた。	715	11	1～ 9
2012	12	8 ～ 9	移動式クレーン（つり上げ荷重25 t）を用いて材木の束（プレカットされた集成材28本、重さ約700kg）を床上に搬入する作業を行っていたところ、材木の束ををつり上げていたベルトスリングが横方向に移動し、材木の束の片方が床面に落下し、その反動で材木の束が飛び跳ねた。この飛び跳ねた材木の束が、台木を置く作業をしていた被災者の頭部に激突した。	372	6	1～ 9
2012	10	13 ～ 14	木造瓦葺2階建ての新築工事現場において、2階床面で筋交いプレートの取付作業に従事していた被災者は、高さが約3mの2階床面の開口部から1階土間へ墜落して頭部を強打し、頸髄損傷のため救急搬送先の病院で死亡した。	414	1	1～ 9
2012	5	8 ～ 9	住宅増改築工事において、移動式クレーンを用いて生コンを入れたコンクリートバケットを吊り上げ、基礎打設作業を行っていたところ、移動式クレーンを設置した地盤が崩壊し移動式クレーンが倒れ、移動式クレーンのジブが基礎作業を行っていた被災者の背面に激突した。	212	6	1～ 9
2012	2	15 ～ 16	住宅2階屋根において作業員複数名で屋根の雪下ろし作業中、被災者はスノーダンプを使用して軒先部分の除雪をしていた際、スノーダンプもろとも約8m下の歩道上に墜落した。	415	1	1～ 9
2012	7	14 ～	2階階段室付近において、間柱の設置作業中、開口部（幅4.4m、奥行き0.8	414	1	1～

		15	m) から約4m下のコンクリート上に墜落した。			9
2012	11	9 ～ 10	住宅の解体工事現場にて、つかみ機を使用して廃材をトラックの荷台に積み込み作業中、荷台に載せた廃材上（幅約30cm）で廃材の位置直しを行っていた際、位置直しを行っていた廃材（縦23cm×横23cm×長さ453cm）とともに約2m下の歩道面に墜落し、脳挫傷により死亡した。	221	1	1～ 9
2012	12	15 ～ 16	木造建築物の新築工事現場において、クサビ緊結式足場と連結している作業構台（高さ約5m、幅5.4m×奥行き3.6m）の上に作業小屋を設置する作業中、作業小屋の屋根となる波板（幅0.83m×長さ4.12m、荷重約8kg）の取付け作業を行っていたところ、作業構台の外側に設置したブラケット部の作業床から高さ約6m下の地面に墜落した。	411	1	1～ 9
2012	6	16 ～ 17	資材置き場の補修工事用の足場を設置するため、資材置き場軒の高さ約6mの屋根上でチェーンソーを用いて雑木の伐倒を行っていたところ、切断直後に当該伐倒木とともに屋根を転がり、地面に墜落した。	712	1	30 ～ 49
2012	8	14 ～ 15	被災者は木造2階建アパート新築工事において、敷地内に単管の杭を打ち込む地盤改良工事を行っていた。単管の長さを調整しようと電動高速カッターで単管を切断していたところ、その電源である発電機の燃料がなくなったため、燃料であるガソリンを給油しようとした際、給油タンクからこぼれたガソリンが発火し、被災者の衣服に燃え移った。	512	16	1～ 9
2012	5	13 ～ 14	2階建て建物の屋根瓦の葺き替え工事において、被災者は、はしごを使用して建物の屋根に上がろうとしていたところ、はしごから墜落して死亡した。なお、被災者は両手が自由な状態ではしごを使用していた。また、はしごは固定されており転位することはなかった。	371	1	1～ 9
2012	8	17 ～ 18	木造2階建家屋の解体現場において、解体した木材を積んだトラック荷台上で、ロープ掛け作業を行っていた被災者は、荷台上から道路面まで約3mの高さを墜落した。	221	1	1～ 9
		10	木造住宅建築工事において、2階バルコニー上にて外壁張り作業を行っていた被災者はバランスを崩し、バルコニーの端から約4m下のコンクリート土			1～

2012	3	～	間に墜落した。なお、バルコニーには手すり等は設けられていなかった。	416	1	9
	11		また、被災者は作業を行うにあたり、安全帯、保護帽を着用していなかった。安全帯取り付け設備も設けられていなかった。			
2012	11	～	被災者は上棟式準備作業中に、高さ約4mの梁から墜落した。ネットなどの墜落防止措置は施されておらず、被災者はヘルメット、安全帯を着用し	415	1	1～ 9
	15		ていなかった。			
2012	8	～	ビケ足場から単管の腕木を躯体側に張り出し、そこに木製の板を渡して足			
	8		場とした。被災者は足場に乘って屋根の上に野路板を載せる作業を行っ	411	1	1～ 9
	9		いたが、乗っていた足場が崩壊した。この足場は、躯体の外側で庇の真上			
			に設置されていたが、被災者は躯体の2階開口部を通過して約4m下の1階コン			
			クリート土間に墜落し、死亡した。			
2012	10	9	被災者は木造建築の2階（高さ約3m）での棟上げ作業中、梁上より落下し	415	1	1～ 9
	10	～	た。			
2012	11	～	屋根塗装工事において、ローラーを使って1階トタン屋根の塗装作業を行っ			
	10		ていたところ、何らかの原因で高さ約3mの屋根から隣家の駐車場（アス	415	1	1～ 9
	11		ファルト舗装）に転落し、脳挫傷により死亡した。なお、本件住宅の周囲			
			及び屋根上に足場、手すり、親綱等は設けられておらず、被災者は保護			
			帽、安全帯を着用していなかった。			
2012	7	8	木造家屋屋根瓦補修工事のため、被災者がバケツを持ち屋根に登ったとこ	415	1	1～ 9
	～		ろ、バランスを崩して屋根（高さ約4m）から墜落した。			
	9					
2012	8	～	住宅の改修工事において、テラスの天井に張ってある鉄線入りガラスが作			
	11		業中に割れてしまったため、そのガラスを交換し、コーキング作業を2名で	371	1	10 ～
	8		行うことになった。1名がそのガラスの上に敷いてあるコンパネの上に登			
	12		り、被災者はその補助者として約2mの脚立の3～4段目を登っている時に後			29
			ろに倒れ、背中から落ちて、後頭部を床のコンクリートに強打した。			
		10				

2012	2	～ 11	木造納屋新築工事において、被災者は高さ約6mの位置にある雲筋交いの取付作業を行っていたところ、墜落して地上に激突した。	415	1	1～ 9
2012	12	～ 19	工事現場での仕事を終え、被災者ら複数名が軽ワゴン車に乗車し帰宅途中、県道の橋上において、路面が凍結していたためスリップし対向車線にはみ出し、横向きになったところに対向車線を走行してきた軽ワゴン車と衝突した。後部座席の左側に乗車していた被災者が胸を強く打ち、外傷性胸部大動脈破裂で死亡した。	231	17	1～ 9
2012	3	～ 6	5 業務が激増し、著しい疲労をもたらす過重な業務に従事していた被災者は、通勤途上、自宅玄関前で倒れているところを発見された。	921	90	10 ～ 29
2012	1	～ 12	11 家屋解体工事現場において、バケットをグラップルに変えた油圧ショベルを移動させるため、高さ約3mのがれきの山（角度約20度）を走行しながら旋回していたところ、約4m走行したところで転倒し、付近で他作業をしていた被災者の頭部にアーム部分が激突した。	149	6	1～ 9
2012	3	～ 16	15 木造平屋の屋根葺き替え工事において、既存の瓦を撤去し、野地板にアスファルトルーフィングを敷いている作業中に屋根の端から約4m下の道路に墜落した。なお、足場等の墜落防止措置はなく、災害発生日は強風警報が発令されていた。	415	1	1～ 9
2012	11	～ 12	11 木造家屋新築工事現場において、建て方作業中に高さ約4mの梁から墜落した。	415	1	1～ 9
2012	7	～ 19	18 被災者は木造家屋建築工事現場で、家屋の基礎の型枠材の加工・組立て作業に従事していた。被災者が休憩中にふらついていたため、現場内で休ませていたが、その後、被災者の呂律が回らなくなり、痙攣し始めたため、救急搬送したが、翌日死亡した。	715	11	1～ 9
2012	7	～	13 家屋の新築工事現場において、2階部分の床板を張っていたところ、誤って高さ約4mの開口部から土間床に墜落した。	414	1	1～ 9

		14				
2012	12	9 ～ 10	倉庫の屋根補修作業において、屋根の葺替えを行うため、複数の労働者で損傷部分を仮固定していた防水材をはがす作業を行っていたところ、そのうち1人が高さ約5mの軒先から墜落した。	415	1	1～ 9
2012	3	14 ～ 15	被災者は、プレハブ小屋の移設作業中、積載型小型トラッククレーンの荷台に積載した同小屋の屋根に上り、四隅に縛りつけられていた繊維ロープをフックに玉掛けしてその場に留まり、クレーン運転者が荷台より数十cm吊り上げたところロープが破断し、トラックの荷台上に落下したはずみで、被災者が約4m下の地上に墜落した。なお、被災者は、玉掛けの資格を有していなかった。	372	1	10 ～ 29
2012	5	9 ～ 10	被災者は木造平屋の屋根の建て込み作業中、高さ約5mの梁の上に足を乗せ、母屋材を梁に釘止めしていたところバランスを崩し、左側面からコンクリート床に墜落、心臓破裂により死亡した。	418	1	1～ 9
2012	5	15 ～ 16	個人住宅の新築工事において、被災者は2階部分の仮筋交いの取付け準備のため、道具を取りに2階の梁の上を歩行中、梁に渡されたコンパネで作った型枠材に乗ったところ、同コンパネの一部が抜け落ち、約4m下の土間コンクリートに墜落し、後頭部を強打し死亡した。	415	1	1～ 9
2011	8	12 ～ 13	2階建て木造家屋新築工事の2階において、被災者は、断熱材の入った段ボール（8.5kg）を運搬していたところ、高さ3.5mの玄関吹き抜け部の作業床（通路）の端から、足を踏み外し、バランスを崩して転落し、脳挫傷により死亡したものの。	416	1	1～ 9
2011	6	15 ～ 16	民家屋根及び外壁塗装工事現場において、被災者が単独で塗装作業又は移動中に、単管足場上又は昇降用の脚立からコンクリート地面に墜落し被災したものと推定される。なお、災害発生時の目撃者がいないため、詳細は不明である。	371	1	1～ 9
		8	被災者ら2名は災害当日の朝、事務所に集合し、会社の車両である1.5tトラックを同僚が運転して、現場に向かった。高速自動車道を走行し、前方を走行する15tトレーラーを追越そうと追越し車線に入った。15			30

2011	6	6 ~ 7	tトレーラーの100m後方で、タイヤが滑り走行車線に入り、ハンドルを右に切ったが間に合わず、15tトレーラー後方に追突した。助手席に同乗していた被災者が死亡した。	221	17	~ 49
2011	7	14 ~ 15	代表者が出先より会社に戻ってきた際に、被災者が使用していたトラックがエンジンがかかったままで止まっていたが、被災者の姿が見えないので携帯に電話をしたが出なかった。被災者を探していると、事務所から約8メートル離れた資材置場に積み上げられていた角材がトラックに倒れ掛かっており、その下で被災者が「切削作業用のウマ」の上面にアゴを載せて座り込み意識を喪失していた。救急搬送されたが、同日死亡した。	522	1	1~ 9
2011	6	10 ~ 11	木造家屋新築工事において2階床で作業中、開口部から誤って3メートル下の1階床に転落した。	414	1	1~ 9
2011	8	8 ~ 7	木造住宅の新築工事中に現場において、建物2階で筋交いの取り付け作業を行っていたところ、階段設置予定箇所の開口部から328cm下のコンクリートの基礎に墜落した。筋交いは前日の作業で所定の長さに切った上で各所に借り置きしてあった。	414	1	1~ 9
2011	6	14 ~ 15	木造2階建住宅増改築工事において、被災者が1階屋根の改修を行うために、垂木を設置した後、軒先から野地板（長さ：3m10cm、幅：11.6cm、厚さ：1.6cm）を設置しようとしたところ、高さが3m33cmある垂木の軒先から道路上に墜落した。	415	1	1~ 9
2011	5	12 ~ 13	物件手続書類作成等の業務に営業係長として従事していたが、長時間労働等により、精神障害を発症し自殺した。（平成24年1月5日業務上認定。）	921	90	1~ 9
2011	1	13 ~ 14	住宅の造成地において、被災者を含む作業員5名は、敷地内に公道に通じる道路を造るため、隣人宅の擁壁に接する埋土を掘削する作業を行っていた。ドラグショベルで1m程掘削して、土の深さを測量していたところ、擁壁が割れて、その一部（上部厚さ15cm、最大高さ1m60cm、長	711	5	1~ 9

			さ4m25cm)が倒壊して、掘削箇所に入り込んでいた被災者が、擁壁の角と土塊との間に左胸などを挟まれたもの。			
2011	6	10 ～ 11	飲食店店舗の改装工事における災害。被災者は、電気配線工事を請け負う1次下請事業場所属の労働者として入場していた。床面から3m57cmの高さにある梁の上に乗し、スピーカーに係る電気配線を接続する作業を行っていたところ、梁上から墜落し、頭部を打ち、死亡したもの。	415	1	1～ 9
2011	8	14 ～ 15	被災者は午後2時40分頃、外壁のブロック積み作業中に意識が朦朧となり、その場に倒れ、救急車で搬送された。翌日の8月13日午前2時30分に死亡した。	715	11	1～ 9
2011	9	15 ～ 16	平成23年9月8日午後4時頃、A市に所在する会社が特定元方事業者として施工する分譲住宅No.9新築工事現場において、同社より同建築工事の建前工事を含む大工工事を請け負った建築会社の労働者が、2階壁部の筋交となる部材を建屋内から取り付ける作業中、筋交の部材と共に3.5メートル下の地上に墜落被災したもの。搬送先の病院にて同15日死亡した。	418	1	1～ 9
2011	7	9 ～ 10	料亭新築工事に際し、境界壁の掘方をしているとき、被災者の気分が悪くなったため、被災者に休憩を取らせていたが、状態が悪くなったため、11時頃、同事業場所属の者が被災者を病院へ連れていった。病院では熱中症と診断され、医療処置の結果被災者は一時回復したが、1時間後被災者の容態が急変し死亡したもの。	715	11	1～ 9
2011	6	8 ～ 9	被災者は、天窓の位置決めをするために1階建屋の屋根上のもやの上を移動していた。野地板が張ってある箇所に足を置いたところ、2階の大屋根の垂木に頭を激突し、その反動で後方にたおれ、開口部から4.5メートル下のコンクリート基礎に墜落したもの。被災者は、現場監督であり、木建作業主任者の資格を有していた。	415	1	1～ 9
		10	住宅減改築工事現場で、被災者が8時30分から1階の玄関前で解体作業の準備等を始め、9時から10時までの間、施主の兄と二人で同作業を行っていた。施主の兄が10時に一旦現場を離れた後、被災者は一人で作			10

2011	10	10 ～ 11	業を続け、施主の兄が11時頃に同現場に戻ってきた際、被災者が躯体東側の通路で血を流して倒れているのを発見した。その後、被災者は平成23年10月13日（木）に死亡した。	415	1	～ 29
2011	10	21 ～ 22	被災労働者は、高速自動車道上り線を走行中、村内の218.7キロメートルポスト付近で単独事故を起こし、走行車線上に停車していたところに、後方から走行してきたトラックに衝突され、脳挫傷および全身打撲の重傷を負った。その後、搬送先医療機関で治療を施したが、同年10月31日18時03分に死亡した。	221	17	～ 29
2011	9	9 ～ 10	市道上において、住宅販売の営業職である被災者が市道脇に乗用車を止め、電柱に住宅展示会の案内板を掲示する作業を行っていたところ、後方から走行してきた乗用車が、停車中の被災者の乗用車に追突し、その弾みで被災者が自らの車両と電柱の間に挟まれたもの。	231	17	1～ 9
2011	8	14 ～ 15	自社の工場において、神社建築の基礎部分を仮組みするために脚立作業を行っていたところ、墜落したもの。	371	1	1～ 9
2011	11	13 ～ 14	外壁張替工事で、高さ1.7メートルの足場上から墜落し、頭や肩を強打する。災害発生から12日後に死亡したもの。	416	1	1～ 9
2011	7	11 ～ 12	住宅リフォーム工事において屋根の破風板を取り替える作業中、ブラケット一側足場の3層目から地上に通ずる昇降階段を降りていたところ、昇降階段の手すりの下から（中さんなし）、約5メートル下の地上に墜落し、死亡した。被災者は、墜落防止用ヘルメットを着用していたが墜落の際に脱げ、地上にあったコンクリートブロックに頭部を打ち付けたもの。	413	1	1～ 9
2011	11	15 ～ 16	工場屋根の瓦葺き替え作業中、約6.3m下のコンクリート上に墜落した。	415	1	1～ 9
		9	木造2階建て新築工事現場の建方作業中、2階梁上にてかがんで金具の締			

2011	5	～ 10	め付け作業を行っていたところ、1階の基礎スラブ（コンクリート床）へ墜落（高さ3.43m）し、頭部および胸部を強打し負傷したものの。救急車で小田原市立病院へ搬送し入院したが、2日後死亡したもの。	415	1	1～ 9
2011	7	～ 18	木造2階建住宅の解体工事を行っていた。被災者は1階屋根上（高さ3.75m）に乗り、防水シートを下に投げ降ろしていた。その作業中、バランスを崩し、地面（コンクリート）上に墜落した。被災者は、安全帯、安全帽を使用していなかった。	415	1	1～ 9
2011	4	～ 16	市内の事業場から3名でトラックに同乗し、建設現場に向かう途中、高速自動車道上のカーブで中央分離帯に激突した後、弾みで反対側のコンクリート壁に激突し、脳挫傷により死亡したもの。（同乗していた他の2名も負傷した。休業60日、休業10日）	221	17	1～ 9
2011	7	～ 10	木造3階建ての新築工事現場で上部の外壁（3階屋根と2階屋根の間の外壁）に防水シートを貼るために、2階ベランダに置いていた防水シートを持って外部足場（一側足場・床幅24cm）を通り、そして足場に設けた昇降梯子に移動する際、または昇っている時に墜落したものと思われる。被災者は搬送先の病院で8月10日に死亡した。昇降梯子は足場の外側に設置していた。	413	1	1～ 9
2011	10	～ 9	民家の改修工事現場で、会社の代表者が単管抱き足場の3段目（約6.2m）において、屋根の破風板のコーキング材の汚れを取り除くためカッターナイフが必要となり、地上で作業していた被災者に上までカッターナイフを持ってくるように指示した。被災者は足場2段目（約4.5m）まで登り代表者にカッターナイフを手渡したあと、地上に降りようと移動中に墜落した。	411	1	1～ 9
2011	11	～ 11	木造2階建て共同住宅の2階共用外部通路の屋根板の交換作業を外部通路上に組んだ脚立足場（高さ1.2m）上で行っていたが、当該足場から下りるため外部通路に設けられている手すり（高さ0.8m）の上に足をかけたところ、足を滑らせ外部通路から約0.25m下の1階通路の屋根上に転落、さらに、当該屋根上に止まることなく屋根の端から2.67m下	411	1	1～ 9

			の地上に落下し、頸椎損傷により11月16日10時34分に死亡した。			
2011	5	8 ～ 9	2階建ての民家の外装塗装工事において、被災者が2階屋根の雨樋を塗装する業務を1階屋根の上（約4メートル）で行っていたところ、何らかの理由で足を滑らせ滑り落ち、そのまま門扉から玄関に通じるコンクリート舗装された階段上に墜落した。	415	1	1～ 9
2011	4	13 ～ 14	戸建の新築工事現場内において、当現場の一次下請の被災労働者が、外部足場の高さ約5.5m（墜落した躯体1階床面からは約4.6m）の足場板上で、躯体の2階部分の耐力壁として合板を設置する作業を行っていたところ、別の作業員から合板（大きさ：約280cm×90cm、厚さ：0.9cm、重さ約15kg）を受け取った直後、躯体と足場板の開口部から躯体内部の1階床面上に転落し、5日後に死亡したものである。	411	1	1～ 9
2011	12	15 ～ 16	木造住宅新築工事現場において、被災者は1階の梁の上（高さ4.3メートル）で、すみ木の取り付け作業を行っていた。15時50分頃に材木が落ちる音がしたので同僚が見に行ったところ、被災者が右側頭部から血を流しながら、1階の床に倒れていた。	415	1	1～ 9
2011	2	15 ～ 16	本件は、発電所の屋外に設置されたテルハクレーンに付属するクラブハウスの屋根の雨漏りを修繕する工事における災害である。被災者が、そのクラブハウスの屋根上で、単管パイプとクランプによって工事のための仮設の雪除けを作っている途中、屋根から約16m下の川に墜落した。	415	1	300 ～
2011	3	11 ～ 12	震災で破損した瓦屋根の修復作業中、屋根の軒先から約4メートル下に墜落したものの。頸椎損傷・意識不明の状態でも病院内に搬送され、治療を受けていたが、3日後に死亡したものの。	415	1	300 ～
2011	7	8 ～ 7	被災者は、市の仮設工事現場に向かうため、ワゴン車を運転していたが、対向車線を走行していた乗用車が、前を走っていた大型トラックを追い越すために走行車線にはみ出してきたため、これを避けようとハンドルを右に切ったところ、大型トラックと正面衝突した。ワゴン車に同乗していた事業主は即死。被災者も8/13に死亡した。	231	17	1～ 9
			木造家屋建築で軸組作業中、梁の上を移動していて足を滑らせ約4mの高			

2011	11	8 ～ 9	さから墜落し、床組材（大引き）に腹部を強打して入院加療中であったが、容体が急変し45日後に死亡したものの。現場には親綱が設置され、被災者は安全帯を携帯していたものの、これを親綱に取り付けていなかったもの。	415	1	1～ 9
2011	6	15 ～ 16	地震により被災したお寺の屋根瓦の葺き替え作業をしていたが、雨が降ってきたため片付けをしていたところ、足場の手すりと作業床の間から約5m下へ転落した。安全帯は使用していなかった。	411	1	1～ 9
2011	8	11 ～ 12	現場敷地西側に置いてあった畳を片付けるため、畳の上にあったバケツをグラップル仕様の油圧ショベルで、約2メートルの高さで把持、反時計回りに180度旋回し敷地東側に移動させようとした。約40度旋回したところで、バケツが落下し、下方で他作業をしていた被災者背部に激突したものの。なお、当該ショベルのアームは、高さ1.89メートルの塀を跨いでおり、塀の外にいた被災者は、オペからは死角にあったもの。	149	4	10 ～ 29
2011	10	14 ～ 15	屋根瓦の葺き替え工事において、被災者が屋根上で瓦を配置していたところ、屋根の端で、足を踏み外し、4m22cm下方のアスファルト床面に墜落、同日、死亡したものの。	415	1	1～ 9
2011	2	14 ～ 15	被災者は災害発生当日10時頃から約30分程度、屋内塗装作業場において建築用木材のニス（水性）塗りを、はけ及びエンジン式エアークンプレッサーに接続したスプレーを用いて行った。同日15時頃、作業場近くの水性塗料倉庫内で、被災者が心肺停止状態で倒れているのを発見し、救急搬送したが、15時59分肺水腫による死亡が確認された。	111	12	1～ 9
2010	12	16 ～ 17	被災者は、屋根上で作業をしていたが、昇降用移動梯子付近の地面に倒れているところを同僚に発見された。目撃者がおらず、屋根から墜落したと推定される。	371	1	1～ 9
2010	12	15 ～	事業場の作業場において、枠組壁（ツーバイフォー）工法の壁用構造材（幅約4.1m、高さ2.45m、厚さ10cm）を組立て、運搬のために鋼製パレットに立てて10枚載せ、労働者3人で当該構造材を押して屋外へ移動させようとしたところ、倒壊防止措置が不十分であったため当該	522	5	1～

		16	構造材が手前に倒れそうになり、労働者3人は退避した。3枚の構造材が倒れた後、倒れた構造材の上に被災者が乗ったところ、さらに5枚の構造材が倒れ、下敷きとなった。			9
2010	11	13 ~ 14	木造2階建て新築工事現場で、2階の内壁材（耐火材）貼り作業のため、2階へ上がり貼付け準備を行っていた。2階床の根太材（長さ1.75m、幅4.5cm、高さ6cm）に足を乗せたところ、根太が割れて踏み抜き、高さ3.57mから墜落し、1階のコンクリート土間に激突して頭部を打ち、10日後に死亡した。	415	9	1~ 9
2010	11	16 ~ 17	山門の新築工事現場において、屋根上で釘打ち機を使用して、野地板取り付け作業を行っていたところ、3.5m下へ墜落し、2日後に死亡したものの。	415	1	1~ 9
2010	10	11 ~ 12	作業員5名で一般家屋の瓦葺き替え作業中、雨が降ってきたことから、屋根（勾配約30度）にビニールシートを張る作業をしていたところ、足を滑らせて、屋根上を滑り落ち、高さ約4.2mの屋根軒先から地上に墜落したものの。足場や手すり、親綱等の設備がなかった。	415	1	1~ 9
2010	10	11 ~ 12	木造2階建て新築工事現場において、2階の梁部分の組立作業中、外部足場の3段目の足場板（地上から3.6m）から、その上にある4段目の足場板（地上から4.56m）の位置に乗り移るべく移動の際に、バランスを崩して1階のコンクリート土間に墜落し死亡した。	411	1	1~ 9
2010	10	8 ~ 9	被災者を含む2名で屋根の仕上げ塗装の準備を行うこととなり、被災者は屋根にはしごを掛けて昇り、屋根の塗装面についた朝露等をウエスでふき取り作業を行っていたところ、軒高6.7mの箇所よりコンクリート地面に墜落した。安全帯などの防護措置が取られていなかった。	415	1	1~ 9
2010	10	11 ~ 12	個人住宅の新築工事において、棟上げ後に4名の大工で2階の床板を貼っていたところ、次に貼る床板とともに約3.1m下のコンクリート土間に墜落した。事故後から意識不明であり、9日後に死亡した。なお、他の3名は各々2階で床板貼りをしており、墜落時の状況を目撃していない。	415	1	1~ 9

2010	10	11 ～ 12	屋根葺き替え作業工事現場においてトタン屋根葺き替え作業中、屋根上（地上から高さ2.7m）を移動している時に高さ1.8mの用水へ転落した。	415	1	1～ 9
2010	9	11 ～ 12	戸建て住宅新築工事現場において、被災者が建屋2階桁上で建材の仕分け作業をしていたところバランスを崩し、1階の土間に墜落したもの。作業床を設置せず、かつ、防網や安全帯を使用していなかった。	415	1	1～ 9
2010	9	8 ～ 9	木造家屋新築（一部2階建）工事現場で、被災者が玄関上部の梁間に床補強の為のたる木（幅4.5cm、高さ6cm、長さ1.29m）を取付けるため、1階梁上で作業していたところ、3.18m下のコンクリート床に転落した。防網の設置や安全帯を使用等の措置を講じていなかった。	415	1	1～ 9
2010	8	11 ～ 12	被災者は、木造2階建て民家のリフォーム工事のため、天井の張り替え工事を1人で行っていた。午後になり左官作業員が現場に戻ってきたところ作業が進んでいる様子がなかったため、被災者が作業をしていた屋根裏を覗いたところ、動きも応答もなかったため救急車を呼んだが死亡した。外気温は約33℃であり、作業場所の屋根裏はそれ以上の気温であったため、熱中症になったとみられる。	715	11	1～ 9
2010	7	17 ～ 18	瓦葺き替え工事のため、2階建て家屋の屋根上において下地板の釘打ちをしていたところ、高さ約8.27mの軒先からコンクリート地面に墜落した。囲い、手すり及び親綱等の墜落防止措置が講じられていなかった。また、被災者は保護帽を着用していなかった。	415	1	1～ 9
2010	7	9 ～ 10	一般住宅の屋根トタン板張替え作業を行うに際し、被災者は、1階屋根の庇（高さ3.55m）に立て掛けた移動はしごを用い、ロール状の防水シート（長さ103cm、直径17.5cm、重量23kg）を屋根上に運搬していたところ、当該はしご上からバランスを崩してコンクリート地面に転落し頭を打った。その後、搬送先の病院で死亡が確認された。なお、災害発生直前における被災者の作業状況等を見ていた者はいなかった。	371	1	1～ 9
			倉庫内の棚から必要な板（幅91cm、高さ182cm）を取り出す作業			

2010	7	15 ～ 16	を行う際、その前に立てかけてあった同サイズのコンパネ等合計9枚（以下「材」）が邪魔になったため、被災者が立てた状態で支え、同僚作業者が材の奥に位置する棚から必要な板を取り出そうとしたところ、被災者が材を傾け過ぎて支えきれなくなり、被災者方向に倒れて転倒し、右足を材とコンクリート床面との間に挟まれ、頭部を床面に打ちつけ死亡した。	418	2	1～ 9
2010	7	9 ～ 10	木造3階建ての新築住宅建築工事において、一側足場上で屋根に雨樋をとりつける作業中、建物の反対側で同様の作業を行っていた労働者が大きな音に気がついて見に行ったところ、被災者が墜落して地面に倒れており、病院に運ばれたがまもなく死亡した。足場3層目から約6m下の地面まで墜落し、頭部を地面にあったブロックにぶつけたとみられる。	411	1	1～ 9
2010	5	16 ～ 17	木造家屋解体工事現場において、単管とクランプで飛散防止養生枠を組立て作業中、2層目にいた被災者は、単管を持ったままバランスを崩し、直下のコンクリート土間へ約4m墜落し、頭部を負傷した。その後被災者は10日後に、収容先の病院で死亡した。作業床を設けておらず、安全帯を使用していなかった。	419	1	10 ～ 29
2010	5	11 ～ 12	民間住宅の土蔵の屋根瓦葺替え工事において、隣地で繁茂する銀杏の木（高さ約22m、胸高直径144cm）の枝が屋根にかかっていたため、被災者は、高さ5.6mの木の上でチェーンソーを使用して枝を伐採する作業を行っていたところ、安全帯を取り付けていた枝ごと伐採してしまい、枝もろともアスファルト道路上に墜落し、頭部を強打して死亡した。被災者は伐木作業特別教育を修了していなかった。	712	1	30 ～ 49
2010	4	18 ～ 19	一戸建住宅の改装工事において、増築部分の仮壁としてベニヤ板を張り付ける作業を脚立の下から3段目（高さ約85cm）に登って作業中、足を滑らせて転落し、足元にあった庭石で頭部を打った。保護帽は着用していなかった。設置場所は傾いており、小雨が降っていた。	371	1	1～ 9
2010	4	15 ～	民家の解体工事において、近隣への飛散防止のための養生シートを設置するにあたり、養生シート設置用の骨組みを丸太足場の部材で作成し組み立てていたところ、約4m下の地上に墜落したもの。骨組みの壁つなぎを民	419	1	1～

		16	家に固定する時、当該壁つなぎに足をかけた際に壁つなぎが破損したとみられる。			9
2010	3	18 ～ 19	被災者は、一般住宅の改修工事現場での当日の作業が終了し、会社所有の軽トラックを運転して広域農道を使い現場から会社へと戻る途中、右カーブで道路左側の橋の欄干に衝突し死亡した。	221	17	1～ 9
2010	3	13 ～ 14	貸倉庫の現状回復工事現場において、被災者は高所作業車に乗り倉庫に設置してあるエアコンのダクト撤去するため当該ダクトをガス溶断（アセチレン）作業中、溶断中の火花が倉庫に吹き付けてあった発泡ウレタンに引火し、木造2階建ての事務所と鉄骨平屋建ての倉庫約1600平方mを全焼した。焼け跡から被災者が発見されたもの。	331	16	1～ 9
2010	2	16 ～ 17	倉庫（鉄骨造平屋建）の屋根の解体作業中、解体しようとしていた屋根（木毛板）を踏み抜き、約4m下のコンクリートの床に墜落した。被災直後は意識があり手足も動いたが起き上がれず、救急車等で病院に搬送され治療を受けていたが、3日後に死亡した。	415	1	1～ 9
2010	2	16 ～ 17	高さ約3mの足場2段にしゃがみ、防水シートロールを垂らす作業を行っていたところ、バランスを崩し、アスファルトの道路上に墜落した。中さん等の設置、安全帯の使用等墜落防止措置を講じていなかった。	411	1	1～ 9
2010	2	13 ～ 14	合板22枚（合板1枚の大きさは縦91cm、横182cm、厚さ1.2cm、重量12.5kg、計275kg）を移動式クレーン（つり上げ荷重4.9t）を用いてつり上げて荷を移動中にバランスが崩れて玉掛けロープから合板が滑り落下し、その一部が近くでつり荷の誘導を無線で行っていた被災者に当たったもの。つり荷の合板22枚は結束せず2本の繊維ロープ（それぞれ長さ3.9m、幅4cm）を用いて玉掛けを行ったもの。	372	4	10 ～ 29
2010	1	17 ～	事業所（自宅兼用）の敷地内において、被災会社の代表者と被災労働者の2名にて、ドラグショベル（機体重量1.2t）を用いて鉄板（92cm×183cm、厚さ1cm）の吊り込み作業（用途外使用）をしていたと	142	7	1～

		18	ころ、代表者が運転するドラグショベルの作業半径内に被災者が入った際、バケット爪の先端とアーム部分に被災者の頭部がはさまれた。12日後に死亡した。				9
2010	1	11 ～ 12	2階建てのアパートの解体工事において、屋根のスレートをはがす作業中、2階屋根より墜落したもの。本来足場は設置できたが、親綱で対応していた。被災者は、保護帽及び安全帯を着用していたが、安全帯は使用していなかった。	415	1		10 ～ 29
2010	1	13 ～ 14	2階建て個人住宅新築工事現場において、大工ら6名で建前作業中、他の大工が並べた構造用合板の2階床板をはめ込む作業をしていた時、固定されていない床板に足を乗せたところ、当該床板が外れて床板とともに、高さ3.27m下の1階コンクリート基礎部へ墜落した。	418	1		1～ 9
2010	1	13 ～ 14	アパート新築工事現場において、同僚が4tダンプトラックを後進させたところ、トラックの荷台の後部とガスタンク置場のブロック塀との間に腹部を挟まれたもの。目撃者がいないので、災害時に被災者がどのような作業を行っていたかは不明であるが、災害の直前までは、ガスタンク置場のフェンスの設置作業を行っていた。	221	7		10 ～ 29
2010	1	16 ～ 17	木造一戸建新築住宅（建売）の工事現場において、脚立に上に乗り玄関底外側の下地板の貼り付け作業中、バランスを崩し高さ1.1mの脚立の天板から後ろ向きに転落したもの。	371	1		1～ 9
2010	1	13 ～ 14	家屋の改修工事中、玄関のタイル貼り作業に必要なモルタルを練る作業に伴って道路の端を移動していたところ、走行してきた乗用車（買い物をして帰宅途中）が道路上の電柱に激突するとともに被災者にも激突した。被災者と運転者の両名が死亡した。	231	17		1～ 9
2010	1	8 ～ 9	木造家屋の建て前初日、移動式クレーン（つり上げ荷重16t）で2階の床材合板約30枚（大きさ＝畳大。約600kg）を重ね、ナイロンスリング（目通し1本づり）を2本で玉掛けしてつり上げ、2階部分に降ろそうとしたが、先行で組立てていた足場の建地に引っ掛かり、スリングが緩んだ。そのためばらばらと落下した床材が、下で別作業をしていた被災者	372	4		1～ 9

			に次々と激突し死亡した。			
2009	8	16 ～ 17	個人住宅建設現場で足場の解体作業中、同僚に「気分が悪いから休憩する」と言って座って休憩していたところ、しばらくして倒れたので同僚2人で体を冷やすなどの応急措置をして救急車で病院に搬送し治療を行ったが、後日死亡した。	715	11	1～ 9
2009	1	12 ～ 13	木造平屋建て家屋の新築工事における棟上げ作業中、梁の上に載せている足場板（高さ約3.6m）からコンクリート基礎に墜落した。	416	1	1～ 9
2009	10	11 ～ 12	倉庫解体及びプレハブ物置移設工事現場において、倉庫内にあるプレハブ物置を移設するため、被災者は、当該物置の中にあった品物を出し、脚立に乗って当該物置の上にあったダンボール箱（中に木材等が入っている）を取ろうとしたとき、脚立から転落した。	371	1	1～ 9
2009	4	16 ～ 17	軒高約7mの木造2階建家屋建築工事現場において、被災者は梁の上で屋根の垂木を取り付ける準備作業を行っていたところ、高さ7.1mから下の地上に墜落した。	415	1	1～ 9
2009	3	10 ～ 11	木造建築の改築工事に付随しブロック塀を施工する工事で、コンクリートブロックを積む作業を塀の外側で行っていたところ、幅72cmの敷地の端から、高さ2.2m下のコンクリート舗装された別の敷地に墜落し死亡した。	711	1	1～ 9
2009	3	11 ～ 12	木造2階建住宅の新築工事現場において、移動式クレーンを用いて、2階軒桁上で梁を設置する作業を行っていた被災者がバランスを崩し高さ約6.9mから墜落した。	415	1	1～ 9
2009	6	7 ～ 8	トラックに3人の作業者が同乗し、会社から建築現場に向かって高速道路を走行していたところ、大型トラックが割り込んできたため自車のアクセルを緩めた際、自車がスリップしてコントロール不能となり、中央分離帯に激突後、左側ガードレールを突き破り5m下に転落した。助手席に乗っていた作業者が死亡し、運転者と他の同乗者が負傷した。	221	17	1～ 9
			事業者資材置き場で、当日の工事に使用する住宅基礎用の加工済み鉄筋			

2009	9	6 ~ 7	(長さ5m程度のもの8本、総重量259kg)をトラックに積み込むため、斜面上端に止めたドラグ・ショベル(機体重量2.9t、平積みバケット容量0.1立方m)でつり上げ、斜面方向へ旋回したところ、クローラが浮いて傾き、そのまま斜面を転落した。被災者(運転者)は脱出を図ったが、機体の下敷きとなった。	142	1	1~ 9
2009	8	14 ~ 15	木造2階建て、倉庫兼住宅増築工事現場において、被災者と事業主2人で、朝から屋根仕舞作業を行っていた。被災者の調子が悪そうに感じた事業主は、早めに休憩をとり、約15分後に作業再開したが、被災者の手が震えていたので、作業を止めて休憩所脇に座らせた。しかし、ぐったりしてきたため病院に救急搬送し、治療を行ったが、後日死亡した。	715	11	1~ 9
2009	4	14 ~ 15	住宅新築工事現場において、積載形トラッククレーン(2.02tつり)で運んできた荷(木製コンパネ27枚他を束ねて一つにしたもの、重量計約600kg)を玉掛けし、現場に降ろそうとした時、当該クレーンが横のブロック壁に寄りかかるように倒れ、運転していた被災者がその間にはさまれた。なお、倒れた側のアウトリガーは折れていた。	212	6	10 ~ 29
2009	6	13 ~ 14	木造平屋の倉庫兼トイレを建築するため、被災者は梁、桁に登り、小屋つか、母屋の取り付け作業を始めた。小屋つかを取りに行くため桁(幅21cm)を歩行中、バランスを崩し、約3.5m下のコンクリート土場に墜落した。	415	1	1~ 9
2009	11	17 ~ 18	木造家屋建築工事において、躯体組立作業および後片付け作業が終了し、3層目足場上から約1m下の躯体2階床面へ飛び移った際、2階床面に敷かれていた合板が割れたため、約3m下のコンクリート土間へ墜落した。	416	1	1~ 9
2009	6	13 ~ 14	鉄骨・木造家屋建築工事において、軒裏の下地取り付け作業中、高さ約8mの仮設足場上(くさび緊結式足場)から墜落した。墜落時に作業していた足場には、高さ95cmの手すりが設置されていたが、中さんは設置されていなかった。	411	1	1~ 9
2009	2	10 ~	木造建築物の解体工事現場において2階外壁撤去作業中、軒桁が壁つなぎの上に落ちていたため、被災者は軒桁を撤去しようと高さ約3mの位置にある	418	1	30 ~

		11	庇の辺りから軒桁にワイヤロープを掛けようとしたところ墜落した。			49
2009	2	11 ～ 12	当該建設工事現場にて、屋根の下地材（正三角形の板）を張るため、はしごを使用し屋根へ昇る途中、何らかの原因で転落した。	371	1	1～ 9
2009	10	13 ～ 14	台風の影響により50枚程の瓦が破損した1階建木造建築物の修繕を同僚と2人で実施（母屋の瓦全面葺き替えのため、母屋の損傷していない瓦を底部に差し替える作業）した。午前中からの作業を午後も継続し作業を再開した。同僚が1階屋根上で瓦の手直し作業をし、被災者は1階屋根底部で瓦差し替え作業をしていた際、「ドーン」と音がしたため同僚が被災者の方を見たところ、被災者が3.187m下の地面に墜落していた。	415	1	1～ 9
2009	5	9 ～ 10	被災者は棚部材12本を天井クレーンを用いて倉庫2階に上げる作業を行っていた。当該棚部材は、H鋼と角材で構成されており、1本の重さは推定120kg、4本1セットで玉掛けをし、3回に分けて倉庫2階に上げていた。被災者は、最後の1セットを倉庫2階に上げ、荷はずしを行ったところ、当該部材が倒壊し、棚部材2本の下敷きになった。	211	5	10 ～ 29
2009	12	13 ～ 14	災害発生時、被災者はブラケット足場上にてベニヤ板を外壁柱に釘打ち機で取り付ける作業を行っていた。トラックの横付け作業を行っていた瓦屋が、「ドスン」という音を聞き、振り向いたところ地面で頭から血を流して倒れている被災者を発見した。被災者は病院に搬送されたが、同日死亡した。	411	1	10 ～ 29
2009	1	10 ～ 11	個人住宅新築工事現場において、現場に電線を引き込むため仮設の電柱を設置する作業中、被災者が車（ワンボックス）屋根上から仮設電柱（長さ5m、伸縮型、鉄製30kg）を降ろそうと、車の踏み台に足をかけたところ、足を踏み外し転倒、その際、車の屋根部分から落下してきた仮設電柱に激突された。	419	4	1～ 9
2009	7	14 ～	木造住宅の建方作業中に屋根の垂木が落ちたため、被災者が2階の床部分の足場板に乗って、屋根で作業中の作業者に垂木を渡した。その後、被災者は1階に戻ろうと2階を移動中に、2階の床部分に置いてあった足場板（幅	416	1	1～

		15	24cm×2枚) から1階床のコンクリート基礎部分に墜落した。被災者は設計担当の現場管理者であり、通常の建方作業には従事していなかった。			9
2009	12	13 ～ 14	木造二階建住宅新築工事現場で、二階屋根上に養生シートを取付ける作業をしていた作業者が、降り始めた雨で滑りやすくなっていた屋根面から、屋根面と仮設手すりの間をすり抜けて約6.3m下の地面に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2009	10	9 ～ 10	個人住宅のリフォーム工事（外壁工事及び基礎上げ）を作業員3人で行っていた。建物側壁の断熱材及び下地となる木材の設置作業を物干し台の屋根上に設置していた作業床上で作業していた際、足を踏み外し4.5m下の敷石に転落した。	416	1	1～ 9
2009	12	9 ～ 10	納屋棟瓦補修工事において、請負業者の作業員3人により棟瓦積み替え作業を行っていた。屋根の地板に引っ掛けてあった木製の滑り止めが外れ、作業員2人が屋根上で転倒し、内1人が墜落し死亡した。	415	1	1～ 9
2009	8	13 ～ 14	農舎の新築工事において、施主の意向で出入口の下屋（軒高4.1m）が追加発注となったため、被災者は同僚作業員とともに下屋の建方作業に従事し、高さ3.8mの梁上（幅12cm、梁成33cm）でもやを取り付け、次の作業に移ろうとしたところ、バランスを崩して地面（砂利敷き）に墜落した。なお、被災者は保護帽を着用していたが安全帯の装着はなかった。	415	1	1～ 9
2009	8	11 ～ 12	幼稚園園舎（木造平屋建て）の耐震補強工事における屋根工事中、屋根上で屋根下地材をディスクグラインダーで切断作業中発生した火花により、そばにあったプラスチック容器（直径20、高さ16cm）に入っていた外壁用塗料（500cc程度）に引火した。被災者は広い場所で消火しようと曲尺を容器の取っ手に引っ掛け運搬中、容器が融け被災者の衣服に塗料が飛散し着火、病院に搬送されたが、後日死亡した。	512	16	1～ 9
2009	8	13 ～ 14	被災者は、一般住宅の新築工事の基礎コンクリート打設作業にあたり、コンクリートポンプ車の運転・操作に従事していたが、当該コンクリートポンプ車車体の輸送管が閉そくしたことから、輸送管の接続部を切り離したところ、加圧された生コンクリートが被災者に飛来（噴出）し、死亡し	149	4	1～ 9

			た。			
2009	7	7 ~ 8	木造2階建て店舗の改修工事において、外部に仮設で設置した階段から2階に上がった被災者が、1階から2階へ上がる階段を撤去した後に生じた開口部（1.1m×2.5m）から、約3m下の1階に墜落した。開口部の長手方向の一方は壁で、他方は資材落下防止のために高さ90cmのベニヤ板が設置されていたが、短手方向は墜落防止措置がなかった。	414	1	10 ~ 29
2009	3	10 ~ 11	木造家屋解体現場において、重機（クラッシャー付き）付近で解体中の建物に散水作業を行っていた被災者が作業中突然倒れ、直ちに病院に搬入されたが、被災当日に死亡した。	142	7	1~ 9
2009	11	13 ~ 14	木造平屋建て新築工事現場において上棟作業中、ラフターでつり上げた野地板を高さ3.5mの梁上で荷受け作業をしていた被災者が、ベタ基礎上に墜落した。現場には作業床となる足場や先行床、墜落防止ネットの設置はなく、被災者はヘルメットおよび安全帯を着用していなかった。	415	1	1~ 9
2009	10	10 ~ 11	木造平屋建て新築工事現場において、高さ約4mの梁上で屋根下地取付作業の準備をしていた被災者が、コンクリート床に墜落した。	415	1	1~ 9
2009	10	11 ~ 12	木造家屋解体現場において、1F床の一部を重機を使用してはがし、解体をしていた。近くの養生シートが風になびいて邪魔になっていたため、被災者が単管に昇り（高さ1.8m）、これをしばり、そのそばで退避していたところ、はがした角材の一部がはねて被災者に激突した。被災者はその衝撃で隣地に墜落した。	149	4	1~ 9
2009	5	16 ~ 17	木造2階建てアパート新築工事現場において、2階屋根の幅12cmの梁上で垂木取り付け作業を行っていたところ、6.42m下の1階コンクリート土間に墜落した。	415	1	1~ 9
2009	11	9 ~ 10	被災者が建設中の護岸と掘削した地山（高さ約3.4m）の間で、護岸の型枠の解体作業を行っていたところ、地山に埋設されていた古い護岸（幅約3m、高さ約1m、厚さ約50cm）が土砂とともに倒壊し、その下敷きとなった。	418	5	10 ~ 29

2009	11	11 ～ 12	マンションの出入口の1階の底の上に倒れている被災者（マンションの管理人）を向かいのビルの会社員が発見した。被災者は11階供用部廊下の清掃前の換気のために、外開きの窓を開けた際、バランスを崩して約30m下の1階庇に墜落した。	418	1	50 ～ 99
2009	4	16 ～ 17	被災者は2階の開口部から、木片を1階のトラックの荷台に落とし入れる作業を行うため、開口部から階下をのぞいたところ、仮設の手すりが外れ、高さ3.8mから墜落した。なお、外れた手すりは同僚が仮置きしたもので、固定されていなかった。また、被災者は保護帽を着用していなかった。	414	1	1～ 9
2008	2	11 ～ 12	木造2階建て住宅の新築工事現場において、建築躯体の建方（棟上げ）作業中、当該建築躯体の2階部分の梁の上で被災者が作業を行っていた。その際、当該梁から約6.3m下のコンクリート土台上に墜落して死亡した。	415	1	1～ 9
2008	1	9 ～ 10	木造倉庫の新築工事において、屋根に登りトタンの釘打ち作業を行っていた被災者が、屋根（軒下）から約4m下の斜面に墜落した後、更に斜面を約4m転落して死亡した。	415	1	1～ 9
2008	4	15 ～ 16	木造家屋の増改築工事において、棟上に備えた準備作業を行っていた。被災者は、古い建屋の梁端部（地上高さ3.8m）に増築する建屋の柱を接続するための梁ほぞを刻む作業を行っていた。その際、枠組み足場（高さ3.55m）、又は近接して設置されたアルミハシゴのいずれかから転落した。	411	1	1～ 9
2008	2	15 ～ 16	地上からの高さ6.6mの屋根上で、自動釘打ち機を用いて野地板の釘打ち作業に従事していたところ、屋根上から滑り落ちて土間（コンクリート基礎部）に墜落、死亡した。	415	1	1～ 9
2008	6	10 ～ 11	事務所を自動車で出発してカーブを走行中にセンターラインをオーバーしてきた12tトラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
2008	12	14 ～	住宅の屋根工事で、被災者が屋根に雪留め金具を取り付けていたところ、足を滑らせて約3m下に転落した。	415	1	1～ 9

		15			
2008	11	13 ~ 14	木材加工場内で全自動プレカットマシンの修理・調整作業中、木材の送給に不具合が発生したため一旦機械を停止した。再起動後に被災者が全自動プレカットマシンの切削部屋に入ってセンサーを点検していたところ、上がっていた木材送給用の材料上押え搬入ローラーが下降してきてはさまれた。	139	7 ~ 99
2008	4	14 ~ 15	住宅補修工事において、屋根の板張り作業を行っていた作業者が、足場の高さ約3mの地点から墜落して地上側溝で身体を打ち、死亡した。	411	1 ~ 9
2008	8	9 ~ 10	木造2階建て家屋の解体工事現場において、被災者が高さ約6mの梁上で、ひさし部の解体作業を行っていたところ、当該場所から隣家の土間コンクリート上に墜落して死亡した。	415	1 ~ 9
2008	12	19 ~ 20	事業場敷地内において、2tトラックの荷台にドラグ・ショベル（機体重量520kg）を自走させて荷を積み込む際に、ドラグ・ショベルのバランスが崩れて地面に転落し、ドラグ・ショベルの運転を行っていた被災者が当該機械と地面にはさまれて死亡した。	142	1 ~ 9
2008	11	14 ~ 15	木造家屋の建方作業において、1階の作業者と2階の作業者（被災者）との間で屋根材の受け渡しをしていたところ、通路の代わりに敷いていたコンパネと共に約3.3m下の土間コンクリートへ墜落した。	415	1 ~ 9
2008	5	8 ~ 9	木造2階建の個人住宅の新築工事現場において、被災者は、2階の根太に床板を張る作業を行っていた。被災者は、床板材を取るため、2階の梁の上を移動していたところ、3.5m下の1階コンクリート床面に墜落した。作業場所には防網や親綱等がなく、被災者は、ヘルメットを着用していたが、安全帯を身につけていなかった。	414	1 ~ 9
2008	12	17 ~ 18	木造2階建の個人住宅の新築工事において、2階屋根で防水のためのビニールシート張りを行っていた作業者が2階屋根から地上へ転落した。	415	1 ~ 9

2008	11	8 ～ 9	木造住宅新築工事において、2階床（高さ3.3m）の梁の水平出し作業中に1階コンクリート土間に墜落した。	415	1	1～ 9
2008	9	15 ～ 16	住宅新築工事現場で、作業員2人が暖炉設置工事を行った後、所属事業場に帰社するために事業場所有のワンボックスカーで国道を走行中、反対車線にはみ出して対向の大型トラックと正面衝突し、運転していた被害者が死亡した。	231	17	1～ 9
2008	9	11 ～ 12	被災者は住宅新築現場において、根太の取り付け作業を行っていた。同僚が2本重ねの根太に、もう1本の根太を持ち、釘打機（圧縮空気によって釘を打ち付ける機械）を用いて釘を打ち付ける作業を行っていた。この根太が下方にずれたとほぼ同時に釘打ちを行ったため、釘打機から釘（長さ9cm）が発射されて2.1m離れた位置にいた被災者に刺さった。	169	4	1～ 9
2008	4	16 ～ 17	乾燥場の増築工事において、基礎の生コン打設時に生コン車搬入路用に使用していた鉄板4枚のうち1枚(1500mm×3000mm×20mm、約800kg)を積み下ろし中、1点つりの玉掛用具から鉄板が外れ被災者に直撃して下敷きとなった。	372	5	30 ～ 49
2008	4	10 ～ 11	屋根瓦の葺替工事において、被災者が2階の屋根瓦の下地施工作業を行っていたところ、足を滑らせて2階屋根から約6m下の地面に墜落した。なお、屋根には手すり、親綱の設置等墜落を防止するための設備はなく、保護帽も着用していなかった。	415	1	1～ 9
2008	6	17 ～ 18	店舗兼住宅の改築工事において、屋根下地材（破風板）の取り付け作業を作業員3名で行っていた際、同僚が金属の落下したような物音を聞き確認したところ、地面に倒れている被災者を発見した。被災者は、屋根下地取り付け作業後、単独作業で足場を盛り替えるため、外部足場（ブラケット側足場）の水平材を取り外す作業中に高さ3.5mの作業床から転落した。	411	1	1～ 9
2008	6	15 ～	木造住宅の解体工事現場において、掴み機（グラップル）で梁に使っていた木材（長さ4.55m、直径0.14m）をダンプカーに積み込む作業中、ダンプカーの進行方向に対して直角に仮置きした木材の向きを直すために、掴	149	1	1～

		16	み機のおペレーターが木材を回転させたところ、荷台上の廃材に乗っていた被災者がその木材に押されて木材と共に2.45m下の地面に墜落した。			9
2008	2	10 ～ 11	自社の小屋において、テーブル丸のご盤を用いた木材の切断作業を終えてテーブル下のスイッチを切ろうと屈んだところ、左手に持っていた木材（長さ85cm、幅9cm、厚さ5cm）が丸のこの歯に触れて反発して身体に激突した。	131	4	1～ 9
2008	4	14 ～ 15	木造2階建ての増築工事現場において、2階壁面部の空調排水管施工のために外部足場階段を登り、作業場所へ向かう途中で足場上でバランスを崩し、下の足場の布（高さ2m）に強打して約4m下の地上に墜落した。	411	1	1～ 9
2008	9	16 ～ 17	倉庫の屋根の張替工事において、屋根の軒先のトタン板を張る作業をしていたところ、上司が乗っていたトタン板が滑り出して被災者に当たり、上司とともに約2m下に墜落して死亡した。	415	1	1～ 9
2008	3	10 ～ 11	木造2階建て新築工事現場において、被災者は、単独ではしごを用いて2階壁面のテレビアンテナの調整作業にあたっていたところ、バランスを崩して5.8m下の地上アスファルト上に墜落した。	415	1	1～ 9
2008	2	11 ～ 12	隣家の塀（高さ2.09m）に乗って塗装前のビニール養生を行っていたところ、バランスを崩して塀と室外機との間に墜落した。	418	1	1～ 9
2008	5	11 ～ 12	3階建建築物の軽量鉄骨建方工事において、屋上に移動式クレーンで搬入された壁材の取り付け作業をしていた。その際、屋上で被災者が壁材（重量30～40kg程度）を抱えた時、つまづいて9.5m下の駐車場予定敷地に設置されていた移動式クレーンのサイドミラー部に激突後、移動式クレーンの沈下防止用に設けられていた敷き鉄板上に墜落した。	418	1	50 ～ 99
2008	10	14 ～ 15	木造2階建（在来・足場先行工法）の小屋で歪みの調整を目的として筋かいブレスを取り付けるために、小屋梁上で同ブレスの釘止め作業をしていた。小屋梁上を移動中に2階床開口部（階段部分）から5.9m下の1階床（合板）に転落し死亡した。なお墜落箇所には小屋梁・2階床開口部ともいずれ	415	1	1～ 9

			も防網は張られていなかった。			
2008	4	10 ～ 11	被災者は事業場資材倉庫の解体工事中に、バールを使用して屋根上の棧をはずす作業を行っていた。被災者は屋根上の作業場所からテント用シート製の屋根材を突き破り、約6m下の地上に墜落し、死亡した。	415	1	1～ 9
2008	12	9 ～ 10	全13棟の新築木造住宅建設現場のうちの1棟の上棟作業中、移動式クレーン（つり上げ荷重4.9t）を用いて木製コンクリートパネル材（182cm×91cm、厚さ12mm）49枚（約500kg）をつり上げた際、荷が崩れ落ちて2階で作業中の被災者にあたり、死亡した。	522	4	10 ～ 29
2008	3	15 ～ 16	厩舎新築工事現場の上棟作業中、梁を木槌で叩くために別の梁に移動したところ、足をかけた梁が抜け落ちて被災者が抜け落ちた梁と共に高さ2.96m下のコンクリート土間に転落した。	415	1	1～ 9
2008	4	8 ～ 9	住宅改築工事現場において、作業員10名で柱を交換するために油圧ジャッキ及びパイプサポートを用いて木造家屋の2階部分を持ち上げる作業をしていたところ、木造家屋が倒壊して木造家屋の下敷きになり死亡した。	418	5	1～ 9
2008	6	10 ～ 11	一般住宅の雨漏りの補修のために作業員2名で屋根に登り作業をしていたところ、被災者が屋根（高さ約6m）から墜落した。	415	1	1～ 9
2008	7	13 ～ 14	木造2階建て建物の萱葺き屋根（勾配が40度）の葺き替え作業中に同僚5名と屋根の上で休息していた際、屋根から転落し約9m下のコンクリート地面に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2008	1	9 ～ 10	ホテルに付属する立体駐車場工事において、被災者は地上から11段目（高さ約17m）となる自動車格納場所で内側から外壁用鋼板を金具で固定する作業を行っていたところ、工事用エレベーターとして使用していた自動車運搬用昇降機のカウンターウエイトが降りてきて鉄骨の胴縁との間にはさまれた。	214	7	1～ 9
2008	3	13 ～	木造2階建てのモデルハウスの新築工事の現場写真を撮るために足場を上り、小屋裏部屋の床（高7m）と外部足場の隙間（0.8m）から墜落して死亡し	418	1	1～

		14	た。墜落途中で足場の部分や角材にあたった。着用していたヘルメットは外れ落ちていた。			9
2008	8	13 ～ 14	空き地の整地作業が終了してドラグ・ショベルをトラックに積み込もうとした際、トラックの荷台に架けた道板上からドラグ・ショベルが横転してドラグ・ショベルの下敷きとなり被災した。	142	1	10 ～ 29
2008	6	9 ～ 10	貸家屋根塗装工事の2階屋根の塗装作業で2階屋根に上がるため、1階の屋根に立てかけてあったはしごを登っていたところ、バランスを崩して当該はしごから1階屋根へ転落し、止まることなく地面に墜落して死亡した。	413	1	1～ 9
2008	2	16 ～ 17	トラック及び重機用の車庫の建築作業中、ローリングタワーの作業床上（高さ3.67m）において、母屋桁用の材木を母屋桁取り付け用鋼材上に運び上げていたところ、ローリングタワーから転落した。	411	1	50 ～ 99
2008	10	13 ～ 14	店舗併用住宅移転及び修理工事現場において、1階屋根上で解体により生じたゴミの片付け作業中に雨が降ってきたため、作業を中止しようとした時に足を滑らせて約2.8m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2008	10	15 ～ 16	住宅新築工事現場において、外壁に断熱材を取り付ける作業を行っていた作業員2名が、建物内での物音に気付いて建物内へ向かったところ、1階土間上に倒れている被災者を発見した。被災者は2階床上で木材加工作業中に開口部から墜落した。	414	1	1～ 9
2008	4	8 ～ 9	木造平屋建住宅の屋根（トタン葺き）の葺き替え工事において、被災者は屋根下地に使用する防水シート（円筒状に丸めたもの、重量23kg）を肩に担ぎ、屋根の上を移動する際、高さ3.5m下のアスファルト地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2008	8	8 ～ 9	住宅の改修工事において、被災者一人で外周に設置された枠組足場の2段目上で作業を行っていたところ、躯体壁面と足場の間（約50cm）から約3.5m墜落して死亡した。	411	1	1～ 9
		13	木造アパート（2階建、4戸）新築工事現場において、2階床まで立ち上がった当該床を角材（10×10×約133cm）2本を手を持って歩行中に足を踏み			

2008	8	～ 14	外し、アパート中央部にある共用階段を設置するための開口部から約3.14m下の1階の階段基礎部のコンクリート床に墜落して死亡した。2階床の端部には全周にわたって手すり、親綱、囲い、覆い等の設置がなかった。	416	1	1～ 9
2007	11	～ 10	9 民家屋根瓦の補修工事現場にて、屋根に立てかけたはしごに乗って屋根端部の瓦補修を行っていたところ、はしごから約2.2m下の地面に墜落した。	371	1	10 ～ 29
2007	9	～ 10	9 被災者を含む5名で2階建の木造家屋新築工事を行っていたところ、瓦揚機を使用して屋根瓦を2階屋根に運ぶ作業をしていた被災者が、2階屋根から約6.5m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2007	6	～ 10	9 地上2階建て木造家屋新築工事現場において、屋内階段の内壁下地の取り付け作業を行っていた被災者が、階段の最上段（15段）付近から1段目まで、階段を約4m転落した。	413	1	1～ 9
2007	6	～ 17	16 住宅補修工事現場において、補修・点検作業を行っていた作業者が、敷地に隣接する屋外の既設コンクリート階段の最下段付近で仰向けに倒れているのを発見された。高温環境での作業であった。	715	11	10 ～ 29
2007	4	～ 15	14 木造家屋の解体工事において、解体対象物の家屋の屋根（高さ2.2m）の上で、瓦の撤去作業中、足を滑らせて地上に落下した。	415	1	1～ 9
2007	10	～ 12	11 住宅解体工事現場において、グラップルによりトタン屋根を解体する作業中、農道において監視人をしていた被災者が農道上で倒れているのが発見された。ヘルメットは側に落ちていた。	419	1	1～ 9
2007	9	～ 10	9 木造建築アパートの解体現場において、高さ6mの屋根上でアンテナを取り外していたところ、地上へ墜落した。	415	1	1～ 9
2007	4	～	9 万能昇降盤を使用し、床材の縦引き作業をしていたところ、床材が反発し被災者に激突した。	131	4	1～ 9

		10				
2007	6	15 ～ 16	平屋建木造家屋の新築工事現場において、屋根の垂木を設置し当該垂木の位置を調整していたところ、垂木上から墜落した。	415	1	1～ 9
2007	9	14 ～ 15	被災者は、木造2階建て建替工事において野地板設置作業を行っていたところ、約4m下のコンクリート基礎面に墜落した。	415	1	1～ 9
2007	4	12 ～ 13	住宅増築工事において、2階の梁に乗り、サッシ窓枠用の欄干を取り付け作業中、足を踏み間違え1階コンクリート土間に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2007	5	16 ～ 17	事務所から資材置場に出かけた被災者がなかなか戻ってこないので社長が様子を見に行ったところ、ホイールローダーに乗った被災者が以前から積み上げていた木材との間にはさまれているところを発見した。	141	3	1～ 9
2007	12	11 ～ 12	既存の建物の屋根の葺き替え作業中、墜落した。敷地が階段状になっており、一旦地面にバウンドした後、更にもう一段下の段に墜落した。	415	1	1～ 9
2007	10	11 ～ 12	住宅改修工事現場において、鉄板屋根葺き替えのため、ジグソーを用いて鉄板切り作業中、屋根のハナ先から2m50cm下のベランダに墜落した。	415	1	1～ 9
2007	1	14 ～ 15	被災者ら2名は、木造2階建て新築工事現場において、胴差、床根太がはき出しの2階床面の一部にコンパネを敷いた上で、2階内側の荒壁に用いる壁土を2階床面に上げる段取り作業を行っていた。コンパネ上に置いた泥箱に地上から土壁をホースで送り込むためのホースの設置を行っていて開口部から約3.6m下のコンクリート床に墜落した。	416	1	1～ 9
2007	7	15 ～ 16	木造家屋2階建新築工事現場において、前日に単管ブラケット先行足場の組立が終了し、当日休憩時間後、作業員3名が作業を再開したところ、「ドサッ」という音がして他の作業員が振り返ると、被災者が地上コンク	411	1	1～ 9

			リート基礎部に倒れていた。			
2007	3	18 ～ 19	既設住宅の一部をリフォームする工事現場において、被災者は、同僚の大工と2人で外部足場のメッシュシートの取外し作業を行った。その後、被災者は現場に一人が残った。施主が所用で屋外へ出たところ、足場南面中央付近の地面に被災者が倒れているのを発見した。	411	1	1～ 9
2007	2	11 ～ 12	木造2階建て新築工事現場における上棟工事の2階床張り作業中に、コンパネ板（縦91cm×横91cm×厚さ2.8cm；重さ約10kg）を敷く作業をしていたところ、吹き抜け開口部の位置より1階の土間に墜落した。	415	1	1～ 9
2007	5	8 ～ 9	被災者が他の大工、とびとあわせて3人で高さ6.07mの2階梁上でくもすじ(建築部材)を取り付けていたところ、1階土間に墜落した。ヘルメットは着用していた。	415	1	1～ 9
2007	6	11 ～ 12	木造平屋建て建築作業中、被災者が造作中に墜落した。	411	1	1～ 9
2007	11	8 ～ 9	住宅（3階建て）の屋根改修現場で、屋根の端で屋根（勾配20度）に安全金具（滑り止め）を取り付ける作業を行っていたところ、バランスを崩し軒先より足場板に一旦墜落し、その後枠組足場外側の筋交いの間から約16.8m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2007	7	8 ～ 9	木造家屋2階建の内装及び屋根の改修工事において、現場代理人と被災者は、1階屋根上に仮置きしていた寝具（マットレス）を地上に降ろす作業中、マットレスに屋根にかけたはしごの一部が引っ掛かり、さらに、そのはしごが被災者の足に掛かっていていたため、マットレスと屋根はしごとともに約3.8m下の地上に墜落した。	415	1	1～ 9
2007	6	14 ～ 15	木造2階建住宅の建築工事現場において、1階部の建方作業中、梁上（幅12cm）にしゃがみ込んだ状態で、梁と梁をつなぐ羽子板ボルトを取り付けていたところ、足を踏み外し約3.2m下の床組の大引きに墜落した。	415	1	1～ 9

2007	6	9 ～ 10	木造軸組工法による2階建建売住宅の建築工事にて、大工7人で上棟の作業中、被災者が2階天井部の梁に金物を取り付けるため、幅10.5cmの桁の上を移動していたところ、転倒して右わき腹を梁に打ち付けた。その後、被災者は自力で地上に降りて休んでいたが、現場から約50m離れたパチンコ店の駐車場で倒れているのを発見され、病院に搬送したが死亡した。	415	2	1～ 9
2007	2	11 ～ 12	被災者は、木造家屋建築工事現場において、同僚と2名で、内壁、間仕切り用の石膏ボードを2階から3階に搬入するために3階で作業中、作業のために荷揚げ口に渡した足元の板が折れて、5.85m下の1階床に墜落した。	411	1	50 ～ 99
2007	2	11 ～ 12	被災者は、木造家屋防音工事において、外壁の塗装作業が終了し、2階のブラケット足場上で窓に貼っていた養生シートをはがしているときに、シートをはがす時の反動で手すりをすり抜けて墜落した。	411	1	1～ 9
2007	4	7 ～ 8	被災者は、午後9時30分に退勤し、その後同僚と居酒屋、カラオケ店で午前5時まで過ごし、午前6時に事業場に行き、業務用車両内にて仮眠していたが、死亡しているところを発見された。	921	90	1～ 9
2007	3	15 ～ 16	3階建住宅新築工事において、被災者が2階で脚立の中段に乗ってリビン・グ・トイレ間の梁の下面に電気ドリルで電気配線用の穴明け作業中、15時頃、大きな音がして脚立とともに倒れている被災者が発見された。	139	8	1～ 9
2007	4	11 ～ 12	低層住宅の整地工事において、樹高6m、胸高直径40cmの立ち木（檜の木）をチェーンソーにより伐倒しようと受け口を切り、続いて追い口を切り始めた。立ち木が被災者側に倒れてきたため逃げようとしたが転倒し、そこに立ち木が激突した。病院に運ばれたが死亡した。	712	6	10 ～ 29
2007	7	10 ～ 11	木造家屋2階建ての解体現場において、解体用重機で建物を解体し、解体した廃材をトラックに積み込む作業を行っていた。被災者がトラックの荷台上で積み込まれた廃材の整理を行っていたところ、解体中の建物の一階部分の床の一部が解体用重機の自重で抜けたことにより重機が傾き、ト	145	6	1～ 9

			ラックの荷台上にいた被災者に重機のアームが激突した。			
2007	9	8 ～ 9	住宅の屋根の塗装工事において、伸展させた脚立を使って屋根へ上がるに際し、屋根又は脚立から墜落した。	415	1	1～ 9
2007	12	8 ～ 9	木造アパートの解体作業中、二階に上がるための鉄骨階段を破碎機を取り付けた車両系建設機械で切断しようとしたところ、デッキプレートにコンクリートを打設した構造の二階廊下（約1.2m×1.5m）が全面に渡り崩れ落ち、1階にいた作業者がその下敷きになった。	418	4	1～ 9
2007	11	16 ～ 17	木造2階建住宅新築工事において、2階の梁上にて火打ちの設置作業を行っていたところ、バランスを崩し1階コンクリート基礎床に墜落した。	415	1	1～ 9
2007	8	15 ～ 16	木造3階建住宅新築工事において、荒床板貼り作業のため、床板を梁上に並べ、後退しながら釘打ち作業を行っていた際、次に釘打ちをするために並べてあった床板に足をかけたところ、床板が斜めに傾き、その隙間から1階コンクリート基礎床に墜落した。	418	1	1～ 9
2007	6	14 ～ 15	解体工事現場の高さ6m梁から3.2m下の2階桁に墜落した。	415	1	1～ 9
2007	7	8 ～ 9	木造2階建住宅新築工事において、はしごを使用して床材等を2階へ運びこむ作業を行っていた被災者が、はしごから降りるため梁上を歩いていたところ、3.5m下のコンクリート部分に転落した。	415	1	1～ 9
2007	8	15 ～ 16	木造2階建て軒下高さ6.1mの瓦屋根工事に際し、休憩後、外部足場に設けられた昇降階段を使わず、瓦揚機を昇降設備代わりにして屋根に上ろうとし、バランスを崩して墜落した。	219	1	10 ～ 29
2007	7	13 ～	2階建ての木造家屋新築工事現場において、吹き抜け上部に位置する屋根裏の断熱材を貼り付ける作業中、5.85mの高さから墜落した。開口部（吹き抜け部）に対し足場板（長さ2000mm、幅240mm、厚さ3	416	1	1～ 9

		14	0 mm) が二方向に引いてあったが、固定はされず、囲い等は無く、防網の設置、安全帯の使用、保護帽の着用はなかった。			
2007	3	12 ～ 13	張出し足場（高さ5.95m）から柱に捕まりながら降りようとしたところ、足が滑り転落しそうになったため、上部にあった張出し足場にぶら下がるように捕まった。張出し足場を引っ張るような形になったため、足場が外れて転落した。	411	1	1～ 9
2007	4	13 ～ 14	木造家屋建築工事現場で建方作業中、被災者は1階天井部分となる梁上で柱の設置作業を行っていたところ、約3.5m下へ落下した。	418	1	1～ 9
2007	10	17 ～ 18	車庫新築工事現場において、高さ2.6mの梁に両足を掛け、梁から高さ1.3mの箇所にある母屋の端を揃えるため、のこぎりで切断していた。母屋材の端部を切断する際に、のこぎりで完全に切断することなく少し残した状態で止め、その後、手で押し折ろうと力を入れたところ、バランスを崩し端材と同時に落下、下方に駐車してあったトラックの左前部ミラーに当たった後、アスファルト地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2007	5	17 ～ 18	木造家屋新築工事現場において、間柱の取り付け作業を終了し、段差状の外部足場を降りている際、高さ5.5mの箇所（足場の3段目）から足場と躯体の間に墜落し、躯体側のひさしに当たり、足場の外側に放り出され、地面に激突した。	411	1	1～ 9
2007	3	9 ～ 10	フォークリフトで長さ2.65m、45cm角の木材（栗）を運搬中、運搬した木材を置く箇所に、木材を置くための受け台（10cm角）を置いていた被災者がいたため、フォークリフトを止めたところ、木材の下に雪がついていたこともあり、止まった勢いで木材がフォークから滑り落ち、被災者に激突した。	222	4	10 ～ 29
2007	9	16 ～ 17	鶏舎の建築（木造建築）作業において、ラフタークレーン（35t）で木製トラスと呼ばれる木材で組まれた小屋組みを1.8mスパンで乗せ、母屋材で固定する作業を行っていたところ、被災者は高さ2.74mの小屋梁から墜落した。	415	1	1～ 9

2006	11	14 ～ 15	木造家屋建築工事において、内装工事を行っていた被災者が、材料置場の2階の室内床上に倒れているところを同僚に発見され、骨折、打撲により手術を行い入院加療中であったが、死亡した。	999	99	1～ 9
2006	3	0 ～ 1	営業活動中に昼食のために入った食堂のトイレで倒れた。	911	90	1～ 9
2006	8	15 ～ 16	木造2階建新築工事現場における瓦葺き作業において、瓦を荷上げタワーに積み込む作業を行っていたところ、休憩の際に気分が悪くなり病院に搬送された。当日の天候は晴れ、気温は32.4℃、相対湿度59%であった。	715	11	1～ 9
2006	11	11 ～ 12	一般家屋の増築工事で、事前に撤去する必要がある高さ2.7メートルの駐車場の屋根から墜落した。	415	1	1～ 9
2006	11	8 ～ 9	被災者ら4名は、2台のトラックに2名ずつ分乗し、会社から工事現場に向かう途中、対向車線を走行してきた大型保冷車がセンターラインをはみ出し、そのまま2台と相次いで正面衝突した。	221	17	1～ 9
2006	12	9 ～ 10	木造2階建ての新築工事において、妻側の足場から2階屋根の破風の化粧合板を設置している際、打ち込んだ釘が斜めになり、くぎ抜きで抜くため足場を移動して取りに行こうと横移動したとき、足場からバランスを崩し約6mの高さから地上に設置された産廃ボックスの中に墜落した。	411	1	10 ～ 29
2006	12	8 ～ 9	木造2階建て家屋新築工事現場において、2階屋根北側中央部の破風板（切妻屋根の妻側に付けられる山形の隠し板）を取付けるため、南側の外部足場から屋根上を伝って、当該取り付け箇所へ破風板1枚及び工具を運んでいた被災者が、屋根上を滑って軒先（高さ6.13m）から地面に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2006	12	15 ～	住宅増築工事の棟上作業において、被災者は棟上された桁（高さ6.5メートル）に渡していた渡し板に上がり、桁と梁のボルト締め作業を行っ	416	1	1～ 9

		16	ていたところ、渡し板もろとも地面に墜落した。			
2006	11	19 ～ 20	現場に作業員が出動したところ、駐車中の被災者の車を確認したが本人の姿はなかった。作業を開始し、前日の雨で基礎部分に溜まった雨水の撤去作業中、足場と建物基礎の間に倒れている被災者を発見した。（前日の作業は終了していたが、被災者は夜に再度現場に来た。）	411	1	10 ～ 29
2006	11	9 ～ 10	リフォーム工事の一部として屋根葺工事（既存スレート屋根上に金属屋根を敷設する工事）を行っていたところ、2階屋根から約12メートル下の道路上に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2006	11	14 ～ 15	トラック積載型クレーン（つり上げ荷重2.9トン）の荷台から原木を下ろすため、車外運転席（進行方向右）後方の操作レバーを操作して荷台の原木を吊り上げ、続いてブームをトラック後方から手前側（進行方向右側）に旋回させたところ、トラックが傾き、トラックの運転席と傍らの原木の山との間に挟まれてた。	212	2	10 ～ 29
2006	8	16 ～ 17	軒高約6メートルの木造2階建家屋躯体工事において、2階床根太打ち前作業を行っていたところ、高さ3.47メートルの2階床梁上より1階床コンクリート土間に墜落した。	415	1	1～ 9
2006	10	8 ～ 9	別荘の下地補修工事中、屋根のトタンを外すため屋根に上がり、被災者は1枚目のトタンにかかるキャップや鋏を外し、自らこのトタンを地上へ投下し、次に被災者は2枚目のトタンにかかる鋏をバールで外していたとき、被災者が足をこのトタンにかけていたため、このトタン自体が屋根斜面をずり落ちるとともに被災者も屋根斜面をずり落ち、外部足場の手すりの下部をすり抜けて約3.9m下の地上に墜落した。	415	1	1～ 9
2006	10	13 ～ 14	新築工事現場で作業を終え、会社に向かって軽トラックを運転中、中央線を越え対向車に激突した。	231	17	1～ 9
2006	9	10 ～ 11	木造住宅建方作業中に、被災者は他の作業者と2人で床材を持ちながら、2階梁上運搬をしていたところ、バランスを崩し1階の土間に墜落した。	415	1	1～ 9

2006	10	14 ～ 15	民家の土蔵の屋根の葺き替えのため、屋根の下地作業を行っていた被災者が屋根（高さ約4m）、または足場（高さ347cm）より墜落した。	415	1	1～ 9
2006	8	7 ～ 8	被災者の運転する普通乗用車が交差点で右折中、乗用車の左側から直進して来た普通貨物自動車が、乗用車に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2006	9	9 ～ 10	木造建築新築現場において、1人で作業を行っていた被災労働者が、土場に倒れているのを訪問者に発見された。	418	1	10 ～ 29
2006	9	16 ～ 17	木造平屋建て新築工事現場で、高さ約3メートルの小屋桁から1階のコンパネ上に墜落した。	415	1	1～ 9
2006	9	16 ～ 17	住宅建築工事現場で2名で整地作業を行っていた。ドラグ・ショベル（機体重量6.2t）を運転し、前進・後進を繰り返し排土板にて整地していたところ、後進時にドラグ・ショベルの進路に入っていた被災者をクローラーで轢いた。	142	6	1～ 9
2006	9	14 ～ 15	住宅兼作業場新築工事現場において、被災者は破風板及び軒天ボードの釘の点検を、事業主は1階外部のサイディングボードの釘の塗装補修を行っていた。建物外部には鋼製足場が設置されていた。事業主は地上から釘の補修を始め、建物を一周後、足場1層目に移り北側途中まで補修し、飲料水を飲むため東側に移動したところ、建物の南東付近に被災者が倒れていたのを発見した。	415	1	1～ 9
2006	8	11 ～ 12	午前8時30分から一人で残材を、焼却炉にくべる作業をしていた。午前10時に休憩をとった後、再び作業を行っていたが、その後気温の上昇と炉の熱さも加わり、被災者が倒れた。昼休みを終えた同僚に発見されたが意識がなく、死亡が確認された。	715	11	1～ 9
		16	木造2階建住宅新築工事の建て方作業中、被災者は足場の作業床から建物			1～

2006	6	～ 17	の梁へ渡ろうとした際、作業床と梁の開口部から転落した。	411	1	9
2006	6	～ 14	被災者は外壁の足場（作業床40cm）上でモルタル仕上げ作業を行っていたが、足場から転落した。	411	1	1～ 9
2006	8	～ 15	木造平屋建てレストラン新築工事の屋根下地作業において、垂木上（幅4CM、高さ4M）で、ドリルを使用しT型に加工した垂木を梁に取り付ける作業中、コンクリート基礎の上に墜落した。	415	1	1～ 9
2006	8	～ 14	別荘として使用される木造家屋建築現場において、被災者が建屋2階床部分に設置された木製の梁（幅20センチメートル）に外部足場から足をかけたか、又は、同梁上を移動していたとき、4.9メートル下のコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
2006	8	～ 10	木造2階建て住宅の屋根補修工事を1階屋根上にて作業中、代表者と被災者の2名で鼻隠し付近のトタンの長尺キャップを外す作業を行っていたところ、約3.2m下のコンクリートの地面に転落した。	415	1	1～ 9
2006	8	～ 15	寺の本堂改修工事で使用する棟木の加工を元請事業場の土間で被災者を含む5名が行っていた。被災者は、手持ち式丸のこで棟木に梁を組むための落とし込み（溝）を作製していたところ、手持ち式丸のこの歯に接触した。	131	8	1～ 9
2006	7	～ 16	被災者は、木造2階建家屋の解体工事において、2階屋根（軒高5.6m）上で手作業により瓦を除去する作業を行っていたとき墜落した。	415	1	10 ～ 29
2006	7	～ 11	リフォーム工事に伴う個人宅浴室の塗装工事現場において、午前8時に浴室内のテープやビニールシートによる養生作業を開始。午前9時20分頃から浴室内の壁及び天井面にキシレン含有のシーラー材を塗っていた。その後、被災者が倒れているのを同現場で別の作業をしていた男性が発見した。	514	12	1～ 9

2006	7	10 ~ 11	住宅新築工事現場において、ブロック塀基礎コンクリートの掘削床面（深さ約50cm）で、コンクリートの上に型枠建て込み作業中、隣地に2段から3段に積まれていたコンクリートブロック（一辺約80cmの立方体、重さ約1.3トン）が掘削面側に崩れ、被災者はコンクリートブロックの下敷きになった。	711	5	1~ 9
2006	7	16 ~ 17	被災者が、馬房の壁にコンパネの板を打ち付けるため、脚立2台の上から2段目に足場板（幅21cm、長さ308cm）渡し、ゴムバンドで固定し、足場板の上（高さ146.5cm）で作業中にアスファルト床に転落した。	411	1	10 ~ 29
2006	7	16 ~ 17	被災者は、新築の木造平屋住宅工事現場で北側風呂場の屋根での作業中に約5.13m下のコンクリートの土台に墜落した。	415	1	1~ 9
2006	7	14 ~ 15	木造家屋の屋根の葺替等の改築工事において、被災者は片付け、清掃、資材の運搬などの作業を行っていた。水を飲むため、作業場所を離れた。作業に復帰してまもなく、足場上にて倒れた。	715	11	1~ 9
2006	7	16 ~ 17	木造家屋新築工事現場の外部枠組足場の1段目作業床上（高さ1.8m、幅21cm）において、トラッククレーン（5トン）にて吊り上げられた敷桁を、建屋外周の柱に取付けようとして、被災者の手許に当該敷桁が移動してくるのを待っている時、作業床から足を踏み外して墜落した。	418	1	1~ 9
2006	7	11 ~ 12	被災者ほか1名は、木造建築2階建て新築工事現場の1階天井梁に仮設した作業床（合板16枚敷き）上において、25トン移動式クレーンにより吊り上げた合板40枚（320キロ、1枚→1.8メートル×0.9メートル、厚12ミリ、未結束）の荷受け作業中、吊り荷の合板2~3枚が被災者側に崩壊し、激突、そのはずみで当該作業床端から約3.6メートル下コンクリート床面へ墜落した。	416	1	1~ 9
2006	7	18 ~ 19	被災者は、定時終業時刻後に、歩行者用通用門から退出するため、正門前の構内横断歩道上を自転車で走行していたところ、構内入場のために左折して来た運送業者の定期便トラックに轢かれた。	221	17	100 ~ 299

2006	6	17 ～ 18	木造2階建て家屋建築工事において2階床梁迄組まれた状態で、被災者が1階の釘拾い等片付けをし、他作業員2名が外壁釘打ちをしていたところ、高さ約2.5mの2階床梁上に仮置きしていた根太(387cm×9cm×24cm、約100kg)が落ち、被災者にあたった。	522	4	10 ～ 29
2006	5	16 ～ 17	木造2階建て住宅新築工事現場において、2階床梁(高さ3.78m)上に乗り、2人で屋根桁材の取り付け作業を行っていたところ、材料(ビス)がなくなったため、1人が材料を取りに地上へ降りた間に、被災者が建屋内側のコンクリート土間に墜落した。	415	1	1～ 9
2006	4	14 ～ 15	一般住宅新築工事現場の建前作業中、下屋廻りの母屋上の端で、小屋組側面の破風板を取付けていたところ、高さ5.5m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2006	4	9 ～ 10	木造住宅解体工事現場において廃材をダンプトラックに積み込んでいた際、被災者及び同僚が荷台前壁上部の鋼板に上がり、荷台に積み込んだ廃材を整頓しようとして廃材を手前に引っ張ったところ、廃材を掴んでいた手が滑り、その反動で高さ2.5メートルの荷台前壁上部から墜落した。	221	1	1～ 9
2006	3	15 ～ 16	屋根修繕工事において、屋根の雨樋の掃除のため、被災者が下屋(木製の梁に塩化ビニール製波板が葺いてあるもの)の梁上を移動していたところ、梁が折れて波板を踏み抜き、地上2.8m下のコンクリート上に墜落した。	415	9	1～ 9
2006	2	23 ～ 24	建設業附属寄宿舍の同室に居住している2名が休日のため外出し、飲食店で飲酒した後帰舎し就寝、まもなく自室から出火、消火するも延焼し1名は死亡した、他の1名は火傷を負った。また、階下にいた者が寝入っており死亡した。	911	16	10 ～ 29
2006	2	23 ～ 24	建設業附属寄宿舍の同室に居住している2名が休日のため外出し、飲食店で飲酒した後帰舎し就寝、まもなく自室から出火、消火するも延焼し1名は死亡した、他の1名は火傷を負った。また、階下にいた者が寝入っており死亡した。	911	16	10 ～ 29

2006	2	14 ～ 15	木造2階建て集合住宅の屋根の補修工事中、屋根から5メートル91センチメートル下の舗装道路上に墜落した。	415	1	1～ 9
2006	2	12 ～ 13	被災者は、社内研修で温泉に宿泊中、風呂場にて死亡した。	921	90	10 ～ 29
2006	2	7 ～ 8	被災者は、所属事業場に出勤した後、乗用車を運転して現場に向う途中、踏切を横断する際、上り普通列車（4両編成）と衝突した。被災者は衝突後車外に投げ出された。	231	17	1～ 9
2006	2	16 ～ 17	木造平屋建の倉庫新築工事において、瓦葺作業を行っていた被災者が、高さ2.1メートルの屋根の端から墜落した。	415	1	1～ 9
2005	2	14 ～ 15	木造家屋新築工事現場において、高さ3.5mの梁の上で屋根部のたる木の取り付け作業を行っていた際、住宅基礎部のコンクリート面に墜落した。	415	1	1～ 9
2005	11	11 ～ 12	木造建築の解体工事において、高さ4mの屋根の上で、瓦をトラックの荷台に投げ下ろす作業中、バランスを崩し、瓦とともに地上に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2005	2	9 ～ 10	牛舎建築工事現場において作業中、横桁を入れようとしていたところ、合掌部分から4m下のコンクリート土間に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2005	6	9 ～ 10	浄化槽設置のための掘削作業の際、掘削箇所底部（深さ3m）のポンプが詰まったため、掘削箇所底部に下りたところ、背後法面の土砂が崩壊した。	711	5	1～ 9
2005	3	11 ～ 12	個人住宅の外壁撤去作業中、高さ4mの足場上で、しゃがんだ状態でトタン板にバールをねじ込んで剥がしていたところ、作業床と手すりの間から後向きに墜落した。	411	1	1～ 9

2005	2	15 ～ 16	民家新築工事において、高さ6mの2階梁から墜落した。	415	1	1～ 9
2005	9	9 ～ 10	木造平屋建て倉庫の解体工事中、スレート屋根の上を移動していたところスレート屋根を踏み抜き、6m下のコンクリート床に墜落した。	415	1	50 ～ 99
2005	1	9 ～ 10	屋根瓦の葺替え作業中、地上高さ9mの屋根上から墜落した。	415	1	1～ 9
2005	11	11 ～ 12	新築工事現場において、2階の床合板を敷く作業中、床合板を敷き終わっていない開口部から墜落した。	414	1	1～ 9
2005	9	11 ～ 12	屋根葺替工事において、屋根上で葺替え用の瓦を運んでいる時、軒先から4m下の地面に墜落した。	415	1	50 ～ 99
2005	2	15 ～ 16	住宅新築現場にダンプトラックで砂利を搬送し降車したところ、ダンプトラックが動き出したため、後方に回り込んで止めようとした際、駐車していた他車とダンプトラックとの間に挟まれた。	221	7	1～ 9
2005	6	15 ～ 16	住宅の屋根葺替え工事現場において、作業終了後、被災者がはしごから下りようとした際に、当該はしごが滑動し、はしごとともに1階屋根部分から転落した。	413	1	1～ 9
2005	7	18 ～ 19	木造家屋新築工事現場の2階床で内部造作作業中、転倒した。	418	2	10 ～ 29
2005	6	11 ～ 12	平屋建て住宅新築工事において、屋根じまいの作業をしていたところ、高さ3.5mの桁上からコンクリート基礎部に墜落した。	415	1	1～ 9

2005	9	17 ～ 18	木造建物の増築工事で屋根の施工をしていたところ、うまの踏面から足を滑らせ墜落した。	371	1	1～ 9
2005	12	10 ～ 11	木造新築工事現場において、屋根の上で作業中、足を踏み外して、6.4m下の基礎コンクリートに墜落した。	415	1	1～ 9
2005	3	0 ～ 1	材料置き場内で、木材のはいのすき間に入って、西側はいの中段にあった木材を取り出そうとしたところ、上段の木材のはい（重さ1トン）が崩壊し、下敷きとなった。	522	5	1～ 9
2005	11	14 ～ 15	木造家屋新築工事現場において建方作業中、高さ3.8mの梁からコンクリート基礎の上に墜落した。	415	1	1～ 9
2005	8	15 ～ 16	木造新築工事現場において移動式クレーンで複数の木製板パネルをつり上げ、建物2階に下ろす作業をしていたところ、板パネルが玉掛け用具のスリングベルトから抜け落ち、下で作業していた被災者ら2人に激突した。	372	4	1～ 9
2005	10	15 ～ 16	木材加工作業の準備中に手持ち丸のこを股に挟んだまま、起動スイッチに指を掛けてしまい、のこ刃が回転して被災した。	131	8	1～ 9
2005	4	17 ～ 18	2階建て木造家屋建築現場において、2階床部に仮置きしていた断熱パネル板（重さ60kg）を外壁に取り付けるため、移動式クレーンを用いクランプでつって移動させている際、クランプが外れ荷が落下し、その下で断熱パネル板の取付け作業中の被災者に激突した。	212	4	10 ～ 29
2005	8	10 ～ 11	木造2階建てのペンション外部補修工事におけるアンテナ取替え作業において、ペンション外部に設置された枠組足場の外側から上っている際に墜落した。	411	1	10 ～ 29
2005	3	14 ～	住宅新築工事現場で、外壁フレキシブルボードのビス補強作業のため、単管足場に鋼製足場板をかけ、これに乗って作業中、足場板が転位し、1.5m	411	1	1～ 9

		15	下の地面へ墜落した。			
2005	12	16 ～ 17	廃材である陶器製の洗面台を不燃物のコンテナに投入しようとしていたところ、当該洗面台が割れ、その破片で被災した。	529	8	10 ～ 29
2005	9	15 ～ 16	木造住宅新築工事において、既設電柱から工事現場用の仮設電柱に100V引込み線を接続するため、既設電柱上で活線作業を行っていた際、活線に触れ感電した。	351	13	1～ 9
2005	10	15 ～ 16	木造2階建住宅新築工事現場において、2階床を張っていたところ、開口部から3m下のコンクリート床面に墜落した。	414	1	1～ 9
2005	11	11 ～ 12	個人住宅の屋根瓦の取替え作業において、瓦揚げ機により古い瓦を2階屋根より下ろしていたところ、引っかかっていた荷台が急に落下し、被災者に激突した。	219	6	1～ 9
2005	6	14 ～ 15	個人住宅の建築工事において、高さ3.4mの梁上で作業していた被災者が足を踏み外し墜落した。	415	1	1～ 9
2005	4	15 ～ 16	軽トラックを運転中、ゆるいカーブを曲がりきれずに対向車線にはみ出し、対向車線を走行してきたトラックに衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	4	9 ～ 10	地下車庫工事のため、ドラグ・ショベルで掘削中、歩行者を誘導していた被災者が、ドラグ・ショベルのカウンターウエイトとトラック荷台のあたりとの間に挟まれた。	142	7	10 ～ 29
2005	4	11 ～ 12	新築工事途中の住宅内部で、はしごを使用し、梁上で作業していて墜落した。	371	1	1～ 9
2005	5	13 ～	木造新築工事において、垂木の取付け作業のため、はしごを使用して屋根の梁に上り、移動中、3.4m下のコンクリート基礎に墜落した。	415	1	1～ 9

		14				
2005	9	10 ～ 11	民家の外壁リフォーム工事において、くさび緊結式足場の部材を取り外していたところ、部材の重さでバランスを崩して2.3m下の地上に墜落した。	411	1	10 ～ 29
2005	12	10 ～ 11	木造2階建ての民家において、2階の窓枠を交換するため、屋根の上で脚立に乗り、戸袋を外す作業中、バランスを崩して地上に墜落した。	415	1	1～ 9
2005	7	11 ～ 12	木造2階建一般家屋の建築現場において、先行足場の組立作業中に高さ5mの作業床から墜落した。	411	1	1～ 9
2005	7	16 ～ 17	木造建造物解体後の廃材搬出作業中、転倒した。	417	2	1～ 9
2005	11	10 ～ 11	木造住宅兼店舗の新築工事現場で組まれた天びん梁等の取付け作業を、梁上で行っていたところ、つり具を外すために梁上を移動した被災者が、梁を踏み外して4m下のコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
2005	7	8 ～ 9	2階屋根のもやの歪みを修正するために、もやを押し広げていたところ、墜落した。	415	1	1～ 9
2005	12	0 ～ 1	個人住宅工事に使用する材料を運搬中、標識柱に激突した。	221	17	10 ～ 29
2005	1	10 ～ 11	木造2階建ての寮の解体工事において、屋根瓦撤去作業中、高さ7mの屋根から地面に転落した。	415	1	10 ～ 29
2005	8	15 ～	ポプラの伐採後の枝等の片付け作業中、ポプラの木を玉切りしやすい場所に移動しようとして、グラップルで挟み、右旋回させたところ、当該ポプ	229	6	10 ～

		16	ラの木が、被災者に激突した。			29
2005	4	8 ～ 9	2階建て木造住宅解体工事現場において、2階に上がり、外壁材の解体作業に取りかかって間もなく、階段を背面から転げ落ちた。	413	1	10 ～ 29
2005	9	11 ～ 12	梁につなぎ材をはめ込む作業を高さ3mの梁の上で中腰で行っていたところ、つなぎ材が入らないことから両側をかけやで叩いて入れようとした際に、つなぎ材が外れて落下したため、バランスを崩した被災者が墜落した。	415	1	10 ～ 29
2005	12	11 ～ 12	木造建物の解体工事において、鉄骨フレーム造の物置にベルトスリングで玉掛けを行っていたところ、物置が不安定な状態であったため、転倒して下敷きとなった。	418	5	10 ～ 29
2004	7	17 ～ 18	木造家屋建築工事において、軒下張り作業の補助をおこなっていた被災者の歩行状態が異常であったため他の作業者が病院に連れて行ったところ、熱中症により死亡した。	715	90	1～ 9
2004	2	11 ～ 12	木造建築現場において玄関部分の筋交上部の固定用金具を取り付けるため、脚立（高さ1.8m）を使用し作業中、転落した。	371	1	1～ 9
2004	11	13 ～ 14	木造2階建建築工事において、1階の柱を立て、桁等を取り付けた状態で、墜落防止措置がないまま、桁上に置かれた火打ち（直交する水平部材を補強する斜め材）を配る作業を行っていた被災者が約3.6m下のコンクリート基礎部分に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2004	8	9 ～ 10	住宅新築工事現場において、基礎工事に使用する鉄筋（50本、300kg）をドラグ・ショベルのアームの先端部に取り付けられているフックに玉掛けを行い、つり上げていたところ、玉掛けに使用していたワイヤロープが切断し、つり荷を支えていた被災者に鉄筋が激突した。	372	4	1～ 9
2004	11	14	台所サンルーム屋根の設置工事（高さ約3.5m）を、一人ではしご等を使用して行っていたところ、墜落した。	371	1	30 ～

		15				49
2004	8	15 ～ 16	4tトラックを運転して国道を走行中、中央線をはみ出し、対向車線を走行していた10tミキサー車と衝突した。	221	17	1～ 9
2004	3	10 ～ 11	新築工事のために既存の2階建て木造家屋を解体し、残骸の運搬準備作業中、トラックの側面にいた被災者が、他の作業者が運転するドラグ・ショベルのバケット部分とトラックのアオリ部に挟まれた。	142	7	1～ 9
2004	9	8 ～ 9	高さ約11mの、マンションの踊り場付近のパラペットに上り、隣の個人住宅の屋根に異常がないかを確認していたところ、誤って墜落した。	419	1	10 ～ 29
2004	7	0 ～ 1	民家改修工事において、屋根上の換気口の掃除を行っていたところ、足を滑らせ約7m下の地上に転落した。	415	1	1～ 9
2004	9	18 ～ 19	住宅新築工事現場にて作業中、他の作業者が被災者にバールで襲い掛かり、死亡させた。	911	90	1～ 9
2004	9	8 ～ 9	木造2階建ての店舗新築工事において、2階部分の作業床の組み立て作業の際、桁の上で足場板を並べる作業に取り掛かったとき、足が滑り下のコンクリート土間に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2004	5	11 ～ 12	瓦のふき替え工事現場において、屋根土運搬作業に従事していた被災者が、屋根土を運搬するために運搬車を運転して私道を下っていたところ、運転操作を誤り、私道の端から下方約4.5mの地点に当該運搬車ごと転落した。	229	1	10 ～ 29
2004	5	14 ～ 15	解体工事現場にて、丸太足場を設置し、高さ3.6mで養生シートを取り付ける作業中、地面に墜落した。	411	1	1～ 9
		14	2階建て木造家屋の新築現場において、2階天井部分のはりに登って棟上げ			

2004	7	～ 15	の作業をしていたところ、被災者がはりを移動中に固定されていないもやに体重をかけ、バランスを崩して、いったん1階天井のはりに墜落してからさらに1階土台まで墜落した。	415	1	1～ 9
2004	1	～ 12	11 木造2階建屋建築現場において、2階小屋梁に架け渡した木製歩み板上で、掛矢を用いて建て方作業を行っていた際に歩み板を踏み外し、2階の養生板に当たった後、1階コンクリート基礎に墜落した。	416	1	1～ 9
2004	3	0 ～ 1	瓦のふき替えに際して、野地板等の点検のため軒高約3mの屋根に上がっていたところ、地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2004	4	17 ～ 18	住宅の屋根を点検し、2階屋根から1階屋根に降りるため移動はしごに足を掛け、これを支えていた被災者が当該はしごとともに地面に墜落した。	371	1	10 ～ 29
2004	8	16 ～ 17	屋根改修工事現場において、高さ3.3mの屋根上で野地板の貼り付け作業を行っていたところ、コンクリート地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2004	11	～ 16	15 1階建て個人住宅の屋根において、下塗剤塗布後、地上に降りるため、隣接する物干場の屋根（プラスチック製）に置いた歩み板を通り、昇降のため立てかけてあった金属製うまから地面に降りようとして、安全帯のフックを親綱から外したところ、バランスを崩し、軒から地面（コンクリート）まで墜落した。	416	1	1～ 9
2004	9	15 ～ 16	屋根葺き替え工事中、コンクリートの土間に転落した。	415	1	1～ 9
2004	8	11 ～ 12	住宅の2階屋根塗装工事中、塗料で足が滑り高さ約8mの軒先から墜落、隣家との境界に有るブロック塀頂部に激突した。	415	1	1～ 9
		17	木造家屋の増改築工事現場において、屋根の上の作業が終了し、屋根に立			1～

2004	9	～ 18	て掛けていた脚立から地上に降りようとした際、墜落した。	371	1	9
2004	10	～ 15	14 住宅の2階屋根に上がって点検、応急処置をした後、脚立はしごで降りよう としていたところ、バランスを崩して約6m下のコンクリート製の階段に墜 落した。	371	1	1～ 9
2004	12	～ 14	13 木造2階建新築工事において、高さ6.4mの建屋から墜落した。	418	1	1～ 9
2004	6	～ 11	10 工事現場で、雨よけに使用しているプラスチック製の波形板に乗って家の 外壁の塗装作業をしている際に、5.6m下の地面に墜落した。	419	1	1～ 9
2004	6	～ 14	13 台風接近に伴い、現場の状況確認を行うため、被災者が会社の軽トラック を運転し、現場に向かう途中、国道に設置された車両感知器柱に衝突後、 横転した。	221	17	1～ 9
2004	8	～ 15	14 住宅の2階のひさしの裏地張替え作業中転落した。	415	1	1～ 9
2004	3	～ 17	16 木造住宅建築工事（2階建）現場において、建前作業後、コンパネ材を取付 ける準備をしていた被災者が、高さ約6mの2階部分の軒桁の上から墜落し た。	415	1	1～ 9
2004	12	～ 15	14 公民館屋上に倒れ掛かった木を撤去する作業において、当該風倒木の根元 （直径約25cm）をチェーンソーで切断したが、木は切断面が離れず屋上か ら落下しないため、被災者が屋上に上がり、端に立って木を揺すって落と そうとしたところ、突然木が落下し、これに当たった被災者が外階段の踊 り場に墜落した。	418	1	1～ 9
2004	3	～	13 軽自動車を運転して県道を走行していたところ、対向車線をはみ出した軽 乗用車と正面衝突した。	231	17	1～ 9

		14				
2004	2	16 ～ 17	トラックへの材木の積込作業中、被災者が荷台に積まれた材木上で整理を行っていたところ、足を滑らせ1.7mほど転落した。	522	1	1～ 9
2004	7	7 ～ 8	木造平屋倉庫新築現場において、屋根の瓦葺き工事を行うために、既に設置されていた丸太足場の点検をするために、被災者が足場板に乗って点検していたところ、固定されていなかった足場板が腕木から外れ、足場板と共に約5m墜落した。	411	1	1～ 9
2004	9	9 ～ 10	木造2階建て住宅新築工事現場において、被災者は高さ6.85mの個所に取り付けられた母屋（幅9cm）または梁（幅12cm）を足場にして2階天井部に仮置きされていた垂木を移動する作業を行っていたところ、コンクリートが打設された土間に墜落した。	415	1	1～ 9
2004	5	15 ～ 16	建方作業で、つなぎを設置するための敷きばりのほぞ穴の位置が約25cmずれていたため、高さ3.6mの敷きばり（幅12cm）の上で、正しい位置にほぞ穴を掘る作業中にバランスを崩してベタ基礎（コンクリートの土間）に墜落した。	415	1	1～ 9
2004	3	0 ～ 1	木造2階建てアパートの解体工事現場において、解体した廃材を10tダンプロックの荷台に積み込み、積み込んだ廃材が運搬中飛散しないようネット掛け作業を行っていたところ荷台から墜落した。	221	1	1～ 9
2004	11	0 ～ 1	倉庫新築工事現場において、被災者が建物の柱に立てかけられていた合掌と呼ばれる屋根の部材に、玉掛け用のベルトスリングを取り付ける準備をしようとしたところ、突風により合掌が被災者側に倒れ、下敷きとなった。	415	5	1～ 9
2004	11	13 ～ 14	高床式2階の木造家屋の新築工事において、2階小屋組みの建方作業を行うために上がっていた小屋梁から、約6.5m下のコンクリート造基礎の階段部に墜落した。	415	1	1～ 9
		10				1～

2004	12	11	3 tトラックで高速自動車道を走行中、中央分離帯に衝突した。	221	17	9
2004	7	15	住宅新築現場で風呂の設置工事を行っていた時、大雨のため川の堤防が決壊し濁流が押し寄せてきたため、トラックを運転して高台に移動させていたところ濁流に流された。	713	10	1~9
2004	3	16	アパートの2階ベランダ撤去のため、2層2列に組んだ枠組足場上でベランダをバールを使い撤去作業中、ベランダが落下しその拍子で足場が傾き足場上から墜落した。	411	1	1~9
2004	5	9	木造家屋住宅の瓦吹き替え工事にて、瓦をはがしている際、高さ6.3mの屋根から墜落し、隣接した民家との境界基礎の上に落ちた。	415	1	10~29
2004	11	11	木造建築工事現場においての足場解体作業中、躯体（く）体ひさし上にて建地単管を解体し、下で解体した単管パイプを受け取るという作業を2人で行ってたところ、下でパイプを受けていた被災者が足を滑らせ、すぐ脇の擁壁（高さ約3.5m）から道路側へ墜落した。	419	1	1~9
2004	12	11	木造家屋解体工事現場において、周囲への飛散防止のシート養生をするための骨組みを単管パイプで組立作業中、1段目の水平つなぎの単管パイプ上（高さ1.65m）で2段目の水平つなぎをクランプにて取り付けていたところ、墜落した。	419	1	1~9
2004	6	14	木造住宅建築現場において、躯体（く）体の外部階段を移動式クレーンを使用して取り付ける作業に従事していた被災者が仮止めした外部階段に上って作業していたところ、墜落した。	413	1	1~9
2004	3	8	アパート塗装工事現場において、屋根面の塗装を開始するため頂上部に上がったところ、屋根上を滑落し、軒から道路上に約10m墜落した。	415	1	1~9
2004	7	9	2階建て住宅（最高軒高さ：約7m）の建設工事において、足場の解体のため上部の単管を地上へ下ろしている際、足場3層目の作業床（高さ5.4m）	411	1	1~9

		10	から転落した。			
2004	3	17 ～ 18	個人住宅のリフォーム工事において、2階部分の内装工事を行っていたが、業務が終了し、地上へ下りようと2階の窓からひさしへ出たときバランスを崩し墜落した。	415	1	1～ 9
2004	3	10 ～ 11	木造2階建住宅新築工事現場において、瓦工事を行っていた被災者が休憩するため、屋根から足場を通して地上に下りる際、屋根端から5m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2004	2	10 ～ 11	木造3階建住宅新築工事の建方作業において、高さ5.6mの3階床組の梁上で作業していて地上まで墜落した。	415	1	1～ 9
2004	10	9 ～ 10	シャッターの点検修理作業中、シャッターの下に入り引っ掛かっていた木の棒を取り除いたところ、突然シャッターが下がり、コンクリート床とシャッターの部分に挟まれた。	391	7	1～ 9
2004	11	9 ～ 10	木造3階建て住宅新築工事現場において、3階部分の床張り工事中に、3階梁上に積み置きされた床板用構造用合板の上に誤って乗り、当該合板と共に約5m下の1階に墜落した。	522	1	1～ 9
2004	8	0 ～ 1	粗大ゴミ処理施設において、廃棄物の荷卸作業中にバックしてきたショベルローダーにひかれた。	225	6	1～ 9
2004	6	14 ～ 15	墨出し等の作業のため、2階床部分に作業床として仮置きしてあったコンパネ、垂木等の片付け作業中に、高さ3.15m下のコンクリートべた基礎部に墜落した。	415	1	1～ 9
2004	4	8 ～ 9	物置の組立作業中、高さ2.4mの足場上で長さ約4m重さ約70kgの通し梁の片側を肩に背負って移動している最中、バランスを失い梁と一緒に墜落した。	411	1	1～ 9
2004	3	9 ～	住宅の屋根工事中、地上からはしごを登り1階の屋根に渡ろうとしたときに、高さ約3mのところから墜落した。	371	1	1～ 9

		10				
2004	12	10 ～ 11	2階木造家屋建築工事の骨組み作業で、被災者は2階床張りした箇所です。柱と梁等とに専用金具を打ち込んでいるとき、移動式クレーンで2階から組み上げるための柱材の束をつり上げて合図を待っていたところ、何らかの原因で柱材が束ごと飛来落下し、被災者に当たった。	212	4	1～ 9
2004	6	9 ～ 10	木造2階建ての住宅新築工事で、1階の軸組み作業を行っていた時に、上部から墜落した。	411	1	10 ～ 29
2004	11	9 ～ 10	屋根の雨漏りの補修作業を行っていたところ、屋根から約5.5m下の地面に転落した。	415	1	0
2004	2	16 ～ 17	建物の解体作業中、2階押入れの天袋の梁上でバールを使って作業していたところ、誤って約7メートル下の地面に転落した。	418	1	1～ 9
2004	7	17 ～ 18	木造2階建て住宅の改修工事現場において、既存の床や壁材の解体作業を行っていたところ、熱中症になった。	715	11	1～ 9
2004	11	10 ～ 11	ダクト等の厨房用機器を設置するスペースである2階において、排気用チャンバーを設置するため、床面に矩形の穴を開けようと、予め墨出ししていたケガキ線に沿ってのこぎりを使用して切断していたところ、自身の体重により床面が壊れ、1階床面に墜落した。	416	1	10 ～ 29
2004	2	11 ～ 12	3階建て木造建築物の建前作業中、3階床部分の梁の上から足を踏み外し、約6m下の1階土間に墜落した。	418	1	1～ 9
2004	3	11 ～ 12	木造家屋新築工事現場で、高さ3.5mの2階床下地作業中に土間コンクリート上に墜落した。	415	1	1～ 9

2004	1	13 ～ 14	管路付設のため掘削した溝に、土止めのための軽量鋼矢板を建て込む作業中、ドラグ・ショベルのバケットで矢板の先端を下方へ押していたところ、矢板が急に曲がり、溝の底で当該矢板を押さえていた被災者に激突した。	142	6	10 ～ 29
2004	10	13 ～ 14	木造住宅建築工事において、1階の梁の上で2階床の根太の墨出し作業中、バランスを崩しコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
2004	4	16 ～ 17	母屋上でたる木の取付作業中、たる木の長さを調整するため携帯用丸のこ盤を取ろうとした際、バランスを崩して5.3m下の土間コンクリート部分に墜落、被災した。	415	1	1～ 9
2004	9	14 ～ 15	民家の雨戸等の修理作業において、修理材料であるベニヤ板（915×545×25mm）を右手に抱えてはしごを登っていたところ、墜落した。	371	1	1～ 9
2004	1	10 ～ 11	桁の組み立て作業において、移動式クレーンにより桁材をロープにくくり上げ、移動させていた時、据え付け済みの桁上においてつり上げた桁を誘導し支えていた被災者に、つり上げていた桁が当たり、バランスをくずし墜落した。	415	1	1～ 9
2004	12	15 ～ 16	木造平屋建て新築工事現場において、玄関屋根の、防水用シート（1mのロール）を大型のステープラーで貼る作業中、約4m下のコンクリート土間へ墜落した。	415	1	1～ 9
2004	9	17 ～ 18	木造2階建て個人住宅の新築工事現場において、2階床梁上に掛け渡した足場板上に上がって、部材の荷下ろし作業中、足を踏み外して3.6m下のコンクリート土間へ墜落した。	411	1	1～ 9
2004	12	8 ～ 9	木造2階建アパートの屋根・外壁改修工事において、屋根ふき作業中、場所を移動しようとして立ち上がったところ足を滑らせ、約6m下に墜落した。	415	1	1～ 9
		8	木造2階建て住宅建設工事現場で、2階の床を敷くために準備してあったコ			

2004	5	9	ンパネ（約800kg）を移動式クレーンを用いて、移動させるためつり上げたところ、高さ4m位のところで荷崩れ、落下し、近くにいた被災者の上に落ちた。	372	4	1～9
2004	12	15～16	民家の外壁改修工事において、高さ1.8mの足場作業床で樋をハケで塗装していたところ、手すりの端から約4m下の隣家の敷地に墜落した。	411	1	10～29
2004	10	13～14	台風で破損した木造2階建住宅の屋根の補修工事で枠組足場に乘って、屋根を一時的に支えるジャッキをセットする作業を行っていたところ、バランスを崩して約4.5m下の地面に墜落した。	411	1	1～9
2004	9	14～15	木造家屋建築工事現場において、2階窓の手すりを取り付けるための穴開け作業中、高さ約3.5mの足場から墜落した。	411	1	1～9
2004	2	10～11	2階建て住宅工事中、足場の2段目（高さ約3.5m）に立ち、ビス一箱を既設の中2階にいた他の作業者に手渡したところ、足を滑らせ墜落し、墜落箇所付近に置かれていた溶接用アセチレンボンベにぶつかった。	411	1	1～9
2004	7	9～10	木造住宅新築工事現場において、朝から基礎掘削作業に従事していたところ、熱中症になった。	715	11	10～29
2004	6	17～18	木造2階建て住宅の2階部分の増改築工事現場において、建物2階内部の片付け作業を終了後、2階作業床から足場に移動しようとしたところ、建物と足場との隙間から高さ約5.5m下の地面に墜落した。	414	1	1～9
2004	9	14～15	強風ではがれた車庫の屋根を、吹き飛ばないように切断し固定する作業を行っていたところ、強風でバランスを失い、約5m下の地面に墜落した。	415	1	10～29
2004	5	11～12	一般住宅新築工事現場内において、建設物2階のユニットバス設置予定部分の開口部から1階床部に墜落した。	414	1	30～49

2004	4	9 ～ 10	木造住宅の修繕工事現場において、外壁に立て掛けた長さ約4mのはしご上で、煙突と外壁の隙間にできた鳥の巣の穴を塞ぐ作業中、はしごが倒れ、3m下の地上に墜落した。	371	1	1～ 9
2003	12	15 ～ 16	木造住宅の新築工事において、1階屋根部分の母屋組みのため桁上で梁材（長さ3m）を回転させていたときに、バランスを崩して約4m下の1階土間コンクリートに墜落した。	415	1	1～ 9
2003	12	18 ～ 19	寺の屋根葺き替え工事現場から会社へもどるため乗用車で走行中、運転操作を誤り電柱に衝突した。	231	17	30 ～ 49
2003	12	14 ～ 15	木造建築物の解体で、2階の床（コンパネ）を外す作業中に2階の床端部より墜落した。	418	1	1～ 9
2003	12	17 ～ 18	木造2階建住宅建築工事で、2階天井の梁上で木槌を用いて梁材の打ち込み作業をしているときに、約6.6m下のコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
2003	12	9 ～ 10	倉庫の外壁改修工事において、高さ5.35mの足場上でトタン板の釘打ち作業中に足場から地面に転落した。	411	1	1～ 9
2003	11	15 ～ 16	木造家屋の解体工事において、2階外壁をロープで引いて部屋の内側に倒したところ、倒れた壁が部屋の中央にあった柱の根本部分に当たって柱の下部をはね上げ、はね上げられた柱の下部が胸から顔に当たり、その反動で倒れたときに床に置かれていた角材に側頭部を打ちつけた。	419	4	1～ 9
2003	11	11 ～ 12	木造2階建住宅の結露防止用換気口の取り付け工事において、地上から住宅の軒先まで掛けたはしご（アルミ製、全長7.8m）に上がって、高さ4.8mの位置で屋根の側面に換気口を取付けているときに、地上まで墜落した。	371	1	1～ 9
2003	11	8 ～	新築住宅の外壁の出窓付近のコーナー塗装のため、高さ5.4mの足場板上を通行していて墜落した。	411	1	1～ 9

		9				
2003	11	9	木造建築屋根の解体作業で、高さ4.73mの母屋上（幅150mm）にいた移動式クレーンの合図者が高さ5.42mの梁上（幅150mm）に移動しているときに、梁からコンクリート床に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2003	11	11 ～ 12	枠組足場で防音壁の板貼り作業が終了し、片付け作業に取り掛かったときに高さ約3.5mの足場板上から墜落した。	411	1	1～ 9
2003	11	17	住宅の新築工事において、一人で作業中の者が意識を失い高さ3mの足場上で足場エンドの鋼管パイプに首をもたれかけ窒息死しているところを施主に発見された。	411	90	1～ 9
2003	11	13 ～ 14	木造平屋建の車庫新築工事において、鋼板折板材による屋根葺き作業のため、葺き途中の屋根端から小屋梁上（高さ約3.5m）に掛け渡した足場板（鋼板、幅30cm、長さ4m）に移ろうとしたときに、足場板とともにコンクリート床面に墜落した。	416	1	1～ 9
2003	11	16 ～ 17	2階建の木造住宅建築工事において、2階で脚立（高さ1.7m）を使用して作業をしていて転落した。	371	1	1～ 9
2003	11	14 ～ 15	資材置場から建設現場に仮設トイレ（約800kg）を運搬する作業で、無線操作式の車両積載型トラッククレーン（8t車、2.9tつり）で積み込むため荷台上へ仮設トイレを移動したときに、つり具に使用したワイヤロープが切断して仮設トイレが落下し、下敷きとなった。	372	4	30 ～ 49
2003	11	10 ～ 11	木造2階建住宅の1階部分のリフォーム工事で、携帯用丸のこ盤で天井の縁材を切断していたときに、丸鋸盤の歯で右大腿部の動脈を切損した。	131	8	1～ 9
2003	11	16 ～ 17	木造軸組み工法2階建住宅の新築工事において、下屋の断熱材を敷き込んでいたときに、トップライト部分の開口部を踏み抜いて約4.4m下のベタ基礎上に墜落した。	415	9	1～ 9

2003	10	11 ～ 12	木造家屋の新築工事において、2階上部のロフト上から2.49m下の2階床の上に墜落し、頭部を2階床の梁に強打した。	416	1	1～ 9
2003	10	15 ～ 16	木造2階建屋根の防水塗装工事で、2階屋根部分で仕上げ塗りを行っていたときに、中塗り後で乾いていない部分で足を滑らせ、約6m下に墜落した。	415	1	50 ～ 99
2003	10	11 ～ 12	民家の瓦の葺き替え工事において、午前の休憩後、屋根上の土を土のう袋に詰めて地上に投棄する作業を行っていたときに、屋根から7.75m下の畑に墜落した。	415	1	1～ 9
2003	10	8 ～ 9	木造2階建新築工事において、瓦葺き工2名で2階屋根の瓦葺き作業を行っていて、1名がバランスを崩して高さ6.45mの軒先から墜落した。	415	1	1～ 9
2003	10	15 ～ 16	個人住宅の改修工事で、外壁塗装に使用する高さ約6mの丸太足場を設置するため、高さ270cmの既設物置上に板はしごを設置し、そのはしごに乗って緊結材の受け渡し作業を行っていたときに、足を踏み外して物置上へ落下し、さらに地上へ墜落した。	371	1	1～ 9
2003	10	14 ～ 15	既設の2階建共同住宅において、1階の屋根の改修作業中に足を滑らせ約3m下に墜落し頭部を強打した。	415	1	1～ 9
2003	10	16 ～ 17	高さ0.59mのアルミ製脚立の上で、手引き鋸を使用して柱に長押（なげし）取り付け用の切込みを行っていたときに、脚立から転落して床に頭部を強打した。	371	1	1～ 9
2003	9	13 ～ 14	木造2階建個人住宅の改築工事において、梁（幅10.5cm、長さ200cm）上で「つか」の上に「もや」（10.5cm×10.5cm×100cm）となるべき木材を接合する作業をしていたときに、足を踏み外して6m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2003	9	13 ～	研修のため乗用車で国道を走行中、交差点で信号待ちしていたところへ後方より走行してきた4tトラックに追突され、助手席に乗車していた者が死	221	17	10 ～

		14	亡した。			29
2003	9	10 ～ 11	神社の葺き替えが終了した屋根（傾斜30度）上で、5枚1組に縛った「のし瓦」（棟の部分の瓦）を1組（約10kg）ずつ両手に持って屋根上を移動中に、バランスを崩して高さ約4mの屋根の端から墜落した。	415	1	10 ～ 29
2003	8	15 ～ 16	木造2階建の新築工事において、上棟後の柱の垂直度を確認するため、2階の梁上を移動していて3.6m下の基礎コンクリート上に墜落した。	415	1	1～ 9
2003	8	11 ～ 12	木造2階建住宅新築工事において、2階床梁に根太を並べていて突然根太の上に仰向けに倒れたのち、そのまま2.8m下の1階床面に墜落した。	415	1	1～ 9
2003	8	15 ～ 16	住宅の車庫工事において、梁上（高さ約3m）で軒材の釘打ち作業を行っていたときに、バランスを崩して頭部からアスファルト舗装面に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2003	8	9 ～ 10	木造2階建新築工事において、高さ1.49mの足場上で1階ひさしの付け根に板を取り付ける作業で、いったん地面に降りたときに、胴巻の袋に入れていたノミが右脇の下部に刺さって、動脈を傷つけ出血多量により死亡した。	364	3	1～ 9
2003	8	8 ～ 9	木造家屋建築現場において、垂木の取り付け作業中に約3.5m下のコンクリート床に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2003	8	14 ～ 15	農機具倉庫のトタン屋根の葺き替え工事で、既設のトタンをはぐ作業中に高さ約4.9mの屋根の端（軒先）から墜落した。	415	1	1～ 9
2003	7	15 ～ 16	木造3階建新築住宅の外壁塗装作業で、屋上ベランダ付近の外壁下塗り作業を行っているときに外部足場から10.65m下に墜落した。	411	1	1～ 9
		11	地上約3mの平家屋根の葺き替え作業で、古い鉄板をはがすため母屋に付設			1～

2003	7	～	された物置屋根上を歩行中に、塩ビ波板葺きの屋根を突き破って2.5m下の 12 地上に墜落した。	418	1	9
2003	7	～	15 地面から約6.7mの高さにある桁の上で梁を組む作業で、ロープをかけた重 ～ さ約53.5kgの梁を桁にある「ほぞ」にかませようとしたときに、バランス 16 を崩して桁から墜落し、落下してきた梁に激突された。	415	1	1～ 9
2003	7	～	13 木造住宅新築工事において、ロフト（屋根裏部屋）上での作業を終了し、 14 床面に降りるため脚立に足を掛けようとしたときにバランスを崩して墜落 した。	371	1	30 ～ 49
2003	7	～	15 木造平屋のきのこ栽培小屋新築工事において、小屋東に母屋を取り付ける ～ ため高さ4mの個所にある梁上を移動中に、バランスを崩して取り付け途中 16 の母屋材とともにコンクリート土間に墜落した。	415	1	1～ 9
2003	6	～	8 木造家屋の新築工事で、屋根貼り作業の段取り作業として電動鋸などをは ～ しごを登って足場に運んでいたときに、高さ4.5mの個所から墜落し下に 9 あったトラックの荷台に腹部を強打した。	371	1	1～ 9
2003	6	～	10 住宅工事において、南側1階部分の梁の上において垂木の設置作業を行って ～ いたときに、高さ3.56mの位置からコンクリート床に墜落した。 11	415	1	1～ 9
2003	5	～	9 敷地内のプレハブ倉庫の解体で、3.55mの移動はしごの0.84m付近に乗っ ～ て倉庫の屋根部分を携帯用サンダーで切断していたときに、バランスを崩 10 して道路に墜落した。	371	1	10 ～ 29
2003	5	～	15 木造建築工事において、建物内部の造作作業を行っていたとき急に雨が降 ～ り始めたので、雨が建物内に入るのを防ぐため2階のベランダ出入口部分に 16 ビニールシートを張るため、外部足場の手すりに掛けてあったシートをベ ランダの縁（笠木）に乗って取ろうとしたときに、バランスをくずして約 6m下の隣家との境界線上にある側溝に墜落した。	418	1	10 ～ 29
2003	5	～	13 2階屋根のたる木の取付けを行うため、たる木材料（5.5cm×6cm×2m） ～ を持って幅12cmの桁の上を歩いていたときに、バランスを崩して約6m下	415	1	1～ 9

		14	の地面に墜落した。			
2003	5	15 ～ 16	木造住宅の上棟式を終えて、別の施主のところに乗用車で図面をとりに行く途中、右カーブを曲がりきれずに約2.3m下の用水路に転落した。	911	18	10 ～ 29
2003	5	11 ～ 12	下屋（延長8.2m、奥行2.7m）のベニヤ、野地板、たる木を撤去する作業で、高さ2.7mの軒先付近のたる木（建物端部から0.9m突出している個所）に足を載せて軒先のベニヤを撤去する作業中に、たる木が破壊したために2.7m下のコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
2003	4	8 ～ 9	工事現場に向うため社有車で走行中、交差点で一時停止を無視して脇道から飛び出してきた車に衝突され横転した。	231	17	1～ 9
2003	4	15 ～ 16	木造2階建住宅新築工事で、2階天井梁上に渡された幅24cmの足場板上から7.2m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2003	4	11 ～ 12	木造2階建住宅建築工事において、2階梁上で梁および柱固定用の金具取付のために使用しようとしたコンパネ（1820mm×92mm、厚さ12mmの床材）を運んでいて、2階床梁から約3.5m下のコンクリート土間に墜落した。	416	1	1～ 9
2003	3	9 ～ 10	住宅の新築工事において、棟上げ作業のため梁上にいて3.5m下のコンクリートの土間に墜落した。	415	1	1～ 9
2003	3	15 ～ 16	木造2階建住宅建築工事で、高さ3.7mの2階梁（幅12cm）上で同僚と2人で「仕切り梁」の取付け作業を行っていたときに、コンクリート床に転落した。	415	1	1～ 9
2003	3	0 ～ 1	2階桁上（高さ約3m）にコンクリートパネル（90cm×180cm）1枚を架け渡し、その上で仮筋交いのくぎ抜き作業中、固定していなかったコンクリートパネルが滑ったため、バランスを崩してコンクリートパネルとともに	416	1	1～ 9

			に頭から約3.5m下に墜落した。			
2003	3	17 ～ 18	作業場の改修工事を行っていて、雨が降っていて滑りやすくなっていたため高さ約7.83mの屋根の上から墜落した。	415	1	1～ 9
2003	2	13 ～ 14	既設住宅の屋根葺き替え工事において、屋根の上で目が回ったのではしごで降りていたときに、地上から2段目（高さ78cm）から転落した。	371	1	1～ 9
2003	1	11 ～ 12	トラック積載型移動式クレーンで、荷台から重さ1.42tのL型擁（よう）壁を下ろす作業中、トラックが横転しつり荷の下敷きになった。	212	2	1～ 9
2003	1	11 ～ 12	屋根の雪下ろしのため、3名で屋根の上部から下部に向かってママさんダン プで雪を押し、屋根下に落としているときに、暖気で緩んだ雪とともに、 軒高さ6.91mの屋根から墜落した。	415	1	1～ 9
2003	1	8 ～ 9	アパート兼工場の解体作業で、隣接する工場の屋根（プラスチック製波板 とスチール製波板が交互に設けられているもの）に上ったときに、プラス チック製波板部（高さ約6.7m）を踏み抜いて工場床面に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	12	14 ～ 15	木造平屋建の集会場新築工事において、基礎コンクリートから高さ5.9mの つま桁上で棟木の取り付け作業中に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	11	11 ～ 12	木造平屋建てのアパート建築工事において、梁（10.5cm）上で部材取付 作業を行っていて、約3.3m下のコンクリート床に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2002	6	16 ～ 17	木造建築において、2階床の火打ちにコンパネを取り付けるためコンパネを ずらしたときに、その上に乗ったためコンパネとともに3.5m下の一階床へ 墜落した。	416	1	1～ 9
2002	11	14 ～	高さ4.4mの梁の上で大作業中に、バランスを崩して墜落した。	415	1	1～ 9

		15				
2002	12	9 ～ 10	住宅新築工事において、足場上で屋根の樋受けを取付けているときに、約4.5mのところから仰向けに墜落した。	411	1	1～ 9
2002	9	10 ～ 11	2階屋根上で、瓦下地の隙間の漏れ止めモルタルを詰める作業を行っていて、モルタルの運搬中に足を滑らせ5.8m下の1階床面に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	12	8 ～ 9	アパートの改修工事において、単管抱き足場の解体中に5.1m下に墜落した。	411	1	10 ～ 29
2002	12	16 ～ 17	木造3階建の建築工事において、3階に合板床材を貼り付けるためベランダ部分の寸法を計測しているときに、3m下の2階のコンクリートスラブ上に墜落した。	414	1	1～ 9
2002	9	11 ～ 12	木造家屋の新築工事において、2階床梁のコンパネ上で2階の間柱立て込み作業中、コンパネがずれて足場板が外れたため3m下の1階梁上に墜落した。	416	1	50 ～ 99
2002	11	13 ～ 14	平屋木造家屋の解体作業において、土壁を倒すため控えを外したとき脚立を置き忘れたことに気づいて取りに行こうとしたときに、壁が倒壊して下敷きになった。	418	5	1～ 9
2002	12	16 ～ 17	木造2階建てアパートの新築工事において、外部足場（高さ4.2m）上で屋根の組立作業を行っていて、足場と躯体との間の開口部（38cm×2.8m）から4.2m下の1階コンクリート基礎部分に墜落した。	411	1	1～ 9
2002	11	10 ～ 11	住宅の増築工事において、屋根上で寸法取りをしていて3.25m下に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	2	11 ～	うまに歩み板を渡して足場（高さ1.3m）とし、かけやで梁のかけ替え作業を行っているときに、バランスを崩して足場からコンクリート床に墜落し	411	1	1～ 9

		12	た。			
2002	11	8 ～ 9	木造平屋建住宅の解体工事において、トタン屋根の雪下ろしをしていたときに、足を滑らせて屋根から2.4m下に墜落した。	418	1	1～ 9
2002	8	16 ～ 17	防音工事において、2階外壁部の足場上で壁下地を撤去作業していて急に足場の上でふらついてしゃがみこみ、熱中症で死亡した。	715	11	1～ 9
2002	12	16 ～ 17	営業に向かうため乗用車で走行中、見通しの悪い交差点で横から飛び出してきた乗用車と衝突した。	231	17	1～ 9
2002	9	15 ～ 16	木造2階建て住宅増築工事において、既存の住宅屋根鉄板の一部を剥がすため、屋根越しに地上の2tトラックとロープ(親綱)で結んだ状態で作業を行っていて、2tトラックが発進したときに引きずられて約4m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	12	11 ～ 12	木造家屋増築工事において、外部足場（高さ1.8m）上で外壁モルタル下地のラス網貼り作業中に、足場から足を踏み外して転落した。	411	1	1～ 9
2002	12	8 ～ 9	木造3階建て住宅新築工事において、野地板を3階床へ運び上げるため3階床上で野地板1束を手渡しで受け取り、2束目を待っている時に3階床端部より約4m下のコンクリート製ベランダに墜落した。	416	1	1～ 9
2002	10	11 ～ 12	木造平屋建住宅新築工事において、柱、梁等の軸組材の建て方作業を終え屋根上に昇って、瓦葺き作業のための屋根の実寸法測定及び野地板の取付け作業を行っていたときに屋根から約3.7m下に転落した。	415	1	1～ 9
2002	11	16 ～ 17	木造3階建て分譲住宅の建方作業で、屋根の下地を張る作業を終了して片づけをしているときに、3階屋根より約9m下に墜落した。	418	1	30 ～ 49
		11	屋根瓦の葺き替え工事において、瓦揚げ機（タワー）で2階屋根上に揚げた			1～

2002	9	9	～	12	瓦2束（1束は瓦4枚、1枚2.8kg）を抱えて屋根上に配置しているときに、1階屋根上に転落しさらに地面に転落した。	415	1	9
2002	9	11	～	12	瓦の取替え作業に使用する瓦を屋根の上に準備する作業中に、体勢を崩して高さ3.8mの屋根の上から墜落した。	415	1	1～ 9
2002	9	13	～	14	木造住宅新築工事において、2階桁上でクレーンで吊っている床合板を受けようとしたところ、床合板を結束していたナイロンスリングが切れて床合板が落下し、足場の歩み板に当たって方向を変えたため右足に当たった反動で1階へ墜落した。	611	6	1～ 9
2002	1	11	～	12	木造2階建て住宅建築工事において、2階床梁に根太を取り付ける作業中に梁から4m下のコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	10	17	～	18	一般木造住宅（2階建）の築後5年点検で、建物西側の玄関脇外壁の状況をアルミ製はしごに登り確認中に約3m下のコンクリート土間に転落した。	371	1	10 ～ 29
2002	10	7	～	8	既存倉庫の屋根改修工事において、垂木、野地板の撤去のため垂木の上（端部）に乗ったときに、桁を支点としてテンビン状になり約2.2mの位置から墜落した。	415	1	1～ 9
2002	3	16	～	17	木造平屋建て新築工事において、1階屋根部分の梁（火打ち材）を取付けているときに、体のバランスを崩して高さ約3mの足場または梁の上からコンクリートの基礎の上に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	4	17	～	18	住宅の増改築工事において、2階の既存屋根と増築屋根とのつなぎ工事を屋根上で行っていたときに、屋根上から約2.7m下の2階ベランダに墜落した。	415	1	1～ 9
2002	10	15	～	16	建売住宅建設現場工事において、基礎コンクリートの配筋に使用する鉄筋の束（約220本：600kg）をトラックの荷台からドラグショベルで吊り降ろす作業中に吊荷が振れたため、振れを止めようと吊荷に近寄ったときド	142	2	1～ 9

			ラグショベルが転倒しその下敷きになった。			
2002	9	10 ～ 11	木造平屋住宅の改修工事において、外壁をサイディング貼りに変更するた めの前処理として移動はしごに登ってバールでモルタルを剥がす作業をし ていて転落した。	371	1	1～ 9
2002	12	15 ～ 16	木造2階建家屋新築工事において、母屋を組み立てるため高さ7.07mの桁の 上で母屋及び小屋づかを組み立てる場所に運ぼうとしたときに墜落した。	415	1	1～ 9
2002	9	16 ～ 17	家屋新築工事において、外壁を張る前作業として防水シートを取付け作業 中、足を踏み外して足場外側の5.9m下の地面に置かれた単管部材の上に墜 落した。	411	1	1～ 9
2002	9	9 ～ 10	木造建築物の解体工事で、廃材の積込を終えたクラッシャーが1階の床を踏 み抜き後部から転倒したときに運転者が旋回レバーを引いてしまったた め、ダンプカー運転席屋根上（高さ2.7m）で作業をしていたダンプ運転手 のところへブームが倒れ、その衝撃で5.9m離れたアスファルト舗装の地面 に飛ばされた。	149	6	10 ～ 29
2002	9	14 ～ 15	住宅新築工事において、2階部分に組まれた脚立足場（地上高さ約4.4m） の上に乗る天上部分の補強材を取り付ける作業中、バランスを崩して開口 部から1階の地面上に墜落した。	411	1	10 ～ 29
2002	9	8 ～ 9	解体工事現場から廃材をトラックで処理場の敷地に運び、処理場の労働者 が重機を用いて廃材を降ろす作業中に重機の爪で掴んだ廃材の一部が撥ね て飛び、トラック荷台側にいた運転手の頭部に当たった。	522	4	1～ 9
2002	11	11 ～ 12	個人住宅の新築工事において、2階の梁上に仮置きした合板に乗ったため合 板が傾いて梁に後頭部を強打し、さらに3.7m下のコンクリート床に墜落し た。	415	1	1～ 9
2002	11	11 ～ 12	2階建て木造住宅新築工事において、2階（高さ約3.3m）床板を敷き詰める 作業中、固定されていない床板に左足をかけたときに床板とともに墜落し た。	416	1	1～ 9

2002	8	15 ～ 16	倉庫1階の側壁に取付けられた3段棚の角材整理で、角材を縛るために角材の上を移動していて天井クレーンの裸トロリ線に背中を接触させた。	351	13	1～ 9
2002	9	14 ～ 15	住宅新築工事において、玄関先の外溝工事のため止めてあった2tトラックからスコップで碎石を降していたときに、トラックが突然後方に動き出し、トラック荷台のあおりと玄関先の柱との間に挟まれた。	221	7	1～ 9
2002	8	16 ～ 17	住宅新築工事において、基礎材（長さ3m60cm、高さ60cm、幅15cm）を固定する接続板を据付けるためのモルタル練りを一輪車の上で行っていたが、3時の休憩のときに気分の悪さを訴えて現場から出て行ったので同僚が心配して後を追ったところ、急に走り出して100mほど走った地点の道路の歩道面で倒れ意識を失った。（熱中症）	715	11	10 ～ 29
2002	8	8 ～ 9	木造家屋解体工事のため、ドラグショベルのバケットを取外してグラスパー（解体工事用のアタッチメント）の取付けていたところ、グラスパーの爪の部分が急に開放したためショベルのアームとグラスパーの爪の間に頭部を挟まれた。	149	7	1～ 9
2002	1	16 ～ 17	木造建築2階部分の仮筋交い取り付け作業中に、バランスを崩して2.9m下の2階床桁部分で腹部を打った後2.95m下の1階床のコンパネ上に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	8	8 ～ 9	木造2階建て住宅の建築工事において、2階床にコンパネ作業床を仮置きする作業中に作業床の端から1階コンクリート床まで墜落（高さ3.76m）した。	416	1	1～ 9
2002	7	16 ～ 17	木造2階建て住宅新築工事において、枠組足場上（高さ3.5m）で布板上のカラートタンを屋根に取り付ける作業中に足場から地上に転落した。	411	1	1～ 9
2002	7	17 ～ 18	木造住宅2階建ての新築工事において、台風に備えるため野地板等の部材を結束する作業を1階の梁上（幅170mm、高さ4090mm）で行っているときに、梁上から土間コンクリートに墜落した。	415	1	1～ 9

2002	7	9 ～ 10	木造家屋建築工事において、外部足場と梁との間に架け渡した足場板の上で屋根垂木を携帯用丸のこ盤で切断中、のこ歯が垂木の節に接触してはね返り、この歯が右大腿部に接触した。	131	8	1～ 9
2002	2	17 ～ 18	邸宅の新築工事において、2階の屋根上で垂木に野地板を張り、墨壺を使用して墨打ちをしているときに約8.33m下に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	2	13 ～ 14	邸宅新築工事において、のぼり梁を取り付けるため建屋正面妻側の抜きに上がったところ、柱に固定していた抜きの片方が外れて高さ7.19mのところからベタ基礎のコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	5	14 ～ 15	工場新設工事において、屋根の垂木材の切断作業をパイプ脚立を用いた足場（高さ178cm、長さ400cm）上で作業を行っていたときに、パイプ脚立の脚が地面にめり込んで足場が不安定になり178cm下の地面に墜落した。	411	1	10 ～ 29
2002	7	8 ～ 9	賃貸住宅の屋根葺き替え工事で、屋根上（勾配24度、高さ4.63m）の通信線支柱を動かそうとしたときにバランスを崩して墜落した。	415	1	1～ 9
2002	4	16 ～ 17	住宅解体工事現場の2階屋根上において、テレビアンテナを撤去作業中に5m40cm下の地上に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	11	11 ～ 12	木造2階建の家屋の新築工事において、足場から梯子へ乗り移るときに3.8m下のコンクリート土間に墜落した。	411	1	50 ～ 99
2002	6	9 ～ 10	乗用車で住宅新築工事現場から次の工事現場への移動中、車ごと川へ転落した。	221	17	10 ～ 29
2002	7	13 ～ 14	木造平屋1階建の新築工事において、鋼製枠組足場の1層目の布板上で出窓の取付け作業中に転落した。	411	1	1～ 9

2002	6	10 ～ 11	土蔵の移設及び屋根の葺替工事において、高さ5.35mある枠組足場上で屋根に歩み板を設置するため屋根上にあった葺替用の瓦を作業床に仮置きしようとしたときに、作業床から墜落して地面に激突した。	411	1	1～ 9
2002	6	13 ～ 14	住宅の新築工事において、2階の梁の組立て作業中に足場（先行足場）から8.15m下のコンクリート土間に墜落した。	411	1	1～ 9
2002	5	10 ～ 11	住宅新築工事において、高さ約6.5mの小屋梁の上に幅約30cmの歩み板を敷き、その上で4段目の桁を小屋束の上に固定する作業を行っているときに、足を踏み外し土間に墜落した。	416	1	1～ 9
2002	7	17 ～ 18	社長と2人で1階及び2階の外壁左官作業を行っていたが、午後に社長が1階の左官作業を命じ現場を離れて午後5時頃に現場に戻ってきたところ、家屋西側の地面に倒れていた。	415	1	1～ 9
2002	6	8 ～ 9	邸宅の新築工事において、移動式クレーンで重ねあわせた壁面パネル8枚（質量0.7 t）を作業箇所に吊り上げているときに、壁面パネルが荷崩れして下の作業者を直撃した。	611	4	1～ 9
2002	4	0 ～ 1	木造3階建て住宅の2階の床部分に厚さ30mmの合板を張る作業中、90cm間隔の梁と梁の間から1階の土間コンクリート上へ転落した。	415	1	1～ 9
2002	10	16 ～ 17	2階大屋根上において、瓦を葺替えるための位置決め用の墨付け作業を行っていたがうまく墨が付かないため、同僚のいる屋根端に移動したときに体勢を崩して高さ6.27m下の地上へ墜落した。	415	1	1～ 9
2002	9	17 ～ 18	木造2階建て住宅新築工事において、2階床面の根太を釘止めしているときに、固定していない根太が動いてできた開口部から1階基礎コンクリート上に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	5	14 ～ 15	邸宅新築工事において、2階部分の床面コンクリートに接着剤の塗布作業中に高さ3.1mの開口部分より墜落した。	414	1	1～ 9

2002	2	13 ～ 14	木造建築工事において、2階柱の建方作業のため2階根太の上（幅11cm）を歩いていたときに、根太と根太の間の開口部（幅89cm）から3.4m下の1階コンクリート部に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	4	10 ～ 11	花火製造所で木造平屋建て倉庫の解体を4名で手作業で行っていたところ、建物が崩れ落ち中で作業していた1名が下敷きになった。	418	5	1～ 9
2002	8	13 ～ 14	高さ3.6mの梁上で2階の柱が垂直であるか否かの確認作業を行っていて、1階コンクリート土間上に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	4	13 ～ 14	木造住宅2階建ての建築工事現場で、骨組みの補強のための仮筋かい（木製）を2階部分に上げて運搬中、地上に墜落した。	415	1	1～ 9
2002	4	11 ～ 12	木造家屋の改修工事現場において、屋根塗装作業のため単管足場の2層目を通行していて足を踏み外し、3.9m下の地上へ墜落した。	411	1	1～ 9
2002	3	15 ～ 16	納屋の新築工事において、一側ブラケット足場上（高さ約4.2m）で外部真壁の下地塗り作業を行っていて足場の内側より墜落し、一階窓の庇でバウンドしたのち、足場の外側にあるアスファルト道路横のコンクリートの蓋で覆われた水路上に墜落した。	411	1	1～ 9
2002	1	16 ～ 17	梁上で屋根下地用のベニヤ板70枚の束（約800kg）を移動式クレーン（吊上げ荷重10 t）で梁上に降ろし、もう1束を隣りに降ろそうとしたが吊り荷で挟まれてしまうおそれがあるので移動していたときに、高さ3.7mの梁上よりコンクリート床上に頭から墜落した。	415	1	1～ 9
2002	3	16 ～ 17	木造二階建住宅新築工事で、主構造部分の組立てが終わって施主に最後の棟木を納める儀式としてカケヤで叩かせるため、高さ約8.7mの梁（通称天秤梁）の上で施主に手順を説明中にバランスを崩して地上の基礎部分に墜落した。	415	1	1～ 9

2002	10	11 ～ 12	木造2階建新築工事で、2階の軸組作業中に桁から1階のたたきの上に墜落した。	415	1	0
2002	7	16 ～ 17	2階建て木造アパートの建方作業で、2階床面部の梁上（高さ約3.5m）で作業を行っていて土間コンクリートに墜落した。	415	1	1～ 9
2002	3	13 ～ 14	住宅建築の基礎工事（深さ2.44m）において、掘削上部にあるさん木（長さ2.9m）2本を掘削した法面に立てかけたのち、脚立（長さ1.75m）を使用して後ろ向きで下りる途中で脚立の上3段目から墜落し、そこにあった鉄筋（長さ1.08m）が左大腿部に刺さり出血性ショックのため死亡した。	371	1	50 ～ 99
2002	6	17 ～ 18	邸宅の屋根改修工事で1階屋根の野地板に防水シートを張る作業中、バランスを崩して約4m下のアスファルト路上に転落した。	415	1	1～ 9
2002	2	8 ～ 9	瓦葺の準備作業のため2階屋根に掛け渡した梯子を昇っていたときに、梯子がずれ約3mの高さから地上に墜落した。	371	1	1～ 9
2002	1	14 ～ 15	貨物自動車（2t）で自動車道を走行中、前方の貨物自動車（2t）が渋滞で減速していることに気づくのが遅れ、あわてて右回避しようとしたが避けきれず、左助手席部分が前方車両の右後部に衝突し助手席の同乗者が即死した。	221	17	30 ～ 49
2001	10	9 ～ 10	木造住宅の新築工事において、2階床部分の根太の取付け作業中に高さ約3mの梁の上から墜落した。	415	1	1～ 9
2001	12	7 ～ 8	バイクで住宅新築工事現場に向かう途中、交差点内で他の車両と接触し頭部を強打した。	231	17	1～ 9
		14	個人住宅から1階屋根部分の除雪の依頼があったので作業を行っていて、屋			1～

2001	12	～ 15	根から墜落した。	415	1	9
2001	11	17 ～ 18	2階建木造の住宅新築工事において、2階押入の開口部付近で根太打ち作業中に開口部から転落した。	414	1	1～ 9
2001	12	17 ～ 18	路上に車を停めて客先に電話連絡中、後方からきた自動車に追突され、その衝撃で前方の電柱に激突し、さらに車外に投げ出されて道路脇のU字溝の角に頭部を強打した。	231	17	1～ 9
2001	12	11 ～ 12	木造住宅建築工事において、屋根下地材(アスファルトルーフィング)の取付作業中に(屋根勾配31度)のところにある天窓を設置する予定の開口部(98.5cm×78.5cm)から約5m下の2階床に墜落した。	414	1	1～ 9
2001	12	11 ～ 12	低層木建住宅新築工事において、1階の天井梁上で梁と柱を固定するボルトの締め付け作業中に、梁上に掛け渡していたコンクリートパネルとともにコンクリート土間に墜落した。	415	1	1～ 9
2001	12	10 ～ 11	建売住宅の新築工事現場(木造2階建)において、屋根上で屋根材を貼り付けていたときに、高さ約6mのところから墜落した。	415	1	1～ 9
2001	12	16 ～ 17	木造モルタル瓦葺2階建の建屋解体工事において、現場の地上で軒板を片付けていたところ、自立していたモルタル壁面が突然背後で倒壊し、その下敷きになった。	418	5	1～ 9
2001	11	15 ～ 16	2階建共同住宅新築工事において、屋根東面のたる木を北側から順に母屋に釘打ちして約7m下のコンクリート基礎に墜落した。	415	1	1～ 9
2001	10	9 ～ 10	個人宅新築工事において、地上に鋸(かすがい)を取りに行き2階梁、桁上に戻る途中で2階の床部分の開口部(高さ3.71m)から地上の土間コンクリートに墜落した。	414	1	10 ～ 29
		8	木造住宅の新築工事でサッシ取り付けのため、サッシを安定させるベニヤ			1～

2001	10	9	材を携帯用丸のこで切断中、加工材の反ばつにより右大腿内側をノコ刃で切断した。	131	8	9
2001	10	13	中学校新築工事現場において、浮き床基礎の梁型枠(長さ4.5m、重さ80kg)2個を積載型移動式クレーン車(吊り上げ荷重2.9t)からラフタークレーン(吊り上げ荷重10t)で荷降ろし中、4点に掛けていたワイヤーロープのうち1点がはずれて上段の梁型枠が落下したため梁型枠とともにクレーン車荷台から墜落し荷の下敷きになった。	611	1	1~9
2001	10	16	木造アパートの新築工事において、建前が終わって2階の作業床を確保するため仮止め用コンパネを敷いていたところ、開口部から後向きで3.65m下のコンクリート基礎へ墜落した。	415	1	1~9
2001	10	13	建物の上棟後、高さ6.84mの小屋梁のボルト締め作業中に1階の土台部分に墜落した。	415	1	10~29
2001	10	9	民家の屋根塗装工事において、棟木の塗装作業中に高さ約7mの軒先から地面に墜落した。	415	1	1~9
2001	10	10	木造平屋建の新築工事において、中2階部分の屋根コーナーの部材上でノミを使って切り欠き部の加工をされていて、約5.8m下の土間コンクリートに墜落した。	415	1	1~9
2001	10	16	木造2階建住宅新築工事において、2階屋根上で野地板の取付け作業中に約5.8m下の地面に墜落した。	415	1	1~9
2001	8	9	個人宅の新築工事において、路盤の埋め戻しで2tダンプに積んだ砂利を溝に入れるため、ダンプ後方で誘導を行っていて、溝に砂利を降ろし終わったダンプに前進の指示を行ったが、運転手がギアの操作を誤って後退したため、ダンプの荷台とコンクリート擁壁との間に挟まれた。	221	7	10~29
		16	老人グループホームの建築工事において、地上から高さ3.48mの梁上で母			10

2001	9	17	屋材の移動作業を行っていたときに3.33m下の基礎コンクリート上に母屋材とともに墜落し、基礎の上に取り付けられている角材に頭部を強打した。	415	1	1	29
2001	9	8	木造家屋の改修工事において、1階屋根上で2階の外壁を貼る作業をしていてバランスをくずし、約2.5mの高さから転落した。	415	1	1	9
2001	9	17	個人宅改築工事において、足場の二層目(高さ353cm)で躯体側の筋交いをはずし耐震用ボードの取付け作業を行っていてボードとともに足場から墜落した。	411	1	1	9
2001	9	10	2階屋根部分に張った防水シートが風でめくれたため張り直し作業を行い、降りる途中で道路に墜落した。	415	1	1	9
2001	9	11	2階建民家の屋根補修工事において、2階屋根上(高さ約7m)で隅棟部分に漆喰を塗る作業中に墜落し、1階屋根にあたって地上に落下した。	415	1	1	9
2001	7	11	木造家屋建築において、開脚設置した全長2.7mの「うま」を使用して1階天井付近となる梁(高さ4.28m)に金具の取付け作業をしていて、「うま」から墜落し頭部をコンクリート基礎上に打ちつけた。	411	1	1	9
2001	8	16	木造2階建新築工事において、足場の地上第一の布(高さ1.68m)上で窓枠の取付け作業中に布から建物側に墜落した。	411	1	1	9
2001	7	15	木造平屋建新築工事において、梁の継ぎ手箇所と柱を連結するための釘打ち作業中に体勢を崩し高さ4.52mの箇所から墜落した。	415	1	1	9
2001	7	11	木造家屋建築工事において、2階の柱を立て上げる作業中に突風で柱があおられ、その弾みで2階床の梁上から3.5m下のコンクリート床面に墜落した。	415	1	1	9
			個人宅新築工事において、2階通柱に取り付けたブラケットに掛け渡した足				

2001	7	11 ～ 12	場板上(高さ5.8m)で移動式クレーンで吊り上げた管柱・軒桁を胴差しに取り付けたのち、吊荷の一方の玉掛用具をフックから外したときに、移動式クレーンのワイヤーロープが巻き上げられたため、もう一方の外されていない玉掛用具に吊られた荷が振れて当り2階床面開口部より墜落した。	212	6	1～ 9
2001	8	15 ～ 16	木造家屋住宅の2階部分の解体工事において、2階の梁上を移動中に天井板に乗ってしまい、天井板を踏み抜いて4.8m下の階段に墜落したのち1階床まで階段を転げ落ちた。	418	1	1～ 9
2001	8	16 ～ 17	木造家屋建築工事において、大屋根の野地防湿シートの貼り付け作業中に足を滑らせ、外部足場を飛び越えて6.15m下の1階土間に転落した。	415	1	1～ 9
2001	7	16 ～ 17	建築工事現場で、代表者が行っていた外装材の取付作業の補助を足場(3層目)上で行っていて、気分が悪くなって、足場から降り便所に向かう途中で倒れ、病院に移送したが熱中症で死亡した。	715	11	1～ 9
2001	5	10 ～ 11	木造平屋建新築工事において、高さ約4mの母屋で作業中に母屋材とともにコンクリート床に転落した。	415	1	1～ 9
2001	6	16 ～ 17	乗った取付けている住宅建築工事で、二階で作業中に根太が折れたため3.42m下に墜落した。	418	1	30 ～ 49
2001	7	13 ～ 14	木造建築工事現場において、1階の建て方作業中に高さ約2.5mの脚立の最上段に腰かけて作業していて墜落した。	371	1	1～ 9
2001	7	11 ～ 12	住宅屋根の塗り替え作業中に、屋根端部より5.66m下のコンクリート道路に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2001	6	15	住宅の土台部分の型枠取り外しと部材の搬出を行なうためトラックで現場に行ったところ、作業者がうずくまっていた。(死因：脳挫傷、外傷性くも	371	1	1～ 9

		16	膜下出血、急性硬膜下血腫)			
2001	6	16 ～ 17	納屋の屋根吹き替え工事において、下屋根の地点から3.2m下のコンクリート床面に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2001	7	0 ～ 1	木造家屋新築工事において、昼食が終わったときにぐったりとしているので病院に移送したが熱中症で死亡した。	715	11	1～ 9
2001	6	9 ～ 10	木造2階建住宅の新築工事において、歩道に仮置された外壁パネル(10枚、質量1280kg)をトラッククレーン(吊上げ荷重4.9t)で吊上げ1階の仮床中央に降ろそうとしてジブをいっぱい伸ばし倒していったとき、車体の左側部が浮き上がってジブの先端が下がり、吊っていたパネルが1階仮床上で待機していた者に激突した。	212	6	100 ～ 299
2001	5	13 ～ 14	個人宅の新築工事において、火打梁を取付けたのち梁の上を移動して3.35m下の1階土間に墜落した。	415	1	1～ 9
2001	4	7 ～ 8	作業現場へ向かうため自家用車で走行中、一時停止せずにそのまま走行したため、走行中の車と衝突した。	231	17	1～ 9
2001	5	9 ～ 10	2階建アパートの屋根改修工事において、高さ約6.6mの屋根上で作業中に墜落した。	415	1	1～ 9
2001	6	11 ～ 12	新聞販売店の瓦葺き替え工事において、瓦上げ機を設置するため屋根上で作業中、庇部分(高さ4.8m)から地上に墜落した。	415	1	1～ 9
2001	6	16 ～ 17	木建家屋新築工事において、午後から雨が降り出したため外部の作業から2階内部の作業に変え梁上(高さ4.49m)で墨出しの作業をしていたときに転落した。	415	1	1～ 9

2001	6	13 ～ 14	木造2階建住宅の新築工事において、硬質ウレタン吹き付けにより1階トイレ床下の基礎コンクリート部分の断熱作業に従事していて窒息死した。	519	12	30 ～ 49
2001	5	16 ～ 17	木造2階建住宅の瓦屋根修理作業中に、2階屋根から地上に墜落した。	415	1	1～ 9
2001	5	13 ～ 14	2階建木造家屋新築工事において、外部足場から2階出窓部分のモルタル塗装作業中に転落した。	411	1	1～ 9
2001	5	14 ～ 15	住宅新築工事において、屋根のトタン葺作業中に降雨のためトタンが濡れていたため足を滑らせ、軒先から枠組足場の手すりの隙間から地面に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2001	4	0 ～ 1	木造建築現場において、1階の内装工事に従事していた者が、台所付近で仰向けに頭部から血を流して倒れていた。	371	1	10 ～ 29
2001	5	0 ～ 1	個人住宅の敷地内の立木で、立木に梯子を立て掛けて作業をしていて転落した。	371	1	1～ 9
2001	4	13 ～ 14	木造2階建新築工事において、2階廊下の根太の取付作業をしていて1階の間コン上に墜落した。	415	1	1～ 9
2001	4	15 ～ 16	木造住宅新築工事において、2階部分に仮の筋交いを取付ける作業中に乗っていた梁(高さ3.28m)上からコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
2001	4	16 ～ 17	木造家屋の屋根(高さ7m21 c m)部分で作業をしていて墜落した。	415	1	1～ 9

2001	3	10 ～ 11	トラッククレーンの荷台からロジ風物置の基礎工事用資材(型枠組立用の バタ角等)を降ろし、現場に運ぶ作業中に荷台にあるクレーンのジブ先端に 頭を打ちつけ4日後に意識を失って死亡した。	212	3	1～ 9
2001	3	14 ～ 15	木材を土場まで運搬するため、トラックに木材を積み荷台上で積荷を整え ていたときに、2.05mの高さからアスファルト舗装上に墜落した。	611	1	1～ 9
2001	4	11 ～ 12	資材倉庫において、玉掛けした角材2本を天井クレーンで吊り上げ、横移動 させていたときに、北側に積み上げてあった角材に吊荷が接触したためベ ルトスリングが緩んで角材が落下し頭部を直撃した。	211	4	50 ～ 99
2001	3	9 ～ 10	住宅新築工事現場の足場組立作業において、足場の2層目上で木製足場板を 番線で緊結していたときに、足場と躯体との間から墜落し出窓のひさしの 垂木に当り、1層目の足場上に墜落した。	411	1	1～ 9
2001	3	10 ～ 11	建築中の家屋の2階において床を敷く作業を行っているときに、3.4m下の1 階床面へ墜落した。	416	1	1～ 9
2001	3	0 ～ 1	住宅建築において、雨のため片付け作業を行っていて、脚立から墜落し た。	371	1	1～ 9
2001	3	10 ～ 11	木造家屋の増改築工事で、「荷持ち」と呼ばれる部材をうまを用いて母屋 にボルトで固定作業中に転落した。	371	1	1～ 9
2001	3	16 ～ 17	木造2階建住宅の新築工事で、サッシの枠の現場搬入に訪れたサッシ業者が 大きな音に気付いて、その方向を見るとコンクリート土間に倒れている た。(作業内容は不明)	415	1	1～ 9
2001	3	9 ～ 10	木造建築工事において、2階屋根の垂木の取付作業等のため梁に移動中に足 を踏み外して6.3m下の土間に墜落した。	415	1	10 ～ 29

2001	2	16 ～ 17	倉庫の外壁工事のため、架台(うま)の4段目(高さ約1.7m)に立って、はさみで外壁の隅部処理作業を行っていたときに、コンクリート地面に落下した。	371	1	1～ 9
2001	2	9 ～ 10	木造2階建新築工事で、2階ベランダの根太(下地の骨組み)を入れるために墨出しをされていて、2階床から約3.4m下のコンクリート土間へ転落した。	415	1	1～ 9
2001	3	0 ～ 1	木造住宅の風呂場増築工事において、屋上で雨漏れ養生作業中に足を滑らせ風呂場の屋根から隣地の側溝に約4.6m墜落した。	415	1	1～ 9
2001	2	16 ～ 17	個人宅のベランダ工事において、手すりとして使う丸太をボルトで固定する作業をしていたときに、丸太製の手すりが倒れてきて、その下敷きになった。	419	5	1～ 9
2001	1	8 ～ 9	個人宅の増築工事において、矢張り(切づまの両端のつま)部分のモルタル塗りの段取りのため1階の屋根(高さ約4m)に上り移動していたときに、地上に墜落した。	415	1	1～ 9
2001	2	16 ～ 17	屋根の瓦葺き替え工事において、作業を終わるため屋根下地の野地板・垂木を取り外した上にビニールシートを掛ける作業中に、高さ3mの1階の屋根の軒から地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2000	12	16 ～ 17	2tダンプトラックで家屋を解体した廃材を廃棄物中間処理施設に運搬中、解体現場から約300m離れた県道にうつ伏せの状態で見えているのを別のトラックで運搬中の同僚が発見した。	221	1	10 ～ 29
2000	1	16 ～ 17	木造2階建住宅新築工事において、2階で作業を行っていて、まだ根太が固定されていない押入れ床部の開口部から3.08m下の1階床に転落した。	414	1	1～ 9
2000	12	9 ～ 10	増築工事のため、母屋の瓦を外して庭に降ろす作業中に、足元がすべり高さ3.35mの屋根からコンクリートの地上に墜落した。	415	1	1～ 9

2000	7	9 ～ 10	パチンコ交換所新築工事において、木造建築物の棟上げのため梁上(高さ3m)で地上から同僚が手渡した「たる木」を引き上げようとして足を踏み外し地上に転落した。	415	1	～ 29
2000	5	14 ～ 15	木造住宅建築工事の検査立会いのため国道を軽ワゴン車で走行中、中央線を越えて、対向の11t大型ダンプカーと正面衝突した。	221	17	～ 49
2000	10	14 ～ 15	塗装作業をしていた者が昼休み終了後に地上2mのところ屋根葺き替え作業をしていた同僚の所に上がってきたときに、屋根下方の高さ30cmの土の上に転落した。	415	1	1～ 9
2000	10	9 ～ 10	木造平屋の瓦葺き替え工事のため、瓦を撤去開始前に大屋根にスタンション手すり及び養生ネットを取り付けているときに、1. 6m下の下屋に墜落し、その後3. 1m下の地面に墜落した。	418	1	～ 49
2000	4	17 ～ 18	木造2階建新築工事現場において、屋根上で道具等の片づけ作業を行っていた際に墜落した。	415	1	1～ 9
2000	9	11 ～ 12	個人邸宅の新築工事において、建物の小屋梁(高さ約3. 5m)上で、移動式クレーンが吊って来た母屋材を受け取り納める作業中に足を滑らせて建物内側のコンクリート土間へ墜落した。	415	1	1～ 9
2000	8	9 ～ 10	木造平屋建車庫の屋根工事において、母屋から軒桁へ斜方向に補強用の木材(角木)を取り付ける作業中に棟木付近に立て掛けたはしご上から作業補助していた者が約4.5m下のコンクリート床に墜落した。	371	1	1～ 9
2000	4	13 ～ 14	個人邸の壁塗り工事において、1階屋根上で庇の上方の三角部分の壁塗りが終わり、バケツ持って立ち上がったときに足が滑り約3m下の地面に墜落した。	415	1	1～ 9
2000	11	11 ～ 12	土蔵(11. 5m)の解体作業で、全体の約3分の1を壊したところで手作業により廃材集めをしていたところ、内壁(幅約4. 4m、高さ約4. 0m、厚さ約13cm)が倒壊し、その下敷きになった。	418	5	～ 29

2000	12	11 ～ 12	小割圧砕機2台を用いて木造2階建家屋の解体作業中、1台がバランスを崩して転倒しアームがもう1台の小割圧砕機のキャビンを直撃した。	149	6	1～ 9
2000	7	11 ～ 12	木造家屋建築現場の2階作業床で屋根部分に取り付ける出窓の部材を製作中に、開口部より墜落した。	414	1	1～ 9
2000	11	13 ～ 14	家屋解体現場から4tトラックで廃材置場まで廃材を運搬し、後進で分別作業個所に近づきトラック荷台後部の横開き式のおおりを開けているときに、近くで分別作業をしていたドラグショベルが旋回しておおりを押したため、おおりと車体との間にはさまれた。	142	7	1～ 9
2000	11	10 ～ 11	木造住宅工事改築工事において、既設の木造住宅に立て掛けた梯子を昇降中にコンクリート地面に墜落した。	371	1	10 ～ 29
2000	7	9 ～ 10	木造2階建住宅新築工事において、2階床の根太工程に入る準備作業として2階床大引上で柱の根元をノミでカットしているときに、バランスをくずし大引から足を踏み外して約3.5m下の1階床組みから土間コンクリート部分に転落した。	415	1	1～ 9
2000	4	13 ～ 14	二階建木造住宅の新築工事で、通し柱に接続した梁の上で通し柱を固定しているときに、バランスを崩して約3.7メートル下のコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
2000	4	9 ～ 10	2階の木製品加工作業所において、木製品から出た木屑の清掃作業を行って2階引き戸(181cm×110cm)から3.2m下の道路に墜落した。	418	1	1～ 9
2000	4	16 ～ 17	屋根瓦葺き替え工事において、下屋部分の瓦設置の作業が終了し工具(カッター、電気コード)を持って梯子で降りているときに、バランスを崩して高さ3.6mの下屋から墜落した。	415	1	1～ 9
		14	木造2階建住宅建設工事において、2階床梁部分の間柱落とし込み作業に使用			10

2000	11	～	する「かけや」を取りに行くため合板を敷いていない箇所の梁上を移動中に、バランスを崩して3. 3m下のコンクリート土間に墜落した。	415	1	～
2000	4	～	16 木造家屋解体工事で、ドラグショベルを重機運送用台車の荷台に乗せたところ台車が後退し始めたので、停止させようと運転席に乗り込もうとした 17 ときに、台車本体と運転席のドアに挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2000	3	～	13 ダイカストマシンを処分するためアキュムレーターポンベを外していたところ、接合部のナットが工具で外せなかったのでナットごと溶断している 14 時に、ポンベに保有されてた窒素ガスと作動油が接合部より霧状に噴出し、ガス溶断の火が引火して全身に火傷を負った。	512	16	1～ 9
2000	4	～	15 金属製単管を骨組みに使用したトタン張りの木材加工場の解体作業中に、 16 高さ約3mのところ単管を運搬していて墜落した。	418	1	1～ 9
2000	4	～	14 2tダンプカーに家屋解体工事で発生した廃棄物を林道脇の仮置場まで運搬し降ろすときに、ダンプカーの右前輪が既に廃棄していた廃棄物の上に 15 乗っていて車体が傾いているにもかかわらず荷台をせり上げたため、バランスを崩して横転し運転席から転落した。	221	2	1～ 9
2000	4	～	9 住宅の新築工事に伴う既設建屋の解体後に搬入した土をスコップでならし 10 作業を行っていたが解体等に使用したドラグショベルのバケットが障害になることから、このショベルのバケットを起こしたときにブロック壁前で待機していた者をバケットとブロック壁との間に挟んだ。	142	7	1～ 9
2000	10	～	11 新築工事現場において、10名で棟上げの作業を行っていたときに、棟上げ 12 の手伝いに来ていた大工が2階床面となる梁に掛け渡された足場板から基礎コンクリート面まで3. 6m墜落した。	415	1	1～ 9
2000	7	～	14 木造建築現場において、地上から高さ4.8mのブラケット足場上で梁のボルト 15 取付け作業中に墜落した。	411	1	10 ～ 29
			15 積載形移動式クレーン(2t)にアルミ製の渡板2本を掛けてフォークリフト(積			10

2000	5	～ 16	載荷重1. 8t)をバックで荷台に積み込み作業中に運転席側の渡板が外れ、フォークリフトが傾きかけたので脱出しようとしたときにフォークリフトが転落してきてその下敷きとなった。	222	1	～ 29
2000	10	～ 9	8 木造家屋建築工事において、二階屋根の瓦葺き作業の前作業として防水シートの上に杉皮を葺く作業を行っていて、バランスを崩して6. 7m下の一階土間コンクリートに墜落した。	415	1	1～ 9
2000	6	～ 11	10 神社新築工事において、屋根作業を中断して資材の買い出しに行こうとして脚立を降りたときに口から血を流しているのが発見された。(外傷性クモ膜下出血)	417	2	1～ 9
2000	2	～ 16	15 個人住宅のリフォームに伴う板金作業を高さ2. 3mの底上で行っていて墜落した。	415	1	1～ 9
2000	2	～ 9	8 木造住宅の2階の入母屋のラス張り中に、1階の屋根から墜落した。	418	1	1～ 9
2000	10	～ 14	13 2階建住宅の建設中、屋根の小屋梁に火打梁を取付けようとしたときにバランスを崩し約5. 9m下のコンクリートに墜落した。	415	1	1～ 9
2000	5	～ 16	15 脚立の最上段に載って軒の瓦の状況を確認していたときに、バランスを崩して脚立から地面に頭部から墜落した。	371	1	1～ 9
2000	8	～ 9	8 米の乾燥小屋の瓦屋根ふき作業中、高さ4. 52mの屋根上から地上(コンクリート敷)に墜落した。	415	1	1～ 9
2000	8	～ 18	17 寺改装工事において、ミニクローラークレーン(1. 5t)による手水鉢の設置作業を終了し、ミニクローラークレーンをトラックの荷台にバックで積載させたときに、後方に気を取られていたためクローラークレーンとトラッ	212	7	1～ 9

			クの運転席後部との間にはさまれた。			
2000	7	14 ～ 15	寺本堂の屋根瓦葺き替え工事で、古い瓦の取り外し作業中に屋根の端から6. 41m下の地上へ転落した。	415	1	10 ～ 29
2000	1	14 ～ 15	木造の作業所増築現場において、軒裏天井の板張り(タル木の目隠し)をすするため、外部の鋼製枠組足場と建物内部に設置した2台の脚立の間に角材を渡し、さらに木製の板を渡した上で作業していて、6. 03m下の地面に墜落した。	416	1	1～ 9
2000	12	17 ～ 18	木造住宅建築現場において、現場片付中の作業員が物音に気づいて見たところ、作業員が建築現場前の路上でうつ伏せに倒れていた。	411	1	1～ 9
2000	12	10 ～ 11	建物2階の角材の上にベニヤ板を敷いて作業床とし、仮筋交いの固定のため釘打ちを行うためベニヤ板をずらしてその上に足を乗せたときに、約3. 9メートル下の床へ墜落した。	416	1	1～ 9
2000	8	10 ～ 11	3階建ビルの屋上に木造物置を増築する工事において、一側足場上で物置の外壁面に釘で波板(トタン板)を打ち付ける作業をしていて約9. 5m下に墜落した。	411	1	1～ 9
2000	7	15 ～ 16	木造建築工事現場で、3階軒鉄骨梁部分と外壁端との間に金属製水切板を取付中に、約8m下の地上に墜落した。	418	1	10 ～ 29
2000	6	13 ～ 14	木造建築現場において、2階天井部の屋根を支える小屋束を建てるためのかすがい打設作業中に、2階天井の梁上で向きを変えようとしたときにバランスを崩し、途中1階天井梁にぶつかりながら6. 3m下の土間へ墜落した。	415	1	1～ 9
2000	5	15 ～ 16	木造住宅の新築工事現場で、ロフトに幅木、笠木等を取り付けるため2階床面からうまを使ってロフトに上ろうとしたときにうまから転落し、胸部を強打した。	371	1	1～ 9
		13	木造2階建住宅建築工事において、2階床の骨組み上で荷上げ作業をしてい			10

2000	4	～ 14	て高さ3.5mの2階床骨組みから1階のコンクリート床に墜落した。	415	1	～ 29
2000	12	13 ～ 14	午前中に倉庫工事現場の大掃除を実施し、昼食後に最終確認のため倉庫2階に上ったときに床部分より約4m下に墜落した。	418	1	30 ～ 49
2000	7	9 ～ 10	木造住宅屋根補修工事で、2階バルコニーの壁のはつり作業を鋼管抱き足場(高さ3.9m)上で行っていてバランスを崩し、アスファルト道路上に墜落した。	411	1	1～ 9
2000	11	10 ～ 11	2階建住宅の改築工事において、1階屋根を金属ルーフに葺き替えるための下地作業中に、軒先(高さ約4m)から敷地外の道路に墜落した。	415	1	1～ 9
2000	10	11 ～ 12	木造住宅の新築工事に使用するブラケット2つを4tユニック車の荷台から手渡す作業中に、高さ1.35mのあおりを超えてアスファルト舗装の道路に墜落した。	221	1	10 ～ 29
2000	4	16 ～ 17	木造家屋建築工事において、2階屋根上で破風板取付のため玄能で釘を打ちつけているときにバランスを崩し屋根軒先から1階のコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
2000	2	9 ～ 10	丸太足場の第3の布上(高さ4.94m)で、ラチェットスパナの柄の部分で浄化槽通気管を取り外そうとしたときにバランスを崩して墜落した。	411	1	1～ 9
2000	12	11 ～ 12	木造2階建住宅工事現場において、2階屋根の垂木を取り付ける作業中に材料を取るため、屋根の母屋を移動中に誤って約7メートル下の1階コンクリート土間に墜落した。	415	1	1～ 9
2000	4	15 ～ 16	3階建木造家屋建築工事で、2階の梁上で母屋の取付け作業を行おうとしたときに7mの高さから2階のコンクリート土間に墜落した。	415	1	1～ 9
		10	清掃用具を取りに行くためバイクで走行中、交差点を右折しようとして、			1～

2000	3	～ 11	直進してきた大型ダンプカーと衝突した。	231	17	9
2000	11	16 ～ 17	個人木造住宅新築工事で、2階屋根瓦ふき作業中に高さ4.65メートルの張出し足場から墜落した。	411	1	1～ 9
2000	4	9 ～ 10	木造住宅新築工事現場で、2階のベランダを構成する桁と桁の間に小梁を取り付けていたときに、バランスを失って梁付近の開口部から約4m下の1階土間コンクリートへ頭部より墜落した。	415	1	1～ 9
2000	2	15 ～ 16	木造家屋解体工事において、積み込まれた廃材をトラックの荷台で整理していて大きい廃材を落ちないように荷台に積み込むため荷台から運転席の上部に移動したときにトラックの乗車部分より足を滑らせて地面に転落した。	221	1	1～ 9
2000	9	16 ～ 17	一般住宅の解体工事において、軒高約3.5mの屋根上で手作業により瓦の撤去を行っていて、瓦を止めていた針金を外すために腰袋から金槌をとろうとしたときに腰袋からスケールが落ち、それを拾おうとして足を滑らせ墜落した。	415	1	10 ～ 29
2000	8	11 ～ 12	高さ約10mの荷揚場で、ワイヤーモックに廃材の角材と板材約100kgを積んで巻き上げ用ウインチで吊り下げ、ワイヤーモックを押し出そうとしたときに、荷揚場からコンクリートの地面に墜落した。	411	1	1～ 9
2000	12	16 ～ 17	木造住宅工事現場において、階段部の2階天井付近の下地材を2人で板張り作業中、間柱と脚立に架け渡した足場床材が間柱から外れ、約3.5メートル下のコンクリート土間に足場床材といっしょに2人とも墜落した。	411	1	10 ～ 29
2000	12	17 ～ 18	木造3階建新築工事現場において、エレベーターの設置予定のピットに墜落した。	414	1	1～ 9
2000	6	9	木造建築工事現場において、1階屋根上に設置された単管足場の上で2階屋根下の壁下地、間柱の打ち付け作業を行っていたときに、バランスを崩し	411	1	1～ 9

		10	て1階屋根上に落下し、さらに地面に落下した。			
2000	9	9 ～ 10	木造建築工事現場において、2階ベランダの根太取付中に高さ3.59メートルの開口部より墜落し、地上のアンカーボルトが胸を貫通した。	415	1	1～ 9
2000	6	16 ～ 17	1階屋根の塗装作業中、屋根から足を滑らして約3.2m下に墜落し、鉄製柵で腹部を強打した。	415	1	1～ 9
2000	3	17 ～ 18	現場での作業を終え日報を書くため駐車場から事務所向かって歩行中に、転倒して頭部を強打した。	417	2	10 ～ 29
2000	2	16 ～ 17	木造住宅建築工事で、外壁用モルタルの入った容器を電動ウインチで吊上げて2階と3階へ運搬し、次いで防風ネットを取付けているときに、手すりのない一側足場の2段目(高さ4.2m)から墜落した。	411	1	1～ 9
2000	2	13 ～ 14	建売住宅の新築工事現場において、2階の廻縁取付作業のため、2階廊下(高さ2.7メートル)を移動していて開口部から1階廊下に転落した。	414	1	1～ 9
2000	8	16 ～ 17	コンクリート圧送車に2名が乗って走行中、急坂の右カーブを曲がりきれず、道路左側のコンクリート壁面に接触したのち数十m滑走し、続く左カーブも曲がりきれずに道路右側のガードロープを乗り越え、深さ約4mの谷に転落した。	149	17	1～ 9
2000	8	16 ～ 17	コンクリート圧送車に2名が乗って走行中、急坂の右カーブを曲がりきれず、道路左側のコンクリート壁面に接触したのち数十m滑走し、続く左カーブも曲がりきれずに道路右側のガードロープを乗り越え、深さ約4mの谷に転落した。	149	17	1～ 9
2000	1	13 ～ 14	2tトラックで工事現場に向かう途中、国道に交わるT字路で、左右を確認して左折しようとしたときに、左方向より対向車線歩道の縁石を跨いで走行してきた飼料運搬車(大型車)に衝突され、助手席から飛び降りた者が運搬	221	17	1～ 9

			車にはねられた。			
2000	11	15 ～ 16	木造家屋の建て方作業で高さ4.83mの桁上で母屋をカケヤで外そうとしていたときに墜落した。	415	1	10 ～ 29
2000	10	11 ～ 12	個人住宅の1階屋根塗装のため、塗料入りバケツを持って、移動ハシゴを降りようとしていたときに墜落した。	371	1	10 ～ 29
2000	9	16 ～ 17	2階建方に使用する部材を1階部分の梁上に仮置きする作業で、邪魔となる木製パレットを足場一層目(高さ2.3m)から地上に降ろそうして墜落した。	411	1	1～ 9
2000	6	10 ～ 11	御堂屋根に銅板を張る改修工事で、棟木に「鬼飾り」を取付ける作業中に屋根から滑り落ちて、外部足場の作業床と手摺の間からすり抜けて3.7m下のアスファルト道路に墜落した。	415	1	1～ 9
2000	1	8 ～ 9	木造平屋住宅新築工事現場において、雪除けの上屋にシートを掛ける作業中に木製の歩み板から約5.5m下の基礎のコンクリート床に墜落した。	416	1	10 ～ 29
1999	12	15 ～ 16	木造2階建アパートの新築工事現場で、移動式はしごで2階床の梁(高さ3.27m)に上がったときに、墜落した。	415	1	1～ 9
1999	12	2 ～ 3	新築工事現場において、けた上(約4m)で作業中に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	12	14 ～ 15	建物の改修工事で、2階から材料を取りに梯子を使って降りる途中、足を踏み外して、3m26cm下の位置から道路に転落した。	371	1	1～ 9
1999	7	14 ～	木造家屋建築工事において、はしご上で1階小梁のほぞ取り作業を行っていてバランスを崩し、約3m下のコンクリート土間に墜落した。	371	1	1～ 9

		15				
1999	11	16 ～ 17	車庫のビニールトタン屋根の葺き替え作業中に、雨が降り出したので、はしご(4.2m)の昇降を繰り返しながら工具等を降ろして転落した。	371	1	1～ 9
1999	12	17 ～ 18	木造2階建の1階北側壁部分に雨よけシートを釘打ちで取り付けているときに、足場板から墜落した。	411	1	1～ 9
1999	12	9 ～ 10	飲食店2階において、壁上部の排煙窓の結露防止のため脚立に上がって補修工事を行っていたときに、脚立上から転落した。	371	1	1～ 9
1999	12	10 ～ 11	木造2階建新築工事の棟上げ作業において、1階の登り梁を移動中に足を踏み外して約4.6メートル下のコンクリート土間に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	12	13 ～ 14	資材置き場において砂利等をダンプトラックに積込んで待機していたときに事業主が運転して後進してきたダンプトラックの後輪にひかれた。	221	7	1～ 9
1999	12	14 ～ 15	木造作業小屋の新築工事において、2階吹き抜け部分に渡した足場板(長さ3.6m×幅19cm×厚さ4cm)を桁(幅12cm)の上で移動させようとしたときに、足場板の片方が桁から外れ、足場板と共に約3.6m下のコンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	12	15 ～ 16	製材所敷地内において、材木をプレカット工場へ運搬するためクレーン付トラック(積載重量4t)に材木を積み込み、高さ1.13メートルの荷台から降りようとしたときにバランスを崩しコンクリート地面に墜落した。	221	1	30 ～ 49
1999	8	14 ～ 15	木造建築現場において、コンクリート基礎(高さ120cm)の型枠解体作業に従事して意識が無くなり熱射病で死亡した。	715	11	1～ 9
		16	ホテルに宿泊するため駐車場にトラックを停車させ車を離れようとしたと			1～

1999	12	～	ころ、傾斜でトラックがバックしてきたのでドアを開けてトラックを止め	221	17	9
		17	ようとしたときに、電柱と車体との間にはさまれた。			
1999	9	～	0 木造新築工事現場で2階からアルミ製はしごを使って降りようとしたときに	911	1	1～
		1	足を踏み外して約3.1メートル転落し、コンクリート土間で頭部を打っ			9
			た。			
1999	11	～	8 木造建築工事現場において、1階外壁の角にL形金物を取付けているとき	371	1	1～
		9	に、枠組足場に立てかけたパイプ脚立93センチメートル下に墜落し、頭部			9
			を打った。			
1999	11	～	9 神社本堂の改修工事現場において、屋根上(軒下2.79メートル)で瓦葺き作	415	1	1～
		10	業を行っていたときに、バランスを崩して地上に墜落した。			9
1999	11	～	11 倉庫(木造平屋建)のスレート葺屋根の災害復旧工事で、防水シート掛け作	415	1	1～
		12	業中にスレート葺屋根を踏み抜き約5m下に転落した。			9
1999	11	～	16 車両積載型トラッククレーンで鉄板を荷台から地面におろす作業を行って	212	6	1～
		17	いたところ、クレーンが横転したため倒れてきたクレーンと掘削面に設け			9
			た土止板との間に胸部を挟まれた。			
1999	11	～	11 木造3階建住宅新築工事現場において、6名で2階の梁及桁上に足場板を敷い	416	1	1～
		12	て2階壁の軸組作業中に、作業床の開口部から高さ3.7m下の土間コンクリ			9
			ー上に墜落した。			
1999	11	～	11 木造2階建住宅新築工事現場で、屋根に防水紙を貼る作業中に、屋根から	415	1	300
		12	7.5m下の地面に墜落した。			～
						499
1999	11	～	0 木造家屋2階建て建築工事において、建屋2階梁上で建屋南側の角に隅木を	415	1	1～
		1	取り付けるため、ノミ及びノコを使用して切り欠きを作っていたときに約7			9
			メートル下の建屋1階床上に墜落した。			
			14 屋根葺工事現場において、屋根葺作業中に左官工事用の高さ約7mの外部足			1～

1999	10	15	～	場上から約3.5m下の既存建屋の屋根に転落し、さらに約3.5m下の地面に墜落した。	411	1	9			
1999	10	11	10	～	台風により被災したアパートの瓦屋根、樋等の修理を行おうとしたところ、庇下に引き込まれた電線の被覆が風化して芯線が露出していたので素手で電線の露出部分にビニールテープを巻きつけていたときに、他の線の露出部分に触れ感電した。	351	13	9	1～	
1999	11	17	16	～	木造2階建住宅の新築工事現場において、2階の軒桁上(高さ6.3m)に立ち小屋梁を組み込もうとしたときに、小屋梁の受け口となる補強材が脱落したため、組み込もうとした小屋梁が落下し、同時にバランスを崩して外部足場に激突したのち、躯体と足場の隙間から1階のコンクリート土間に墜落した。	415	1	29	10	～
1999	10	14	13	～	木造建築の新築工事現場において、バックホーで掘削作業及びダンプへの積み込みを行っていたところ、バックホーの操作を誤り浄化槽の設置のため掘削した縦2.8メートル横2.3メートル深さ2メートルの穴にバックホーごと転落したため、その穴の中で掘削箇所を手直ししていた者が穴の壁とバックホーのアームとの間に挟まれた。	142	6	9	1～	9
1999	10	11	10	～	2階建家屋の屋根塗装工事現場において、地上から約6.5メートルの高さにある2階の屋根上で塗装作業中に地上まで墜落した。	415	1	9	1～	9
1999	10	17	16	～	クリーニング店の改装工事において、足場板を敷く作業のため建屋外部に設けられた単管足場の一段目に地上から昇ったときに、作業床を支えていた支柱が崩れたため足場とともに地上に転落した。	411	1	9	1～	9
1999	10	12	11	～	木造二階建の二階ヒサシと二階外壁の継ぎ目部分の防水のため、高さ5mの足場上から継ぎ目部分に粘土を塗る作業を行っていたときに、墜落した。	411	1	9	1～	9
1999	9	15	14	～	木造2階建住宅新築工事において、2階屋根の梁に載ってクレーンで吊り上げられた木材を受け止める作業中に、地上に墜落した。	415	1	9	1～	9

1999	9	14 ～ 15	木造住宅建築現場において、屋根上で「もや」に「たる木」を取付けているときにバランスをくずして7.4m下の地面に墜落した。	415	1	10 ～ 29
1999	7	22 ～ 23	自家用車で顧客先で契約交渉をしている部下のもとに向かう途中、運転操作を誤って中央分離帯のガードレールに接触後、道路左側法面を乗り越え道路の外に転落して炎上した。	231	17	10 ～ 29
1999	9	14 ～ 15	個人住宅の新築工事現場において、棟上げ作業中に1階部分の梁の上に設置された枠組足場の上から5.6メートル下の地上に墜落した。	411	1	1～ 9
1999	8	8 ～ 9	県道の信号のない交差点において、軽四トラックと冷蔵車が出会い頭に衝突した。	221	17	1～ 9
1999	9	11 ～ 12	木造家屋の増築工事において、車庫の上に増設するため車庫の屋根材(スレート平板)をバリを使ってはがして3.6m下のコンクリート面に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	8	19 ～ 20	家屋建築工事(1階鉄骨・2階木造)において、2階床となるデッキプレートの取付工事の現場管理を8:00～17:00の間行い19:00に帰宅したが、体調が悪いのでそのまま横になったが熱中症で死亡した。	715	11	10 ～ 29
1999	8	11 ～ 12	建築資材を搬送して事業場へ帰るため軽トラックで国道を走行中、対向のトラックがカーブを曲がりきれずセンターラインオーバーしてきて正面衝突した。	221	17	1～ 9
1999	7	8 ～ 9	玄関用屋根の改修作業で、屋根の梁(もや)を切断する作業中にバランスを崩し約4m下の玄関入り口付近の地面に墜落した。	415	1	10 ～ 29
1999	7	9 ～ 10	一般木造住宅の建設で、2階の梁を取付けていて約3.6m下の一階コンクリート面に墜落した。	415	1	1～ 9

1999	8	11 ～ 12	新築工事現場の建前当日、小屋組み作業において筋かいを取り付ける作業中、小屋梁から1階(コンクリート基礎)に墜落(6. 3m)した。	415	1	10 ～ 29
1999	8	13 ～ 14	高さ3メートルの庇の上で作業を行うため材料を持ってアルミ製移動はしごを上っていて、はしごから墜落した。	371	1	1～ 9
1999	8	14 ～ 15	乗用車で走行中、国道バイパスにおいてセンターラインをオーバーし、対向車と正面衝突した。	231	17	30 ～ 49
1999	7	14 ～ 15	木造建築新築工事において、2階の垂木取付作業中、足を踏み外して2階床部分の木材に一度当たったのち1階床のコンクリートに墜落した。	415	1	1～ 9
1999	7	13 ～ 14	個人住宅の瓦葺き替え工事において、既設瓦を撤去した後、2階屋根下地を竹ぼうきで掃いていて、足を踏み外して下屋に当たったのち地面(4. 72メートル)まで墜落した。	415	1	1～ 9
1999	6	16 ～ 17	木造家屋建築工事現場において、火打ち材取付金具の取付作業を3階(高さ6. 1m)で行っていて梁上から1階土間に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	6	10 ～ 11	木造平屋住宅のトタン屋根の葺き替え作業で、高さ約3メートルの位置にある庇の側板を取り外して転落した。	415	1	1～ 9
1999	7	14 ～ 15	鋼製足場の補強用に組んだ高さ4mの単管の上で合板168枚の積込作業中、単管が合板の重みでたわみ、合板18枚とともに地上に落下した。	411	1	1～ 9
1999	3	15 ～ 16	木造家屋新築工事において、棟木をおさめていてバランスを崩し、高さ8. 13mの棟木上から地面へ墜落した。	415	1	1～ 9

1999	6	13 ～ 14	車に同乗して県道を走行中、対向車線から中央分離帯を乗り越えて飛んできた車に激突された。	231	17	100 ～ 299
1999	6	13 ～ 14	車に同乗して県道を走行中、対向車線から中央分離帯を乗り越えて飛んできた車に激突された。	231	17	100 ～ 299
1999	6	14 ～ 15	新築工事現場において、垂木の寸法を測るため屋根に登ったときに、足を滑らして、約3.25mの高さから地面に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	7	11 ～ 12	アースオーガの油圧系統の油もれを修理するため、アームを45度に持ち上げシリンダーボックスをはずそうとしたところ、急激に油がもれたためアームが降下しその下敷となった。	143	7	10 ～ 29
1999	7	8 ～ 9	木造2階建住宅の新築工事で、2階の屋根上で天窓の取り付け作業を行って足をはかせ、約6m下のアスファルト道路に転落した。	415	1	1～ 9
1999	6	11 ～ 12	高さ2メートルの合掌に歩み板を掛け渡して、3cm×6cm×4mの角材を外す作業中に、墜落した。	416	1	1～ 9
1999	6	14 ～ 15	木造2階建住宅新築工事現場において、枠組み工法におけるトラスを仮止めたのち、隣あうトラスの間を渡す棟木の固定していたところ、トラスが倒れ約5.5m下の一階床まで墜落した。	415	1	1～ 9
1999	6	17 ～ 18	木造新築工事現場の1階玄関ホールに作業者が倒れているのを、サッシの納入に来た業者が発見した。	999	99	1～ 9
1999	6	15 ～ 16	傾斜地に建設中の別荘にバルコニーを設置するために、2本の桁の上に足場板を渡してその上で作業中、足場板を渡していた一本の桁が落ちたため、足場板と共に約7メートル下の川に墜落した。	415	1	1～ 9

1999	3	15 ～ 16	木造二階建住宅新築工事において、片手に「瓦カッター」を持って一階の屋根から地上へ降りるときに、約3.5メートル下のコンクリート製土間へ墜落した。	411	1	1～ 9
1999	5	11 ～ 12	木造平屋の増改築工事現場において、作業を終えたので外部の鋼管足場から降りようとしたときに、高さが2.35メートルのところにある作業床と手すりの間から地面に墜落した。	411	1	10 ～ 29
1999	5	13 ～ 14	木造2階建て家屋の解体で、2階の梁材を取り外して床に下ろそうとしたときに、2階床から1階のコンクリート床に墜落した。	416	1	1～ 9
1999	4	11 ～ 12	木造2階建家屋新築工事現場で、高さ5.23mに位置する幅50cmの作業床上で足場の組立作業を行っていたときに、地上に置いていた角材の上に背中から墜落した。	411	1	1～ 9
1999	5	16 ～ 17	事務所兼賃貸アパートの外壁張り替え作業で、2階の棧を跨いで、外へ身を乗り出してビニール波板を釘で打ち付けていたときに、バランスを崩して墜落し、下にあったフォークリフトのフォーク上のスノコの上へ落ちたのち地面へ首から墜落した。	418	1	1～ 9
1999	5	9 ～ 10	木造2階建物の解体現場において、地上で片付け作業を行っていたところ、後退してきた重機の後部と駐車していた廃材積込み用ダンプトラック荷台との間に挟まれた。	149	7	10 ～ 29
1999	5	16 ～ 17	会社所有の軽トラックで社長を乗せて県道を走行中、中央線を越えてきた乗用車と正面衝突し、運転者が死亡した。	221	17	1～ 9
1999	4	9 ～ 10	3階建木造住宅新築工事において、3階の木材梁の上でボルト締めをしているときにバランスを崩し、2階の梁に引っ掛かったのち約6m下の1階コンクリート床に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	5	9 ～	外壁工事において、バックホーの下に敷く鉄板をトラック荷台から降すためバックホーのバケットにワイヤーロープを取付けて鉄板を吊り旋回した	142	7	1～ 9

		10	ところ、右側のキャタピラが浮き上がって横転し、その下敷となった。			
1999	4	15 ～ 16	木造住宅の新築工事で、2階雨樋から雨水を一階雨樋へ流す配管を布設するため、単管一側ブラケット足場の養生用ネットをはずした場所から墜落した。	411	1	1～ 9
1999	5	9 ～ 10	木造家屋建築工事現場で、移動式クレーンで間仕切用木製パネル等を荷台から降ろす作業中に、吊荷が玉掛用具から外れて落下して吊荷の下でガス配管作業を行っていた者に激突した。	372	4	50 ～ 99
1999	5	11 ～ 12	店舗の外装改修工事で外装用のボードを張る作業のため足場上を移動中、バランスをくずして高さ5メートルの足場からアスファルト舗装道路上に墜落した。	411	1	10 ～ 29
1999	5	15 ～ 16	牛舎に付属するサイロの屋根を修理していて、高さ5.75メートルのたるき上からコンクリート地面上に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	3	11 ～ 12	2階ベランダの防水養生の作業中に突然ドーンという音がしたため同僚が駆けつけたところ、階段設置予定箇所の空間の1階コンクリート床に倒れていた。	371	1	1～ 9
1999	4	13 ～ 14	木造家屋軒下部のスレート板を取り付けるため、枠組み足場の2段目の上にくまを立、さらに枠組足場の間に鋼製ブレスを4本束ねて渡し、この上で作業しているときにバランスを崩して4.1m下の地面に墜落した。	411	1	1～ 9
1999	4	17 ～ 18	木造平屋建てのガレージ兼倉庫の新築工事で屋根板の上に防水シートを固定する作業中、バランスを崩したため転がり落ちるようにして軒下約4.3メートルの石垣上に墜落し、さらに1.3メートル下の地面に転落した。	415	1	1～ 9
1999	3	14 ～ 15	木造2階建住宅の新築工事現場において、高さ約8メートルの位置にある大屋根棟木上に乗って切り妻側の破風板を取りつける作業を行っていて地上に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	3	16 ～	木造平屋建住宅屋根葺工事において、外部足場上で屋根瓦を屋根に並べる作業中にバランスをくずして約3.5m下の地面に墜落した。	411	1	1～ 9

		17				
1999	3	15 ～ 16	木造2階建住宅の建方作業で、2階の和小屋上で建方作業を行っているときに、長さ3.64mの歩み板とともに2階床梁上から3.05m下の基礎コンクリート上に墜落した。	416	1	10 ～ 29
1999	3	15 ～ 16	木造2階建住宅新築工事において、2階梁上で部材のボルト締め作業を行っているときに、1階コンクリート土場に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	1	15 ～ 16	木造平屋建新築工事において、屋根の野地板に使用するパネル一枚を運搬しているときに、足をすべらしてパネルと共に屋根上をすべって地上に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	1	14 ～ 15	木造2階建住宅新築工事で羽子板ボルト締め作業を行っていたときに、1階のコンクリート基礎部分に墜落した。	418	1	1～ 9
1999	2	10 ～ 11	木造平屋建ての住宅新築工事で、屋根上で瓦葺き工事を行っていて高さ約3.3メートルの軒先から墜落した。	415	1	10 ～ 29
1999	1	11 ～ 12	2階建てユニット住宅の2階フローリング床下に敷く防音材を移動式クレーンで吊り上げる作業で2階天井部に仮止めしていたランバー材2本のうち1本をずらして2階天井のランバー材間から入れているときに、荷がランバー材に触れたため荷とともに1階まで落下した。	611	4	300 ～
1999	2	14 ～ 15	木造家屋新築現場の、先行足場の組立作業で、高さ4.5mの足場板上で足場火打材の取付作業のため移動したときに、足場板から足を踏み外し土間コン上に墜落した。	411	1	1～ 9
1999	1	13 ～ 14	木造2階建て住宅新築工事において、2階の梁につかぶみを取り付けるため、高さ6.6メートルの位置にある作業床で作業中にバランスをくずしコンクリート床面に墜落した。	416	1	1～ 9
		11	民家の屋根葺き替え工事で2階屋根部の野地板上の土を土嚢袋に詰め一階屋			10

1999	1	～ 12	根部に降ろす作業を中に一階屋根のひさしから約3m70cm下部の溝に墜落した。	415	1	～ 29
1999	1	8 ～ 9	住宅の屋根に1mほど積もった雪下ろし作業中、誤って屋根から約5m下のコンクリート通路に墜落した。	415	1	1～ 9
1999	1	8 ～ 9	雨漏り修繕の依頼を受けて、瓦をはがしていたときに、野地板を踏み抜いて約2.7m下のコンクリート土間に墜落した。	415	1	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.htmlに戻る。